

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6964951号

(P6964951)

(45) 発行日 令和3年11月10日 (2021. 11. 10)

(24) 登録日 令和3年10月22日 (2021. 10. 22)

(51) Int. Cl.	F 1
A 6 3 F 7/02 (2006.01)	A 6 3 F 7/02 3 2 6 C
	A 6 3 F 7/02 3 0 4 D
	A 6 3 F 7/02 3 2 7 A

請求項の数 1 (全 66 頁)

(21) 出願番号	特願2020-16047 (P2020-16047)	(73) 特許権者	000148922
(22) 出願日	令和2年2月3日 (2020. 2. 3)		株式会社大一商会
(62) 分割の表示	特願2018-71903 (P2018-71903)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地
原出願日	平成25年9月30日 (2013. 9. 30)	(72) 発明者	市原 高明
(65) 公開番号	特開2020-75158 (P2020-75158A)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地 株式
(43) 公開日	令和2年5月21日 (2020. 5. 21)		会社大一商会内
審査請求日	令和2年3月4日 (2020. 3. 4)	(72) 発明者	小室 琢磨
			愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地 株式
			会社大一商会内
		審査官	堀 圭史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて抽選を実行する抽選手段と、前記抽選手段による抽選の結果に基づいて演出を実行する演出実行手段と、を有する遊技機であって、

前記抽選手段の抽選に基づき可変表示を実行する可変表示実行手段と、

前記可変表示実行手段による可変表示を遊技者側から視認可能とするとともに前面側に開閉可能な開閉扉と、

を備え、

前記開閉扉は、動力によって動作可能な装飾部を有した可動装飾体を備えており、

前記可動装飾体の前記装飾部は、第 1 装飾部と当該第 1 装飾部とは異なる第 2 装飾部とを含み構成され、

前記装飾部を有した前記可動装飾体の装飾態様は、遊技者に視認させる前記装飾部の態様を動力による動作によって異ならせることで変更可能にされており、

前記可動装飾体を備える前記開閉扉は、前記装飾部の態様を異ならせることによって装飾態様を変更可能な前記可動装飾体の特別形状部と隣り合うことで外形形状が連続した形状となる特別形状を有した連続意匠部を設けており、

前記可動装飾体を備えた前記開閉扉は、遊技者の操作を受付可能な受付手段を備えている

ことを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

10

20

【技術分野】

【0001】

本発明は、ぱちんこ遊技機（一般的に「パチンコ機」とも称する）や回胴式遊技機（一般的に「パチスロ機」とも称する）等の遊技機に関するものである。

【背景技術】

【0002】

パチンコ機等の遊技機は、遊技球等の遊技媒体が打込まれる遊技領域内に配置されている始動口に遊技媒体が受入れられると、所定の抽選が行われ、抽選された抽選結果に応じて「大当り」等の遊技者が有利となる有利遊技状態を発生させる。始動口への遊技媒体の受入れにより抽選された抽選結果の示唆は、正面視遊技領域内の略中央に配置された演出表示手段に表示される演出画像によって行われ、表示された演出画像によって、有利遊技状態の発生に対する期待感を高めさせて、遊技者を楽しませるようにしている。

10

【0003】

この種の遊技機として、始動口への遊技媒体の受入れによる抽選結果に応じて、可動する装飾体を備えたものが提案されている（例えば、特許文献1）。これにより、有利遊技状態の発生に対する期待感を更に高めさせることができる。

【0004】

【0005】

しかしながら、従来と同等の構成では、早期に飽きてしまい、遊技に対する興趣を低下させてしまう虞がある。

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、興趣が低下するのを抑制することが可能な遊技機の提供を課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は、

所定条件の成立に基づいて抽選を実行する抽選手段と、前記抽選手段による抽選の結果に基づいて演出を実行する演出実行手段と、を有する遊技機であって、

30

前記抽選手段の抽選に基づき可変表示を実行する可変表示実行手段と、

前記可変表示実行手段による可変表示を遊技者側から視認可能とするとともに前面側に開閉可能な開閉扉と、

を備え、

前記開閉扉は、動力によって動作可能な装飾部を有した可動装飾体を備えており、

前記可動装飾体の前記装飾部は、第1装飾部と当該第1装飾部とは異なる第2装飾部とを含み構成され、

前記装飾部を有した前記可動装飾体の装飾態様は、遊技者に視認させる前記装飾部の態様を動力による動作によって異ならせることで変更可能にされており、

前記可動装飾体を備える前記開閉扉は、前記装飾部の態様を異ならせることによって装飾態様を変更可能な前記可動装飾体の特別形状部と隣り合うことで外形形状が連続した形状となる特別形状を有した連続意匠部を設けており、

40

前記可動装飾体を備えた前記開閉扉は、遊技者の操作を受付可能な受付手段を備えているものであることを特徴とする。

【発明の効果】

【0045】

このように、本発明によれば、装飾性が高まり興趣が低下するのを抑制することが可能な遊技機を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0046】

50

- 【図 1】本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。
- 【図 2】パチンコ機の右側面図である。
- 【図 3】パチンコ機の平面図である。
- 【図 4】パチンコ機の背面図である。
- 【図 5】パチンコ機を前から見た斜視図である。
- 【図 6】パチンコ機を後ろから見た斜視図である。
- 【図 7】本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。
- 【図 8】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図である。 10
- 【図 9】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 10】パチンコ機における扉枠の正面図である。
- 【図 11】扉枠の背面図である。
- 【図 12】扉枠を右前から見た斜視図である。
- 【図 13】扉枠を左前から見た斜視図である。
- 【図 14】扉枠を後ろから見た斜視図である。
- 【図 15】扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 16】扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 17】扉枠の皿ユニットを前から見た斜視図である。 20
- 【図 18】皿ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 19】皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 20】皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 21】皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図である。
- 【図 22】演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 23】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図である。
- 【図 24】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 25】演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 26】取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である。 30
- 【図 27】演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 28】タッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 29】演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 30】ボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 31】皿ユニットの平面図である。
- 【図 32】図 31 における A-A 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。
- 【図 33】図 31 における B-B 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。
- 【図 34】(a) は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、(b) は扉右下演出ユニットの右側面図である。 40
- 【図 35】扉右下演出ユニットを前から見た斜視図である。
- 【図 36】扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 37】図 34 (b) の扉右下演出ユニットにおける C-C 断面図である。
- 【図 38】扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 39】扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 40】扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 41】回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 42】(a) は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり 50

、(b)は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。

【図43】(a)は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b)は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。

【図44】上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図45】上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図46】(a)は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b)は下皿球抜きユニットを後ろから見た斜視図である。

【図47】遊技盤の正面図である。

【図48】遊技盤を前から見た斜視図である。

10

【図49】遊技盤を後ろから見た斜視図である。

【図50】遊技領域内における遊技球の流通可能な領域を示す説明図である。

【図51】(a)は図50において遊技盤の右端付近を拡大して示す説明図であり、(b)はセンター役物の右側面において遊技パネルの前面よりも前側のみを示す説明図である。

【図52】(a)は遊技盤の裏ユニットにおける落下演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は落下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図53】落下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図54】落下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図55】(a)は落下演出ユニットの構成を概略で示し落下装飾体が上昇している通常の状態を示す説明図であり、(b)は落下装飾体が上下に揺動している状態を示す説明図である。

20

【図56】(c)は落下装飾体が落下した状態を示す説明図であり、(d)は落下した落下装飾体を通常の状態へ上昇させている状態を示す説明図である。

【図57】落下演出ユニットの落下装飾体が落下した状態を示す遊技盤の正面図である。

【図58】落下演出ユニットの落下装飾体が落下した後に上演出ユニットの上装飾体が下方へ回動した状態を示す遊技盤の正面図である。

【図59】シャッター演出ユニットの上シャッターと下シャッターとが閉じた状態を示す遊技盤の正面図である。

【図60】左演出ユニットの左装飾体が右方へ回動していると共に、右演出ユニットの右装飾体が左方へ移動している状態を示す遊技盤の正面図である。

30

【発明を実施するための形態】

【0047】

[1. パチンコ機の全体構造]

本発明の一実施形態であるパチンコ機1について、図面を参照して詳細に説明する。まず、図1乃至図9を参照して本実施形態のパチンコ機1の全体構成について説明する。図1は本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。図2はパチンコ機の右側面図であり、図3はパチンコ機の平面図であり、図4はパチンコ機の背面図である。図5はパチンコ機を前から見た斜視図であり、図6はパチンコ機を後ろから見た斜視図である。図7は本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。図8はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図であり、図9はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。

40

【0048】

本実施形態のパチンコ機1は、遊技ホールの島設備(図示しない)に設置される枠状の外枠2と、外枠2の前面を開閉可能に閉鎖する扉枠3と、扉枠3を開閉可能に支持していると共に外枠2に開閉可能に取付けられている本体枠4と、本体枠4に前側から着脱可能に取付けられると共に扉枠3を通して遊技者側から視認可能とされ遊技者によって遊技球が打込まれる遊技領域5aを有した遊技盤5と、を備えている。

【0049】

50

パチンコ機 1 の外枠 2 は、図 8 及び図 9 等に示すように、上下に離間しており左右に延びている上枠部材 10 及び下枠部材 20 と、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の両端同士を連結しており上下に延びている左枠部材 30 及び右枠部材 40 と、を備えている。上枠部材 10、下枠部材 20、左枠部材 30、及び右枠部材 40 は、前後の幅が同じ幅に形成されている。また、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の左右の長さに対して、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の上下の長さが、長く形成されている。

【0050】

また、外枠 2 は、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の下端同士を連結し下枠部材 20 の前側に取付けられる幕板部材 50 と、上枠部材 10 の正面視左端部側に取付けられている外枠側上ヒンジ部材 60 と、幕板部材 50 の正面視左端側上部と左枠部材 30 とに取付けられている外枠側下ヒンジ部材 70 と、を備えている。外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 と外枠側下ヒンジ部材 70 とによって、本体枠 4 及び扉枠 3 が開閉可能に取付けられている。

10

【0051】

パチンコ機 1 の扉枠 3 は、正面視の外形が四角形で前後に貫通している貫通口 111 を有した枠状の扉枠ベースユニット 100 と、扉枠ベースユニット 100 の前面下部に取付けられ遊技球を貯留可能な上皿 201 及び下皿 202 を有した皿ユニット 200 と、扉枠ベースユニット 100 の前面上部に取付けられるトップユニット 350 と、扉枠ベースユニット 100 の前面左部に取付けられる左サイドユニット 400 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右部に取付けられる右サイドユニット 450 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右下部に皿ユニット 200 を貫通して取付けられ上皿 201 に貯留された遊技球を遊技盤 5 の遊技領域内へ打込むために遊技者が操作可能なハンドルユニット 500 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ遊技領域内へ打ち損じた遊技球を受けて皿ユニット 200 の下皿 202 へ排出するファールカバーユニット 520 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ上皿 201 の遊技球を球発射装置 680 へ送るための球送りユニット 540 と、扉枠ベースユニット 100 の後面に取付けられ貫通口 111 を閉鎖するガラスユニット 560 と、ガラスユニット 560 の後面下部を覆う防犯カバー 580 と、を備えている。

20

【0052】

パチンコ機 1 の本体枠 4 は、一部が外枠 2 の枠内に挿入可能とされると共に遊技盤 5 の外周を支持可能とされた枠状の本体枠ベース 600 と、本体枠ベース 600 の正面視左側の上下両端に取付けられ外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 及び外枠側下ヒンジ部材 70 に夫々回転可能に取付けられると共に扉枠 3 の扉枠側上ヒンジ部材 140 及び扉枠側下ヒンジ部材 150 が夫々回転可能に取付けられる本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 と、本体枠ベース 600 の正面視左側面に取付けられる補強フレーム 660 と、本体枠ベース 600 の前面下部に取付けられており遊技盤 5 の遊技領域 5a 内に遊技球を打込むための球発射装置 680 と、本体枠ベースの正面視右側面に取付けられており外枠 2 と本体枠 4、及び扉枠 3 と本体枠 4 の間を施錠する施錠ユニット 700 と、本体枠ベース 600 の正面視上辺及び左辺に沿って後側に取付けられており遊技者側へ遊技球を払出す逆 L 字状の払出ユニット 800 と、本体枠ベース 600 の後面下部に取付けられている基板ユニット 900 と、本体枠ベース 600 の後側に開閉可能に取付けられ本体枠ベース 600 に取付けられた遊技盤 5 の後側を覆う裏カバー 980 と、を備えている。

30

40

【0053】

本体枠 4 の払出ユニット 800 は、本体枠ベース 600 の後側に取付けられる逆 L 字状の払出ユニットベース 801 と、払出ユニットベース 801 の上部に取付けられており上方へ開放された左右に延びた箱状で図示しない島設備から供給される遊技球を貯留する球タンク 802 と、球タンク 802 の下側で払出ユニットベース 801 に取付けられており球タンク 802 内の遊技球を正面視左方向へ誘導する左右に延びたタンクレール 803 と、払出ユニットベース 801 における正面視左側上部の後面に取付けられタンクレール 803 からの遊技球を蛇行状に下方へ誘導する球誘導ユニット 820 と、球誘導ユニット 8

50

20の下側で払出ユニットベース801から着脱可能に取付けられており球誘導ユニット820により誘導された遊技球を払出制御基板ボックス950に収容された払出制御基板からの指示に基づいて一つずつ払出す払出装置830と、払出ユニットベース801の後面に取付けられ払出装置830によって払出された遊技球を下方へ誘導すると共に皿ユニット200における上皿201での遊技球の貯留状態に応じて遊技球を通常放出口又は満タン放出口の何れかから放出させる上部満タン球経路ユニット850と、払出ユニットベース801の下端に取付けられ上部満タン球経路ユニット850の通常放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の貫通球通路526へ誘導する通常誘導路及び満タン放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の満タン球受口530へ誘導する満タン誘導路を有した下部満タン球経路ユニット860と、を備えている。

10

【0054】

本体枠4の基板ユニット900は、本体枠ベース600の後側に取付けられる基板ユニットベース910と、基板ユニットベース910の正面視左側で本体枠ベース600の後側に取付けられ内部に低音スピーカを有したスピーカユニット920と、基板ユニットベース910の後側で正面視右側に取付けられ内部に電源基板が収容されている電源基板ボックス930と、スピーカユニット920の後側に取付けられており内部にインターフェイス制御基板が収容されているインターフェイス制御基板ボックス940と、電源基板ボックス930及びインターフェイス制御基板ボックス940に跨って取付けられており内部に遊技球の払出しを制御する払出制御基板が収容された払出制御基板ボックス950と、を備えている。

20

【0055】

パチンコ機1の遊技盤5は、図8及び図9等に示すように、遊技球が打込まれる遊技領域5aの外周を区画し球発射装置680から発射された遊技球を遊技領域5aの上部に案内する外レール1001及び内レール1002を有した前構成部材1000と、前構成部材1000の後側に取付けられると共に遊技領域5aの後端を区画する平板状の遊技パネル1100と、遊技パネル1100の後側の下部に取付けられており上方に開放された箱状の基板ホルダ1200と、基板ホルダ1200の後側に取付けられておりパチンコ機1の遊技を制御するための主制御基板を内部に収容した主制御基板ボックス1300と、遊技パネル1100の前側で遊技領域5a内に取付けられ遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能な複数の入賞口を有した表ユニット2000と、基板ボックス1200の上側で遊技パネル1100の後側に取付けられ遊技パネル1100を通して遊技者側から視認可能な中央液晶表示装置1500と、中央液晶表示装置1500を遊技パネル1100の後側に取付けている裏ユニット3000と、を備えている。

30

【0056】

本実施形態のパチンコ機1は、上皿201に遊技球を貯留した状態で、遊技者がハンドルレバー504を回転操作すると、球発射装置680によってハンドルレバー504の回転角度に応じた強さで遊技球が遊技盤5の遊技領域5a内へ打込まれる。そして、遊技領域5a内に打込まれた遊技球が、図示しない入賞口に受入れられると、受入れられた入賞口に応じて、所定数の遊技球が払出装置830によって上皿201に払出される。この遊技球の払出しによって遊技者の興味を高めることができるため、上皿201内の遊技球を遊技領域5a内へ打込ませることができ、遊技者に遊技を楽しませることができる。

40

【0057】

[2. 扉枠の全体構成]

パチンコ機1の扉枠3について、図10乃至図16を参照して説明する。図10はパチンコ機における扉枠の正面図であり、図11は扉枠の背面図である。図12は扉枠を右前から見た斜視図であり、図13は扉枠を左前から見た斜視図であり、図14は扉枠を後ろから見た斜視図である。図15は扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図16は扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【0058】

50

扉枠3は、正面視の外形が四角形で枠状の扉枠ベースユニット100と、扉枠ベースユニット100の前面下部に取付けられる皿ユニット200と、扉枠ベースユニット100の前面上部に取付けられるトップユニット350と、扉枠ベースユニット100の前面左部に取付けられる左サイドユニット400と、扉枠ベースユニット100の前面右部に取付けられる右サイドユニット450と、扉枠ベースユニット100の前面右下部に皿ユニット200を貫通して取付けられるハンドルユニット500と、を備えている。

【0059】

また、扉枠3は、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられるファールカバーユニット520と、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられる球送りユニット540と、扉枠ベースユニット100の後面に取付けられ貫通口111を閉鎖するガラスユニット560と、ガラスユニット560の後面下部を覆う防犯カバー580と、を備えている。

10

【0060】

扉枠3の扉枠ベースユニット100は、図15及び図16に等を示すように、外形が縦長の長方形で前後に貫通している貫通口111を有した板状の扉枠ベース110と、扉枠ベース110の前面で正面視右下隅に取付けられておりハンドルユニット500を取付けるための筒状のハンドル取付部材120と、扉枠ベース110の後側に取付けられている枠状の補強ユニット130と、補強ユニット130の正面視左端側の上下両端に取付けられており前方へ突出して本体枠4の本体枠側上ヒンジ部材620及び本体枠側下ヒンジ部材640に回転可能に取付けられる扉枠側上ヒンジ部材140及び扉枠側下ヒンジ部材150と、扉枠ベース110の後側に回動可能に取付けられておりガラスユニット560を着脱可能に取付けるためのガラスユニット取付部材160と、を備えている。

20

【0061】

扉枠3の皿ユニット200は、詳細は後述するが、上下に列設されており前方へ膨出しており遊技球を貯留可能な上皿201及び下皿202と、上皿201及び下皿202が取付けられていると共に扉枠ベースユニット100の前面に取付けられる板状の皿ユニットベース210と、上皿201の前側で皿ユニットベース210に取付けられ画像を表示可能な上皿液晶表示装置244、遊技者が操作可能なタッチパネル246及び上皿演出ボタン257を有している演出操作ユニット220と、上皿201及び下皿202を前側から覆う皿ユニットカバー260と、正面視上皿201の右側に配置されており遊技状態に応じて回転する扉右下回転体270Aを有している扉右下演出ユニット270と、扉右下演出ユニット270を前側から覆う透明な演出ユニットカバー300と、上皿201に貯留されている遊技球を下皿202へ抜くための上皿球抜きユニット310と、下皿202に貯留されている遊技球を下方へ抜くための下皿球抜きユニット320と、遊技ホールの島設備においてパチンコ機1と隣接して配置される球貸機（図示は省略する。CRユニットとも称す）を操作するための球貸操作ユニット330と、皿ユニットベース210の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材340と、を主に備えている。

30

【0062】

扉枠3のトップユニット350は、図15及び図16等を示すように、扉枠ベースユニット100の前面において上辺に沿って取付けられる一部が透光性を有したユニットベース360と、ユニットベース360の前面で左右の中央に取付けられており前方へ膨出している透光性を有したトップ装飾部材370と、トップ装飾部材370内に取付けられており高音域のサウンドを出力するトップスピーカ（図示は省略）と、ユニットベース360の後側に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられている扉枠上装飾基板380と、を備えている。

40

【0063】

扉枠3の左サイドユニット400は、図15及び図16等を示すように、扉枠ベースユニット100の前面で貫通口111の左側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース410と、ユニットベース410の前面に取付けられており上端がトップユニット350のトップ装飾部材370の左端まで延びている透光性を有した左サイド装飾部材4

50

20と、左サイド装飾部材420の前側で正面視扉枠3の左上隅となる位置に取付けられており左スピーカ（図示は省略）を有した左スピーカユニット430と、ユニットベース410の後側に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられた扉枠左装飾基板440と、を備えている。

【0064】

扉枠3の右サイドユニット450は、図15及び図16等に応示するように、扉枠ベースユニット100の前面で貫通口111の右側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース460と、ユニットベース460の前側に取付けられており上端がトップユニット350のトップ装飾部材370の右端まで延びている透光性を有した右サイド装飾部材470と、右サイド装飾部材470の前面で正面視扉枠3の右上隅となる位置に取付けられており右スピーカ（図示は省略）を有した右スピーカユニット480と、ユニットベース460と右サイド装飾部材470との間に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられた扉枠右装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

10

【0065】

扉枠3のハンドルユニット500は、図15及び図16等に応示するように、扉枠ベースユニット100のハンドル取付部材120に取付けられるハンドル本体502と、ハンドル本体502に回動可能に取付けられており遊技者が回動操作可能なハンドルレバー504と、ハンドルレバー504の前側からハンドル本体502に取付けられておりハンドル本体502と協働してハンドルレバー504を回動可能に支持しているハンドルカバー506と、を備えている。また、ハンドルユニット500は、図示は省略するが、ハンドル本体502内に取付けられておりハンドルレバー504の回転角度を検知するハンドル操作センサと、ハンドル本体502に取付けられており遊技者が操作可能なストップボタンと、ハンドル本体502内に取付けられており遊技者とハンドルレバー504との接触を検知する接触検知センサと、を備えている。

20

【0066】

扉枠3のファールカバーユニット520は、図15及び図16等に応示するように、扉枠ベースユニット100の後側に取付けられ前側が開放された浅い箱状のユニット本体522と、ユニット本体522の前面に取付けられている平板状の蓋部材524と、を主に備えている。ファールカバーユニット520は、正面視左上隅において前後に貫通しており本体枠4の下部満タン球経路ユニット860の通常誘導路と皿ユニット200の上皿球供給口210aとを連通させる貫通球通路526と、貫通球通路526の正面視右側で後方へ向かって開口しており本体枠4の下部満タン球経路ユニット860の満タン誘導路と連通可能な満タン球受口528と、満タン球受口528の正面視右側で上方へ向かって開口しており本体枠4の球発射装置680により発射されにも関わらず遊技領域5a内へ到達しなかった遊技球（ファール球）を受けるファール球受口530と、正面視右下隅で前方へ向かって開口しており満タン球受口528及びファール球受口530に受入れられた遊技球を放出すると共に皿ユニット200の下皿球供給口210cと連通する球放出口532と、を備えている。

30

【0067】

扉枠3の球送りユニット540は、図15及び図16等に応示するように、左右に延びており後側が開放された箱状のユニット本体542と、ユニット本体542の後側に取付けられており前側が開放された箱状でファールカバーユニット520の正面視右側で扉枠ベースユニット100の後側に着脱可能に取付けられるユニットカバー544と、前方へ向かって開口しており皿ユニット200の上皿201に貯留されている遊技球が進入する球進入口546と、球進入口546に進入した遊技球を放出可能とされており後方へ向かって開口している球放出口548と、球進入口546に進入した遊技球を排出可能とされており球進入口546の下側で前方へ向かって開口している球排出口550と、を備えている。また、球送りユニット540は、図示は省略するが、球進入口546から進入した遊技球を一つずつ球放出口548から放出させるための球送りソレノイドと、球進入口546から進入した遊技球を球放出口548側又は球排出口550側の何れかに切替える切替機

40

50

構と、を備えている。

【0068】

扉枠3のガラスユニット560は、図15及び図16等に応示するように、扉枠ベースユニット100の貫通口111よりも大きい枠状のユニット枠562と、ユニット枠562の前後両側に取付けられておりユニット枠562の枠内を閉鎖する一対のガラス板564と、を備えている。

【0069】

[2-1. 皿ユニットの全体構成]

扉枠3の皿ユニット200について、図17乃至図33を参照して詳細に説明する。図17は扉枠の皿ユニットを前から見た斜視図であり、図18は皿ユニットを後ろから見た斜視図である。図19は皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図20は皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図21は皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図であり、図22は演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。図23は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図であり、図24は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。図25は演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図26は取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である。

【0070】

また、図27は演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図28はタッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図29は演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図30はボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図31は皿ユニットの平面図であり、図32は図31におけるA-A断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図であり、図33は図31におけるB-B断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。

【0071】

更に、図34(a)は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、(b)は扉右下演出ユニットの右側面図であり、図35は扉右下演出ユニットを前から見た斜視図であり、図36は扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図37は、図34(b)の扉右下演出ユニットにおけるC-C断面図である。図38は扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図39は扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図40は扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図41は回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図42(a)は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり、(b)は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。

【0072】

また、図43(a)は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b)は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。図44は上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図45は上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図46(a)は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b)下皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【0073】

皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100から前方へ膨出している。この皿ユニット200は、払出装830から払出され遊技領域5a内に打込むための遊技球を貯留する上皿201と、上皿201の下側に配置されており上皿201から供給される遊技球を貯留可能な下皿202と、を備えている。また、皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100に取付けられる平板状の皿ユニットベース210と、皿ユニットベース210の前面上部に取付けられると共に左右中央より左側が前方へ大きく膨出しており上皿201を形成している上皿本体212と、皿ユニットベース210の前面下部で左右中央に取

10

20

30

40

50

付けられると共に前方へ大きく膨出しており下皿２０２を形成している下皿本体２１４と、を備えている。

【００７４】

また、皿ユニット２００は、上皿本体２１２の前側及び皿ユニットベース２１０の前面に取付けられる演出操作ユニット２２０と、上皿本体２１２、下皿本体２１４、及び演出操作ユニットの前側及び下側を覆い皿ユニットベース２１０の前面に取付けられる皿ユニットカバー２６０と、演出操作ユニット２２０の右側に配置されており皿ユニットベース２１０の前面右部に取付けられる扉右下演出ユニット２７０と、扉右下演出ユニット２７０の前側を覆い皿ユニットベース２１０の前面に取付けられる演出ユニットカバー３００と、皿ユニットベース２１０を前後から挟むように取付けられており上皿本体２１２の上皿２０１内に貯留されている遊技球を下皿２０２へ抜き取るための上皿球抜きユニット３１０と、下皿本体２１４の下側に取付けられており下皿２０２に貯留されている遊技球を下方へ排出するための下皿球抜きユニット３２０と、を備えている。

10

【００７５】

更に、皿ユニット２００は、演出操作ユニット２２０の上面に取付けられており遊技ホールの島設備においてパチンコ機１と隣接して配置される球貸機を操作するための球貸操作ユニット３３０と、皿ユニットベース２１０の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材３４０と、皿ユニットカバー２６０の後側で皿ユニットベース２１０の前面左側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数のＬＥＤを備えている皿ユニット左装飾基板３４５と、演出ユニットカバー３００の後側且つ扉右下演出ユニット２７０の下側で皿ユニットベース２１０の前面右側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数のＬＥＤを備えている皿ユニット右装飾基板３４６と、皿ユニットベース２１０の後側に取付けられており後述する上皿前装飾基板２３３、上皿後装飾基板２３５、上皿液晶基板２４１、加振装置２４２、タッチパネル２４６、演出ボタン装飾基板２５１、演出ボタン押圧センサ２５８、扉右下中継基板２８１、皿ユニット左装飾基板３４５、及び皿ユニット右装飾基板３４６と遊技盤５の図示しない周辺制御基板との接続を中継する皿ユニット中継基板３４７と、を備えている。

20

【００７６】

[２－１ a. 皿ユニットベース]

皿ユニット２００の皿ユニットベース２１０は、図１９及び図２０に示すように、扉枠ベースユニット１００の全幅に亘って左右に長く延びている。皿ユニットベース２１０は、正面視左上隅付近で前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている上皿球供給口２１０ aと、上皿球供給口２１０ aの下側で前後に貫通していると共に上下に延びている複数の長穴からなるスピーカスリット２１０ bと、正面視左右中央の下部において前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている下皿球供給口２１０ cと、下皿球供給口２１０ cの正面視右上側で前後に貫通していると共に上下に延びており上部が上皿本体２１２の右端に位置する上皿球送り口２１０ dと、を備えている。

30

【００７７】

また、皿ユニットベース２１０は、上皿球送り口２１０ dの正面視左側で前後に貫通している内周が四角形の透口２１０ eと、透口２１０ eの下辺から前方へ板状に突出している受片２１０ fと、上皿球送り口２１０ dの正面視右上側で前後に貫通している逃し口２１０ gと、正面視右下隅で前後に貫通しており扉枠ベースユニット１００のハンドル取付部材１２０が挿通されるハンドル挿通口２１０ hと、正面視右隅付近で前後に貫通しており施錠ユニット７００の鍵シリンダ７１０が挿通されるシリンダ挿通口２１０ iと、筒状の下皿球供給口２１０ cの正面視右側の側面において後端から前方へ向かって切欠かれている切欠部２１０ jと、を備えている。

40

【００７８】

[２－１ b. 上皿本体]

皿ユニット２００の上皿本体２１２は、図１９及び図２０に示すように、正面視左右の中央より左側の方が大きく前方へ膨出しており、上方及び後方へ開放された容器状に形成

50

されている。上皿本体 212 は、正面視右端側に左方及び後方へのみ開放されており遊技球が流通可能な誘導通路部 212a を備えている。この上皿本体 212 は、底面が全体的に右端が低くなるように傾斜している。詳述すると、上皿本体 212 を皿ユニットベース 210 に取付けた状態で、上皿本体 212 の底面が、上皿球供給口 210a の下側の位置から上皿球送り口 210d の上端から遊技球の外径よりも若干下側の位置へ向かって低くなるように傾斜している。これにより、上皿球供給口 210a から前方へ放出された遊技球を、上皿本体 212 内に受けて貯留することができると共に、受けた遊技球を誘導通路部 212a の右端側から上皿球送り口 210d へ供給することができる。

【0079】

また、上皿本体 212 は、底面の後端側で左右の中央から右端付近まで延びている金属製のアース金具 212b を備えている。このアース金具 212b は、図示は省略するが、電氣的に接地（アース）されており、遊技球が接触することで、遊技球に帯電した静電気を除去することができる。

【0080】

[2-1c. 下皿本体]

皿ユニット 200 の下皿本体 214 は、図 19 及び図 20 に示すように、前端辺に対して後端辺が長い平面視台形で、上方及び後方が開放された容器状に形成されている。下皿本体 214 は、底面に上下に貫通しており下皿球抜きユニット 320 によって閉鎖可能とされている球抜き孔 214a を備えており、球抜き孔 214a へ向かって低くなるように底面が傾斜している。この下皿本体 214 は、皿ユニットベース 210 の下皿球供給口 210c から前方へ放出された遊技球を受けて貯留することができると共に、球抜き孔 214a から遊技球を皿ユニット 200 の下方へ排出することができる。

【0081】

[2-1d. 演出操作ユニットの全体構成]

皿ユニット 200 の演出操作ユニット 220 は、図 21 乃至図 24 に示すように、正面視左右の中央で皿ユニットベース 210 及び上皿本体 212 に取付けられる取付ベースユニット 220A と、取付ベースユニット 220A に取付けられるタッチユニット 220B と、タッチユニット 220B の正面視左側で取付ベースユニット 220A に取付けられるボタンユニット 220C と、タッチユニット 220B と取付ベースユニット 220A との間に介装される円筒状の複数のダンパ 222 と、タッチユニット 220B 及びボタンユニット 220C の外周を上側から覆うように取付ベースユニット 220A に取付けられるユニットカバー 224 と、取付ベースユニット 220A の正面視右端に取付けられる装飾部材 226 と、を備えている。

【0082】

演出操作ユニット 220 のダンパ 222 は、円筒状に形成されており、外周面における軸方向の中央に溝 222a が全周に亘って形成されている。本実施形態におけるダンパ 222 は、合成ゴムによって形成されている。複数のダンパ 222 によって、タッチユニット 220B が叩かれた時の衝撃を緩和させて取付ベースユニット 220 や皿ユニットベース 210 側へ作用する負荷（衝撃）を低減させることができると共に、タッチユニット 220B の後述する加振装置 242 による振動が、取付ベースユニット 220 や皿ユニットベース 210 側へ伝達されるのを低減させることができる。

【0083】

[2-1d-1. 取付ベースユニット]

演出操作ユニット 220 の取付ベースユニット 220A は、図 23 乃至図 26 に示すように、皿ユニットベース 210 の前面に取付けられ上方が開放された浅い箱状の取付ベース 230 と、取付ベース 230 の上側に取付けられると共に後端が上皿本体 212 の前端に取付けられ上側からタッチユニット 200B を収容可能な上方が開放された浅い箱状のユニットケース 231 と、ユニットケース 231 の前端に取付けられる横長の上皿前レンズ部材 232 と、上皿前レンズ部材 232 とユニットケース 231 との間に配置され前面に複数の LED を備えた上皿前装飾基板 233 と、上皿前レンズ部材 232 の前側を覆い

ユニットカバー 224 に取付けられる透光性を有した上皿前装飾部材 234 と、を備えている。

【0084】

また、取付ベースユニット 220A は、ユニットケース 231 の後端に取付けられており上方へ向かって光を照射可能な複数の LED を備えた上皿後装飾基板 235 と、上皿後装飾基板 235 の上側に配置されユニットカバー 224 に取付けられる透光性を有した上皿後装飾部材 236 と、上皿後装飾部材 236 の前側においてユニットカバー 224 とユニットケース 231 とによって挟持され上皿後装飾基板 235 からの光を導いて上端が線状に発光可能な線状発光レンズ部材 237 と、上皿後装飾部材 236 の正面視右側でユニットカバー 224 に取付けられる筒状のボタン取付部材 238 と、ボタン取付部材 238 によって上下にスライド可能に取付けられる上皿球抜きボタン 239 と、を備えている。

10

【0085】

取付ベース 230 は、前後の略中央から前側に、前方へ向かうに従って低くなるように傾斜している平板状の取付側受部 230a と、取付側受部 230a を貫通しており左右に離間した二つの貫通口 230b と、貫通口 230b の周縁から下方へ延出している筒状の筒状受部 230c と、を備えている。貫通口 230b は、内周が四角形に形成されている。筒状受部 230c は、下方へ向かうに従って窄まるように角錐筒状に形成されている（図 33 を参照）。詳述すると、筒状受部 230c は、前側の内周壁が取付側受部 230a の面に対して略垂直に延びており、後側の内周壁が取付側受部 230a の面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、筒状受部 230c は、左右両側の内周壁が取付側受部 230a の面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。

20

【0086】

ユニットケース 231 は、上方へ開放されておりタッチユニット 220B を収容可能な収容凹部 231a と、収容凹部 231a の底面の正面視左右両端付近から夫々前後に離間して一対ずつ上方へ円柱状に突出している横支持ピン 231b と、収容凹部 231a の底面の前端付近から左右に離間して上方へ円柱状に突出している一対の前支持ピン 231c と、収容凹部 231a において底面の前後端側の左右中央から上方へ突出している中央支持突起 231d と、収容凹部 231a の底面の下側から下方へ向かうに従って窄まるように角錐状に突出しており左右に離間した二つの受突部 231e と、を備えている。

30

【0087】

また、ユニットケース 231 は、収容凹部 231a よりも正面視左側で上下に円形に貫通しておりボタンユニット 220C の下部が挿通される挿通孔 231f と、上面における挿通孔 231f の周りに配置されておりボタンユニット 220C を取付けるためのボタンユニット取付部 231g と、収容凹部 231a の後側の外周壁において左右に延びていると共に上端から下方へ窪み線状発光レンズ部材 237 の線状発光部 237b が配置される切欠部 231h と、を備えている。

【0088】

ユニットケース 231 の収容凹部 231a は、平面視の形状が、左右に延びた四角形と、その四角形の左右両辺から外側へ突出した台形とを組合せた形状に形成されている。また、収容凹部 231a は、左右両側の台形の部位の底面に対して、四角形の部位の底面が、下方へ低く形成されている。この収容凹部 231a の底面の段差は、ダンパ 222 の高さ（軸方向の長さ）よりも若干低く形成されている。

40

【0089】

四つの横支持ピン 231b は、収容凹部 231a における台形の部位の底面から上方へ突出しており、筒状のダンパ 222 内へ挿入可能に形成されている。また、横支持ピン 231b は、上端側に、上端側へ向かうに従って直径が小さくなる円錐台状のテーパ部 231i を備えている（図 32 を参照）。横支持ピン 231b は、収容凹部 231a の底面からテーパ部 231i の中間までの距離が、ダンパ 222 の長さと同じとされており、全体がダンパ 222 よりも長く形成されている。一対の前支持ピン 231c は、筒状のダンパ

50

２２２内へ挿入可能とされており、ダンパ２２２の半分の長さよりも若干長く形成されている。

【００９０】

中央支持突起２３１ｄの上端は、収容凹部２３１ａにおける台形の部位の底面と同じ高さまで突出している。受突部２３１ｅは、外周が四角形の円錐台状に形成されている。二つの受突部２３１ｅは、取付ベース２３０の二つの貫通口２３０ｂと対応した位置に形成されている。受突部２３１ｅは、前側の外周壁が収容凹部２３１ａの底面に対して略垂直に延びており、後側の外周壁が収容凹部２３１ａの底面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、受突部２３１ｅは、左右両側の外周壁が収容凹部２３１ａの面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。受突部２３１ｅの外周壁の形状は、取付ベース２３０の筒状受部２３０ｃの内周壁の形状と対応している。この受突部２３１ｅは、組立てた状態で、下端が取付ベース２３１の貫通口２３０ａ内に挿入されると共に、筒状受部２３０ｃの内周壁との間に僅かな隙間が形成される。

10

【００９１】

上皿前装飾部材２３４は、皿ユニット２００が組立てられた状態で、前面が外部に露出する。上皿後装飾基板２３５は、上皿後装飾部材２３６を発光装飾させるための複数の装飾用ＬＥＤ２３５ａと、線状発光レンズ部材２３７を発光装飾させるための複数の周縁用ＬＥＤ２３５ｂと、を備えている。

【００９２】

20

線状発光レンズ部材２３７は、上皿後装飾部材２３６よりも左右が長く形成されており、上皿後装飾基板２３５の複数の周縁用ＬＥＤ２３５ｂの上側に配置される受光部２３７ａと、受光部２３７ａと連続しユニットケース２３１の切欠部２３１ｈに嵌め込まれる平板状の線状発光部２３７ｂと、を備えている。線状発光レンズ部材２３７は、線状発光部２３７ｂをユニットケース２３１の切欠部２３１ｈに嵌め込むことで、線状発光部２３７ａの前面が収容凹部２３１ａの内周壁の一部を形成する。また、線状発光レンズ部材２３７は、皿ユニット２００が組立てられた状態で、線状発光部２３７ｂの上端が外部に露出する。この線状発光レンズ部材２３７は、周縁用ＬＥＤ２３５ｂからの光を受光部２３７ａで受光することができ、受光部２３７ａで受光した光を線状発光部２３７ｂへ導光して線状発光部２３７ｂの上端全体を（線状に）発光させることができる。

30

【００９３】

上皿球抜きボタン２３９は、ボタン取付部材２３８によって上下にスライド可能に取付けられ、ボタン取付部材２３８よりも下方へ延出している延出片２３９ａを備えている。この上皿球抜きボタン２３９を下方へ押圧することで、上皿球抜きユニット３１０を動作させて上皿２０１内に貯留されている遊技球を、上皿２０１から下皿２０２へ排出する（抜く）ことができる。

【００９４】

取付ベースユニット２２０Ａは、四つの横支持ピン２３１ｂと二つの前支持ピン２３１ｃに夫々挿入されたダンパ２２２によって、タッチユニット２２０Ｂを弾性的に支持することができる。また、タッチユニット２２０Ｂが取付けられるユニットケース２３１の下方へ突出している二つの受突部２３１ｅの外周面と、ユニットケース２３１の下側で受突部２３１ｅの下端が挿入されている取付ベース２３０の筒状受部の内周面との間に僅かな隙間を形成している。これにより、タッチユニット２２０Ｂ側からユニットケース２３１が下方へ移動するような力（衝撃）が作用した時に、その力が直ちに取付ベース２３０の取付側受部２３０ａに伝達されず、ユニットケース２３１の収容凹部２３１ａの底面が下方へある程度撓んで受突部２３１ｅの下端の外周面が筒状受部２３０ｃの内周面に当接することで、取付ベース２３０側へ力が伝達される。つまり、ユニットケース２３１から取付ベース２３０へ力を伝達させる際に、ユニットケース２３１が撓むため、その撓みによって力のある程度減衰させて取付ベース２３０へ伝達させることができる。

40

【００９５】

50

また、ユニットケース 231 の受突部 231e 及び取付ベース 230 の筒状受部 230c は、それらが形成されている面（タッチユニット 220B の上面と平行な面）に対して傾斜した外周面及び内周面を備えているため、受突部 231e から筒状受部 230c へ伝達される力の一部が、筒状受部 230c が備えられている取付側受部 230a の底面に沿った方向へ作用する。これにより、受突部 231e（ユニットケース 231）側からの力が分散し、取付ベース 230 に対して一方向へ大きな力が作用するのを回避させることができ、取付ベース 230 が破損し難くなる。

【0096】

[2-1d-2. タッチユニット]

演出操作ユニット 220 のタッチユニット 220B は、図 27 及び図 28 に示すように、上方が開放された浅い箱状の下ケース 240 と、下ケース 240 内に上側から取付けられる上皿液晶基板 241 と、下ケース 240 内において上皿液晶基板 241 の左右両外側に配置される一对の加振装置 242 と、一对の加振装置 242 及び上皿液晶基板 241 の上側を覆うと共に下ケース 240 に取付けられ上方が開放された浅い箱状のベース部材 243 と、ベース部材 243 内に上側から挿入され上皿液晶基板 241 によって制御され画像を表示可能な上皿液晶表示装置 244 と、上皿液晶表示装置 244 の外周を覆う薄い金属板からなる枠状のアース金具 245 と、アース金具 245 及び上皿液晶表示装置 244 の上面を覆う透明なタッチパネル 246 と、タッチパネル 246 の外周を上側から覆いベース部材 243 を通して下ケース 240 に取付けられる枠状の上カバー 247 と、を備えている。

【0097】

また、タッチユニット 220B は、下ケース 240、ベース部材 243 及び上カバー 247 を組立てた状態で、それらの後端面において、下ケース 240 の下端から上カバー 247 の上端まで上下に延びていると共に、下ケース 240 等の後端面の左右の略全長に亘って延びており、下ケース 240、ベース部材 243 及び上カバー 247 の後端面に貼付けられている防水性を有したシート状の防水シール 248 を備えている。

【0098】

下ケース 240 は、外形がユニットケース 231 の収容凹部 213a の内形と対応しており、収容凹部 213a 内に収容可能に形成されている。下ケース 240 は、左右に延びた長方形の基板取付部 240a と、基板取付部 240a の左右両側から夫々台形に突出している平板状の突出部 240b と、各突出部 240b をダンパ 222 の外径と同じ内形で上下に貫通していると共に一部が左右方向外側へ開放されており前後に離間して形成された一对のダンパ取付凹部 240c と、ダンパ取付凹部 240c の内周面から突出しているフランジ部 240d と、突出部 240b における一对のダンパ取付凹部 240c の間で基板取付部 240a 寄りに配置され加振装置 242 が取付けられる加振装置取付部 240e と、を備えている。

【0099】

下ケース 240 のダンパ取付凹部 240c は、平面視の形状が C 字状に形成されており、C 字の開放されている側からダンパ 222 を挿入させることができる。また、フランジ部 240d は、ダンパ取付凹部 240c の上下の略中央で、ダンパ取付凹部 240c の C 字状の内周面の全周に亘って備えられている。このフランジ部 240d は、ダンパ 222 の溝 222a 内に挿入可能とされている。

【0100】

加振装置 242 は、小型の加振駆動モータ 242a と、加振駆動モータ 242a の回転軸に重心が偏芯して取付けられる錘 242b と、を備えている。この加振装置 242 は、加振駆動モータ 242a によって錘 242b を回転させることで、振動を発生させることができる。

【0101】

ベース部材 243 は、上皿液晶表示装置 244 が上側から挿入され浅い箱状に形成された液晶取付凹部 243a と、液晶取付凹部 243a の左右両側から外方へ延出している延

10

20

30

40

50

出部 2 4 3 b と、延出部 2 4 3 b の先端で下ケース 2 4 0 のダンパ取付凹部 2 4 0 c と対応する位置で上下に貫通しており上側が大径に座グリされたネジ孔 2 4 3 c と、ネジ孔 2 4 3 c の下端側に形成されており下端へ向かうに従って直径が大きくなる C 面取り状のテーパ部 2 4 3 d (図 3 2 を参照) と、を備えている。

【0102】

ベース部材 2 4 3 のネジ孔 2 4 3 c の下側の内径は、ユニットケース 2 3 1 における横支持ピン 2 3 1 b のテーパ部 2 3 1 i よりも先端側が通過することができると共に、テーパ部 2 3 1 i よりも基端側(下側)が通過することができない大きさに形成されている。

【0103】

タッチパネル 2 4 6 は、衝撃に強く割れ難い強化ガラスと、強化ガラスの上面に備えられた静電容量方式の透明なセンサシートと、強化ガラス及びセンサシートの外周を覆う枠状の保護カバーと、を備えている。

10

【0104】

タッチユニット 2 2 0 B は、下ケース 2 4 0 の左右に夫々一対ずつ備えられたダンパ取付凹部 2 4 0 c 内に、C 字の開放されている側からダンパ 2 2 2 を挿入して、ダンパ 2 2 2 を取付けることができる。この際に、ダンパ取付凹部 2 4 0 c の内周面から突出しているフランジ部 2 4 0 d が、ダンパ 2 2 2 の溝 2 2 2 a 内に挿入される。これにより、ダンパ取付凹部 2 4 0 c 内のダンパ 2 2 2 が、軸方向へ移動するのが規制される。ダンパ取付凹部 2 4 0 c にダンパ 2 2 2 を取付けた状態では、ダンパ 2 2 2 の上端がベース部材 2 4 3 の延出部 2 4 3 b の下面に当接すると共に、ダンパ 2 2 2 の下端が下ケース 2 4 0 の下

20

【0105】

また、タッチユニット 2 2 0 B は、一対の加振装置 2 4 2 の加振駆動モータ 2 4 2 a が、下ケース 2 4 0 とベース部材 2 4 3 との間に挟持されている。一対の加振装置 2 4 2 は、夫々独立して振動を発生させることができる。

【0106】

また、タッチユニット 2 2 0 B は、タッチパネル 2 4 6 を通して上皿液晶表示装置 2 4 4 に表示される画像を上側から視認することができる。そして、上皿液晶表示装置 2 4 4 にボタン等の画像を表示させ、遊技者がその画像のボタンを操作するようにタッチパネル 2 4 6 に触れることで、画像のボタンを操作することができる。

30

【0107】

更に、タッチユニット 2 2 0 B は、後側の外周面に防止水シール 2 4 8 が貼付けられているため、皿ユニット 2 0 0 上で飲み物等の液体をこぼした時に、その液体がタッチユニット 2 2 0 B 内に浸入するのを防止することができ、タッチユニット 2 2 0 B が液体の浸入によって破損するのを防止することができる。

【0108】

[2-1d-3. ボタンユニット]

演出操作ユニット 2 2 0 のボタンユニット 2 2 0 C は、図 2 9 及び図 3 0 に示すように、取付ベースユニット 2 2 0 A におけるユニットケース 2 3 1 のボタンユニット取付部 2 3 1 g に取付けられる円筒状のユニット本体 2 5 0 と、ユニット本体 2 5 0 の下側に配置され上面に LED が備えられた演出ボタン装飾基板 2 5 1 と、演出ボタン装飾基板 2 5 1 の下側を覆いユニット本体 2 5 0 の下側に取付けられる基板カバー 2 5 2 と、を備えている。

40

【0109】

また、ボタンユニット 2 2 0 C は、ユニット本体 2 5 0 内に上側から上下へスライド可能に挿入される筒状のボタンベース 2 5 3 と、ボタンベース 2 5 3 とユニット本体 2 5 0 との間に配置されボタンベース 2 5 3 を上方へ付勢するバネ部材 2 5 4 と、ボタンベース 2 5 3 内に挿入され演出ボタン装飾基板 2 5 1 の LED からの光を上方へ導くことが可能な導光部材 2 5 5 と、導光部材 2 5 5 の上側に配置され複数の微小なプリズムを備えたシート状の拡散レンズ部材 2 5 6 と、拡散レンズ部材 2 5 6 の上側を覆いボタンベース 2 5

50

3 に取付けられる透光性を有した上皿演出ボタン 2 5 7 と、演出ボタン装飾基板 2 5 1 の上面に取付けられておりボタンベース 2 5 3 の下降端への移動を検知する演出ボタン押圧センサ 2 5 8 と、を備えている。

【0110】

ユニット本体 2 5 0 は、外周面の下端から外方へ延出しボタンユニット取付部 2 3 1 g に取付けられる三つの取付片 2 5 0 a と、内周面の下端から内方へ延出しているフランジ状の柵部 2 5 0 b と、内周面に沿って柵部 2 5 0 b を貫通している一対の貫通口 2 5 0 c と、を備えている。

【0111】

ボタンベース 2 5 3 は、柵部 2 5 0 b の内周に挿入される筒状の下筒部 2 5 3 a と、下筒部 2 5 3 a の上端から上方へ向かうに従って直径が大きくなる円錐筒状の上筒部 2 5 3 b と、上筒部 2 5 3 b の上端から下方へ延出しており下端がユニット本体 2 5 0 の貫通口 2 5 0 c を貫通可能とされていると共に下端から外方へ突出しユニット本体 2 5 0 の下面と係合（当接）可能な爪を有する一対の係合爪部 2 5 3 c と、上筒部 2 5 3 b の外周面から上端の外径よりも短く外方へ放射状に突出しており下端がユニット本体 2 5 0 の柵部 2 5 0 b の上面と当接可能な複数の平板状の当接片 2 5 3 d と、下筒部 2 5 3 a 及び上筒部 2 5 3 b の外周面から外方へ平板状に延出しており演出ボタン押圧センサ 2 5 8 に検知される検知片 2 5 3 e と、を備えている。

【0112】

バネ部材 2 5 4 は、図示するように、コイルバネとされている。このバネ部材 2 5 4 は、下端がユニット本体 2 5 0 の柵部 2 5 0 b の上面に当接され、上端がボタンベース 2 5 3 における複数の当接片 2 5 3 d によって支持される。

【0113】

導光部材 2 5 5 は、ボタンベース 2 5 3 における上筒部 2 5 3 b の上部に嵌め込まれる円盤状の本体部 2 5 5 a と、本体部 2 5 5 a の下面から下方へボタンベース 2 5 3 の下筒部 2 5 3 a の下端付近まで延びている円柱状の複数の導光部 2 5 5 b と、を備えている。複数の導光部 2 5 5 b は、演出ボタン装飾基板 2 5 1 の L E D と対応するように備えられており、L E D からの光を導いて本体部 2 5 5 a の上面全体から放出させることができる。

【0114】

このボタンユニット 2 2 0 C は、ボタンベース 2 5 3、導光部材 2 5 5、拡散レンズ部材 2 5 6、及び上皿演出ボタン本体が一体的に組立てられており、それらが一緒にユニット本体 2 5 0 内を上下にスライドすることができる。これらボタンベース 2 5 3 等は、バネ部材 2 5 4 の付勢力によって、上皿演出ボタン 2 5 7 の上面がユニット本体 2 5 0 の上端よりも上方へ突出すると共に、ボタンベース 2 5 3 の一対の係合爪部 2 5 3 c がユニット本体 2 5 0 の下面と係合することで、これ以上の上昇が規制され、上皿演出ボタン 2 5 7 等が上昇端に位置した状態となる。

【0115】

バネ部材 2 5 4 の付勢力に抗して上皿演出ボタン 2 5 7 を下方へ押圧すると、上皿演出ボタン 2 5 7 等が下降し、ボタンベース 2 5 3 の検知片 2 5 3 e が、演出ボタン押圧センサ 2 5 8 によって検知され、上皿演出ボタン 2 5 7 の押圧操作が検知される。上皿演出ボタン 2 5 7 の押圧により、ボタンベース 2 5 3 が下降すると、ボタンベース 2 5 3 の複数の当接片 2 5 3 d の下端が、ユニット本体 2 5 0 の柵部 2 5 0 b の上面に当接し、これ以上の下降が規制され、上皿演出ボタン 2 5 7 等が下降端に位置した状態となる。

【0116】

また、ボタンユニット 2 2 0 C は、演出ボタン装飾基板 2 5 1 の L E D を発光させることで、上皿演出ボタン 2 5 7 を発光装飾させることができる。演出ボタン装飾基板 2 5 1 の L E D は、フルカラー L E D とされており、上皿演出ボタン 2 5 7 を様々な色に発光装飾させることができる。

【0117】

〔2-1d-4. 演出操作ユニットの特徴〕

本実施形態の演出操作ユニット220は、図32に示すように、組立てた状態で、タッチユニット220Bの下ケース240のダンパ取付凹部240cに取付けられたダンパ222の下端が、下ケース240の下面よりも下方へ突出していることから、取付ベースユニット220Aのユニットケース231の収容凹部231aの底面と、タッチユニット220Bの下ケース240の下面との間に、隙間が形成される。また、ユニットケース231の四つの横支持ピン231bの先端面（上端面）は、ベース部材243のネジ孔243cの座グリ底面と一致しており、横支持ピン231bに対するタッチユニット220Bの上方へ移動が、横支持ピン231bの上端にねじ込まれたビス227の頭部の平座金によって規制されている。また、横支持ピン231bの上端側に形成されたテーパ部231iと、ベース部材243のネジ孔243cの下端側に形成されたテーパ部243dとは、互いに離間している。

10

【0118】

また、演出操作ユニット220は、図33に示すように、ユニットケース231の前支持ピン231cに挿入されているダンパ222の上面は、収容凹部231aの底面における横支持ピン231b側の底面よりも若干上方へ突出している。また、ユニットケース231の収容凹部231aの底面と、下ケース240の下面との間に隙間が形成されていることから、ユニットケース231の前支持ピン231cに挿入されたダンパ222の上面と、下ケース240の下面との間にも隙間が形成されている。また、ユニットケース231の中央支持突起231dの上面と下ケース240の下面との間にも隙間が形成されている。つまり、タッチユニット220Bは、左右両側の横支持ピン231bに挿入されたダンパ222によって、下面が宙に浮いた状態で取付ベースユニット220Aに取付けられている。

20

【0119】

更に、演出操作ユニット220は、取付ベースユニット220Aの取付ベース230における下方へ窄まる角錐筒状の筒状受部230c内に、上側からタッチユニット220Bが取付けられているユニットケース231における下方へ窄まる角錐状の受突部231eの下端が挿入されている。この筒状受部230cの内周壁と、受突部231eの外周壁との間には、僅かな隙間が形成されている。これにより、通常の状態では、取付ベース230には、ユニットケース231の内側（収容凹部231aの中央側）が宙に浮いた状態で、ユニットケース231の外周付近のみが取付けられている。

30

【0120】

また、演出操作ユニット220は、図21等示すように、タッチユニット220Bにおいて遊技領域5aに近い後側の辺に沿って線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの上端が線状（帯状）に露出している。線状発光部237bの上端の長さは、タッチユニット220Bの後辺の長さの約2/3である。このタッチユニット220Bの後辺に沿って露出している線状発光部237bの上端の後側に、上皿後装飾部材236が配置されている。また、上皿後装飾部材236の正面視右側に、上皿球抜きボタン239が配置されている。更に、タッチユニット220Bの正面視左側に、ボタンユニット220Cが配置されている。

40

【0121】

この演出操作ユニット220は、遊技領域5a内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて、遊技者に対して様々な演出を提示することができる。例えば、タッチユニット220Bの上皿液晶表示装置244に画像を表示させることで、透明なタッチパネル246を通して画像（演出画像）を遊技者に提示して楽しませることができる。

【0122】

この上皿液晶表示装置244に表示される画像として、操作ボタンを模した画像を表示させると共に、タッチパネル246のセンサシート246bによるタッチの検知を受付可能とすることで、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作させることができ、タッチパネル246を用いた演出を楽しむことができる。タッチパネル246を用いた演出の際

50

に上皿液晶表示装置 244 に表示される画像は、操作ボタンに限定するものではなく、様々な画像を表示させることができる。

【0123】

また、演出操作ユニット 220 では、タッチユニット 220B を複数のダンパ 222 によってユニットケース 231 から浮いた状態で支持しているため、遊技状態に応じて加振装置 242 を動作させることで、タッチユニット 220B を振動させることができる。タッチパネル 246 を用いた演出の際に、加振装置 242 によってタッチパネル 246 (タッチユニット 220B) を振動させることで、加振装置 242 による振動をタッチパネル 246 に接触している遊技者の指や手等に伝達させて、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作しているにも関わらず恰も実体のある操作ボタンを操作しているように錯覚させて驚かせることができ、タッチパネル 246 と振動による演出を遊技者に楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【0124】

更に、演出操作ユニット 220 では、タッチユニット 220B の正面視左側にボタンユニット 220C を備えているため、遊技状態に応じて遊技者に上皿演出ボタン 257 を押圧操作させて、上皿演出ボタン 257 の操作を楽しませることができる。詳述すると、タッチパネル 246 における画像の操作ボタンでは、タッチパネル 246 に触れるだけであるため実際の操作ボタンと比較して操作感に欠ける嫌いがあるが、上皿演出ボタン 257 では現実に押圧操作することができるため、上皿演出ボタン 257 の操作に違和感を与えてしまうことがなく、上皿演出ボタン 257 の操作を快適に楽しませることができ、遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0125】

この演出操作ユニット 220 は、前方へ膨出している皿ユニット 200 において上皿 201 が備えられている部位に配置されているため、タッチユニット 220B やボタンユニット 220C を用いた演出中以外においても、遊技者をタッチユニット 220B 等を上から叩く虞がある。これに対して、演出操作ユニット 220 では、タッチユニット 220B をダンパ 222 によって下側のユニットケース 231 から浮いた状態で支持しているため、タッチユニット 220B が上から叩かれても、ダンパ 222 の弾性力によってその衝撃をある程度吸収することができる。詳述すると、タッチユニット 220B が叩かれたり押圧されたり等して、上から衝撃(荷重)が作用すると、左右の横支持ピン 231b が挿入されているダンパ 222 に伝達され、タッチユニット 220B が下降しながらダンパ 222 が圧縮される。横支持ピン 231b に支持されたダンパ 222 が圧縮されることで、タッチユニット 220B からの衝撃が吸収される。

30

【0126】

そして、更に、衝撃によってタッチユニット 220B が下降すると、下ケース 240 の下面が前支持ピン 231c の挿入されているダンパ 222 の上端に当接し、タッチユニット 220B の下降に伴って前支持ピン 231c に支持されているダンパ 222 が下方へ圧縮される。これにより、横支持ピン 231b に支持されているダンパ 222 に加えて、前支持ピン 231c に支持されているダンパ 222 によっても、タッチユニット 220B からの衝撃が吸収される。

40

【0127】

タッチユニット 220B に作用する衝撃によってタッチユニット 220B が更に下降すると、タッチユニット 220B の下ケース 240 の下面がユニットケース 231 における収容凹部 231a の左右両側の底面と中央支持突起 231d の上面とに当接する。これにより、タッチユニット 220B からの衝撃が、複数のダンパ 222 介さず、タッチユニット 220B からユニットケース 231 へ直接作用することとなる。

【0128】

更に、タッチユニット 220B が下降すると、中央支持突起 231d からの荷重によってユニットケース 231 の収容凹部 231a の底面が、その中央が下方へ移動するように撓むこととなる。この収容凹部 231a の底面の撓みによる弾性力によって、タッチユニ

50

ット220Bからの衝撃が吸収される。この収容凹部231aの底面が撓むことで、収容凹部231aの底面の下側から下方へ突出している一対の受突部231eが下降する。そして、タッチユニット220Bからの衝撃によって受突部231eが更に下降すると、受突部231eの外周壁の下端側が、取付ベース230の筒状受部230cの内周壁に当接し、タッチユニット220Bからの衝撃が、ユニットケース231から取付ベース230へ伝達されることとなる。

【0129】

受突部231eの外周壁と筒状受部230cの内周壁は、夫々が下方へ窄まる角錐状に形成されていることから、受突部231eから筒状受部230c（取付ベース230側）へ伝達される荷重が、取付ベース230の取付側受部230aの底面に沿った方向と底面に垂直な方向とに分散されて伝達される。このように、タッチユニット220Bに作用した衝撃が、取付ベース230に伝達されるまでに、その衝撃を吸収する構成が幾重にも配置されているため、タッチユニット220Bに作用した衝撃を十分に吸収して緩和させることができ、その衝撃によって、タッチユニット220B、ユニットケース231、取付ベース230等を破損し難くすることができる。

10

【0130】

また、演出操作ユニット220は、遊技状態に応じて上皿後装飾基板235の周縁用LED235bによりタッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って延びている線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの上端を線状に発光させることができる。これにより、遊技者の関心をタッチユニット220Bへ引付けることができ、タッチユニット220Bにおける上皿液晶表示装置244に表示される画像や、タッチパネル246を用いたタッチ演出等を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0131】

また、遊技状態に応じて、上皿後装飾基板235の装飾用LED235aによりタッチパネル220Bの後側（線状発光部237bよりも後側）に配置されている上皿後装飾部材236を発光装飾させることができる。この上皿後装飾部材236を発光装飾させることで、線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの発光と同様に、遊技者の関心をタッチユニット220B等の演出操作ユニット220へ引付けることができ、演出操作ユニット220によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0132】

更に、上皿液晶基板241や上皿液晶表示装置244を備えたタッチユニット220Bを、取付ベースユニット220Aの取付ベース230とユニットケース231とによって、皿ユニットカバー260の後述する上皿下被覆部262の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット220Bの後側の外周面に防水シール248を貼付けている。これにより、上皿201において、外気に触れることで上皿本体212や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿201の下方（上皿下被覆部262上）へ流動しても、タッチユニット220B内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット220Bにおいて不具合が発生するのを防止することができる。

40

【0133】

また、図33に示すように、上皿後装飾部材236や線状発光レンズ部材237を発光装飾させる上皿後装飾基板235を、上皿201の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿201で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板235においてショートや腐蝕等の不具合が発生するのを防止することができる。

【0134】

[2-1e. 皿ユニットカバー]

皿ユニット200の皿ユニットカバー260は、図17乃至図20に示すように、左右に延びていると共に、左右の中央が前方へ膨出しており、後方へ開放された殻状に形成されている。皿ユニットカバー260は、左右の略中央で前方へ開口しており後端が皿ユニットベース210によって閉鎖される下皿開口部261と、下皿開口部261の内周壁に

50

おける天板側（上側）を形成しており上皿本体 2 1 2 及び演出操作ユニット 2 2 0 の下側を覆う上皿下被覆部 2 6 2 と、下皿開口部 2 6 1 の正面視左側に配置されており本体枠 4 のスピーカユニット 9 2 0 の低音スピーカからの音を透過させるスピーカグリル 2 6 3 と、スピーカグリル 2 6 3 の上側に配置され皿ユニット左装飾基板 3 4 5 によって発光装飾される皿ユニット左装飾部材 2 6 4 と、下皿開口部 2 6 1 の正面視右側に配置されておりハンドルユニット 5 0 0 のハンドル本体 5 0 2 の後部が通過するハンドル口 2 6 5 と、皿ユニットカバー 2 6 0 の底面を形成しており下皿本体 2 1 4 の下側を覆う底板部 2 6 6 と、左右の中央で底板部 2 6 6 を上下に貫通しており下皿球抜きユニット 3 2 0 によって閉鎖される底板開口部 2 6 7 と、を備えている。

【0 1 3 5】

10

下皿開口部 2 6 1 は、内周壁の底板側（下側）が下皿本体 2 1 4 によって閉鎖される。スピーカグリル 2 6 3 及び皿ユニット左装飾部材 2 6 4 は、金属板に複数の孔を設けたパンチングメタルによって構成されている。

【0 1 3 6】

この皿ユニットカバー 2 6 0 は、正面視左側の表面が滑らかな感じに形成されているのに対して、右側の表面がゴツゴツした感じに形成されている。また、正面視の右側は、略全体的に透光性を有している。

【0 1 3 7】

皿ユニットカバー 2 6 0 は、皿ユニット 2 0 0 に組立てた状態で、タッチユニット 2 2 0 B の上面と上皿下被覆部 2 6 2 の下面との間が、片手で掴むことが可能な間隔に形成されている。これにより、遊技者が、タッチユニット 2 2 0 B をタッチ操作する際に、下皿開口部 2 6 1 の上側を掴むことで、タッチする指（手や腕）を安定させることができ、タッチユニット 2 2 0 B のタッチ操作を行い易くできる。

20

【0 1 3 8】

詳述すると、組立てた状態では、タッチユニット 2 2 0 B の前端上面と上皿下被覆部 2 6 2 の下面との間の厚さが約 2 5 mm に、タッチユニット 2 2 0 B の後端上面と上皿下被覆部 2 6 2 の下面との間の厚さが約 5 0 mm に、上皿下被覆部 2 6 2 の前端からタッチユニット 2 2 0 B の後端までの前後の距離が約 6 0 mm に、夫々形成されている。また、タッチユニット 2 2 0 B の上面が、水平に対して約 2 0 度傾斜している。これにより、タッチユニット 2 2 0 B の上面と上皿下被覆部 2 6 2 の下面との間を、遊技者の手で掴むことができる。

30

【0 1 3 9】

[2 - 1 f . 扉右下演出ユニット]

皿ユニット 2 0 0 の扉右下演出ユニット 2 7 0 は、図 3 4 乃至図 4 2 に示すように、ハンドルユニット 5 0 0 の上側、且つ、演出操作ユニット 2 0 0 の右側に配置されており、遊技状態に応じて回転すると共に発光装飾する球状の扉右下回転体 2 7 0 A を備えている。扉右下演出ユニット 2 7 0 は、皿ユニットベース 2 1 0 の前面で逃し口 2 1 0 g を閉鎖するように取付けられ扉右下回転体 2 7 0 A を回転可能に支持するユニットベース 2 7 1 と、ユニットベース 2 7 1 に取付けられている扉右下駆動モータ 2 7 2 と、扉右下駆動モータ 2 7 2 の回転軸に固定されている駆動ギア 2 7 3 と、駆動ギア 2 7 3 と噛合し扉右下回転体 2 7 0 A に取付けられている従動ギア 2 7 4 と、従動ギア 2 7 4 を回転可能に支持しておりユニットベース 2 7 1 に取付けられている軸部材 2 7 5 と、を備えている。

40

【0 1 4 0】

また、扉右下演出ユニット 2 7 0 は、従動ギア 2 7 4 とは扉右下回転体 2 7 0 A の反対側に取付けられておりユニットベース 2 7 1 に回転可能に支持されている回転体側軸受部材 2 7 6 と、扉右下回転体 2 7 0 A の従動ギア 2 7 4 とは反対側をユニットベース 2 7 1 と協働して回転可能に支持しているベース側軸受部材 2 7 7 と、ユニットベース 2 7 1 に取付けられており扉右下回転体 2 7 0 A の回転位置を検知可能な二つの回転検知センサ 2 7 8 と、扉右下回転体 2 7 0 A の正面視左側でユニットベース 2 7 1 に取付けられている装飾部材 2 7 9 と、ユニットベース 2 7 1 の後側に取付けられており前面に複数の LED

50

を備えた扉右下ベース装飾基板 280 と、ユニットベース 271 の後側に取付けられており扉右下駆動モータ 272、回転検知センサ 278、扉右下ベース装飾基板 280、及び後述する扉右下回転体装飾基板 291 と周辺制御基板（図示は省略）との接続を中継する扉右下中継基板 281 と、を備えている。

【0141】

扉右下回転体 270A は、外殻を構成し夫々が半球殻状の前外殻部材 285 及び後外殻部材 286 と、前外殻部材 285 と後外殻部材 286 との間に配置される回転体内部ユニット 290 と、を備えている。前外殻部材 285 及び後外殻部材 286 は、回転軸を中心に半円形状の切欠部 285a、286a が夫々形成されている。前外殻部材 285 は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾 285b と、帯装飾 285b の中央に配置されているハート形のハート装飾 285c と、を備えている。一方、後外殻部材 286 は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾 286b を備えている。前外殻部材 285 と後外殻部材 286 とを合わせた時に、前外殻部材 285 の帯装飾 285b と後外殻部材 286 の帯装飾 286b とが繋がるように形成されている。

10

【0142】

回転体内部ユニット 290 は、図 40 及び図 41 に示すように、円盤状で両面に複数の LED が備えられている扉右下回転体装飾基板 291 と、扉右下回転体装飾基板 291 の中心に取付けられており扉右下回転体装飾基板 291 の面に対して垂直に延びており先端が軸部材 275 に取付けられる円柱状の第一固定軸部材 292 と、第一固定軸部材 292 とは扉右下回転体装飾基板 291 の反対側に取付けられており扉右下回転体装飾基板 291 の面に対して垂直に延びており先端がユニットベース 271 及びベース側軸受部材 277 に取付けられる円筒状の第二固定軸部材 293 と、を備えている。図示は省略するが、第二固定軸部材 293 の内部には、扉右下中継基板 281 と扉右下回転体装飾基板 291 とを接続する配線コードが挿入されている。

20

【0143】

また、回転体内部ユニット 290 は、扉右下回転体装飾基板 291 の両側に配置されており前外殻部材 285 及び後外殻部材 286 の内側に取付けられる平板で円環状の透明なリフレクタベース 294 と、リフレクタベース 294 に取付けられており円環状で軸方向外側へ開いた朝顔状の第一リフレクタ 295 と、第一リフレクタ 295 の円環内を通してリフレクタベース 294 に取付けられており中心に六角形の貫通孔 296a を有した第二リフレクタ 296 と、を備えている。第一リフレクタ 295 及び第二リフレクタ 296 は、表面に金属光沢を有したメッキ層が備えられており、扉右下回転体装飾基板 291 からの光を反射させることができる。また、第一リフレクタ 295 及び第二リフレクタ 296 には、放射状に延びた平板状のリブが複数備えられている。

30

【0144】

この回転体内部ユニット 290 は、扉右下回転体装飾基板 291、第一固定軸部材 292、及び第二固定軸部材 293 と、リフレクタベース 294、第一リフレクタ 295、及び第二リフレクタ 296 とが、相対回転可能に互いに分離している。

【0145】

ユニットベース 271 は、扉右下回転体 270A の後側に配置される環状のリング部 271a と、リング部 271a の外周におけるリング部 271a の中心に対して正面視斜め右上の部位から前方へ平板状に突出している第一突出片 271b と、リング部 271a の外周における第一突出片 271b とは反対側の部位から前方へ平板状に突出している第二突出片 271c と、第二突出片 271c の前端から後方へ向かって U 字状に窪み第二固定軸部材 293 の先端が挿入される軸受溝 271d と、を備えている。

40

【0146】

扉右下駆動モータ 272 は、第一突出片 271b の外側の側面（右側の側面）に、回転軸が貫通した状態で取付けられる。従動ギア 274 は、駆動ギア 273 よりも大径に形成されている。軸部材 275 は、第一突出片 271b の前端に取付けられる取付部 275a

50

と、取付部 275 a から筒状に突出している筒状軸部 275 b と、を備えている。この軸部材 275 は、筒状軸部 275 b の外周によって従動ギア 274 を回転可能に支持できると共に、筒状軸部 275 b の内周によって第一固定軸部材 292 の先端を回転不能に支持できる。

【0147】

回転体側軸受部材 276 は、第二固定軸部材 293 が回転可能に挿入される軸受孔 276 a と、外方へ延出している平板状の検知片 276 b と、を備えている。ベース側軸受部材 277 は、ユニットベース 271 における第二突出片 271 c の前端的 U 字状の軸受溝 271 d の開放されている前端側を閉鎖するように、第二突出片 271 c の前端に取付けられる。二つの回転検知センサ 278 は、扉右下回転体 270 A の回転軸を挟んで対称に第二突出片 271 c に取付けられる。二つの回転検知センサ 275 は、扉右下回転体 270 A のハート装飾 285 c が前方を向く回転位置（図 42（a）を参照）と、ハート装飾 285 c が後方を向く回転位置（図 42（b）を参照）とを、夫々検知することができる。

10

【0148】

本実施形態の扉右下演出ユニット 270 は、遊技状態に応じて、扉右下駆動モータ 272 によって扉右下回転体 270 A を回転させることができると共に、ハート装飾 285 c が前方を向くように停止するか否かで、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0149】

また、扉右下演出ユニット 270 は、扉右下回転体 270 A 内部の扉右下回転体装飾基板 291 が回転不能に取付けられていることから、扉右下回転体 270 A の回転中に、扉右下回転体装飾基板 291（の LED）を発光させると、扉右下回転体 270 A の回転につれて扉右下回転体装飾基板 291 から照射される光の位置が移動すると共に、第一リフレクタ 295 や第二リフレクタ 296 によって反射誘導される光の方向が変化するため、扉右下回転体装飾基板 291 の LED を点滅させなくても、光が点滅しているように扉右下回転体 270 A を発光装飾させたり、LED から多様な色の光を照射することで扉右下回転体 270 A を虹色に発光装飾させたりすることができ、遊技者を楽しませることができる。

30

【0150】

[2-1 g. 演出ユニットカバー]

皿ユニット 200 の演出ユニットカバー 300 は、図 19 及び図 20 に示すように、扉右下演出ユニット 270 における球状の扉右下回転体 270 A の前側を覆う半球状で透明な回転体カバー部 301 と、回転体カバー部 301 の外周に形成されており皿ユニットカバー 260 の正面視右側の装飾と連続した装飾部 302 と、回転体カバー部 301 の下部右側において前後に貫通しており施錠ユニット 700 の鍵シリンダ 710 が挿通されるシリンダ挿通口 303 と、を備えている。

【0151】

演出ユニットカバー 300 は、全体が後方が開放された容器状で、透光性を有している。この演出ユニットカバー 300 は、回転体カバー部 301 の上側が扉右下演出ユニット 270 の扉右下ベース装飾基板 280 によって発光装飾されると共に、回転体カバー部 301 の下側が皿ユニット右装飾基板 346 によって発光装飾される。

40

【0152】

[2-1 h. 上皿球抜きユニット]

皿ユニット 200 の上皿球抜きユニット 310 は、図 43 乃至図 45 に示すように、皿ユニットベース 210 の透口 210 e 及び受片 210 f を前側から覆うように皿ユニットベース 210 の前面に取付けられ後方が開放された縦長箱状で上部に上皿球抜きボタン 239 の延出片 239 a が挿通可能な挿通口 311 a を有しているカバー 311 と、カバー 311 内における皿ユニットベース 210 の透口 210 e の正面視左上となる位置に取付けられている前ベース部材 312 と、前ベース部材 312 によって回転可能に支持されて

50

おり上皿球抜きボタン239の押圧により回転する押圧伝達部材313と、押圧伝達部材313を上皿球抜きボタン239が上昇する方向へ付勢している第一バネ部材314と、を備えている。

【0153】

また、上皿球抜きユニット310は、皿ユニットベース210の上皿球送り口210dを後側から閉鎖するように皿ユニットベース210の後側に取付けられている後ベース部材315と、後ベース部材315と皿ユニットベース210との間に配置されていると共に後ベース部材315によって昇降可能に取付けられており上側から押圧伝達部材313が接触している上皿球抜きスライダ316と、上皿球抜きスライダ316を上方へ付勢している第二バネ部材317と、を備えている。

10

【0154】

前ベース部材312は、皿ユニットベース210の前面と平行に延びておりカバー311に取付けられる平板状のベース部312aと、ベース部312aの左右両端から前方へ平板状に延出している一对の延出片312bと、延出片312bの前端から後方へU字状に凹んだ軸支部312cと、ベース部312aの前面下端付近に備えられており第一バネ部材314の後端に係止される鉤状のバネ係止部(図示は省略)と、を備えている。

【0155】

押圧伝達部材313は、両端が前ベース部材312の一对の軸支部312c内へ回転可能に挿入される横長円柱状の軸部313aと、軸部313aから後方へ平板状に延出している後方延出片313bと、後方延出片313bの上面における正面視左端付近から上方へ平板状に延出しており上皿球抜きボタン239の延出片239cの下端が当接可能な上方延出片313cと、後方延出片313bの下面における正面視右端から下方へ平板状に延出している下方延出片313dと、軸部313aにおける正面視左端付近の下側から下方へ突出しており第一バネ部材314の前端に係止される鉤状のバネ係止部313eと、を備えている。下方延出片313dは、後方へ向かうに従って下方へ延びる三角形に形成されており、下端が上皿球抜きスライダ316と当接可能とされている。

20

【0156】

後ベース部材315は、皿ユニットベース210の後面と平行に平板状に延びており皿ユニットベース210に取付けられるベース部315aと、ベース部315aの前面で左右に離間して備えられており上皿球抜きスライダ316の左右両端をスライド可能に支持するスライダ支持部315bと、ベース部315aの上端における皿ユニットベース210の上皿球送り口210dの上部と対応する位置に前方へ開口していると共にベース部315aの後側で下方へ開口し遊技球が流通可能な上部入口315cと、を備えている。

30

【0157】

また、後ベース部材315は、ベース部315aの後側で上部入口315cと連続して下方へ延びていると共に後方へ開放されており下端が後方へ湾曲している第一誘導路315dと、第一誘導路315dの下側から下方へ延びた後に正面視左方へ延びて左端が左方へ開放されており全体が後方へ開放されているL字状の第二誘導路315eと、第二誘導路315eにおける左方へ延びた部位の後端側を閉鎖している平板状の通路蓋315fと、L字状の第二誘導路315eに二辺が囲まれるようにベース部315aを前後に貫通している開口部315gと、ベース部315aの前面から前方へボス状に突出しており第二バネ部材317の上端に係止されるバネ係止部315hと、を備えている。

40

【0158】

後ベース部材315におけるL字状の第二誘導路315eは、左方へ延びた部位が、左方へ向かうに従って低くなるように傾斜している。この第二誘導路315eの左端は、図43(b)に示すように、皿ユニットベース210における筒状の下皿球供給口210cの切欠部210jに挿入されており、第二誘導路315eと下皿球供給口210cとが互いに連通している。

【0159】

上皿球抜きスライダ316は、平板状で左右両端が後ベース部材315のスライダ支持

50

部 3 1 5 b にスライド可能に支持されるスライダベース 3 1 6 a と、スライダベース 3 1 6 a の上端における正面視中央より左側から前方へ皿ユニットベース 2 1 0 の透口 2 1 0 e を通って受片 2 1 0 f の上側へ延出し上面に押圧伝達部材 3 1 3 の下方延出片 3 1 3 d の下端が当接可能な伝達片 3 1 6 b と、伝達片 3 1 6 b の下側でスライダベース 3 1 6 a の後側から下方へ向かうに従って後方へ突出している三角状の作動伝達部 3 1 6 c と、スライダベース 3 1 6 a の前面から突出しており第二バネ部材 3 1 7 の下端に係止される鉤状のバネ係止部 3 1 6 d と、を備えている。

【0160】

上皿球抜きユニット 3 1 0 は、皿ユニット 2 0 0 を組立てた状態で、後ベース部材 3 1 5 の上部入口 3 1 5 c が、上皿本体 2 1 2 の誘導通路部 2 1 2 a の正面視右端側となる下端に開口している。これにより、上皿 2 0 1 内の遊技球を、上部入口 3 1 5 c からベース部 3 1 5 a の後側の第一誘導部 3 1 5 d を介して球送りユニット 5 4 0 へ供給することができる。

10

【0161】

また、上皿球抜きユニット 3 1 0 は、上皿球抜きボタン 2 3 9 を下方へ押圧すると、上皿球抜きボタン 2 3 9 の延出片 2 3 9 a によって押圧伝達部材 3 1 3 が、第一バネ部材 3 1 4 の付勢力に抗して軸部 3 1 3 a を中心に、下方延出片 3 1 3 d の下端が下方へ移動する方向へ回動する。押圧伝達部材 3 1 3 の回動に伴って下方延出片 3 1 3 d の下端が下方へ移動すると、下方延出片 3 1 3 d の下端が当接している上皿球抜きスライダ 3 1 6 の伝達片 3 1 6 b によって上皿球抜きスライダ 3 1 6 が第二バネ部材 3 1 7 の付勢力に抗して

20

【0162】

この上皿球抜きスライダ 3 1 6 が下方へスライドすることで、作動伝達部 3 1 6 c が、球送りユニット 5 4 0 の切換機構を動作させて球送りユニット 5 4 0 内での流路が切換えられて、第一誘導路 3 1 5 d 側が第二誘導路 3 1 5 e 側と連通した状態となる。これにより、上皿 2 0 1 内の遊技球が、上部入口 3 1 5 c 、第一誘導路 3 1 5 d 、球送りユニット 5 4 0 、及び第二誘導路 3 1 5 e を通って、下皿球供給口 2 1 0 c から下皿 2 0 2 へ排出され、上皿 2 0 1 内の遊技球を抜くことができる。

【0163】

なお、上皿球抜きボタン 2 3 9 の下方への押圧を解除すると、第一バネ部材 3 1 4 及び第二バネ部材 3 1 7 の付勢力によって、上皿球抜きスライダ 3 1 6 や上皿球抜きボタン 2 3 9 が上昇し、元の状態に復帰することができる。

30

【0164】

[2-1 i. 下皿球抜きユニット]

皿ユニット 2 0 0 の下皿球抜きユニット 3 2 0 は、図 4 6 等 に示すように、皿ユニットカバー 2 6 0 の底板開口部 2 6 7 を閉鎖するように下皿本体 2 1 4 の下側に取付けられ下皿本体 2 1 4 の球抜き孔 2 1 4 a と一致する開口部 3 2 1 a を有している平板状の下皿球抜きベース 3 2 1 と、下皿球抜きベース 3 2 1 上を左右にスライドし開口部 3 2 1 a を閉鎖可能な平板状のスライド蓋 3 2 2 と、スライド蓋 3 2 2 の前端に取付けられており皿ユニットカバー 2 6 0 の前面から外部へ露出する摘み部 3 2 3 と、スライド蓋 3 2 2 によって

40

【0165】

下皿球抜きベース 3 2 1 の開口部 3 2 1 a は、正面視左右中から右寄りの位置に形成されている。この下皿球抜きベース 3 2 1 は、下皿本体 2 1 2 に取付けることで、下皿球抜きベース 3 2 1 と下皿本体 2 1 2 との間でスライド蓋 3 2 2 を左右へスライド可能に支持することができる。スライド蓋 3 2 2 は、正面視左端側に保持装置 3 2 5 によって保持される保持突起 3 2 2 a を備えている。

【0166】

50

保持装置 3 2 5 は、下皿球抜きベース 3 2 1 に取付けられる本体 3 2 5 a と、本体 3 2 5 a から開閉可能に突出しており保持突起 3 2 2 a を掴むことができる一対の保持爪 3 2 5 b と、を備えている。保持装置 3 2 5 は、開いている一対の保持爪 3 2 5 a の間に、保持突起 3 2 2 a を挿入して本体 3 2 5 a 側へ押圧すると、一対の保持爪 3 2 5 b が閉じて保持突起 3 2 2 a を保持すると共に、一対の保持爪 3 2 5 b が閉じた状態で維持される。この状態で、保持突起 3 2 2 a を本体 3 2 5 a 側へ移動させると、一対の保持爪 3 2 5 a が開いた状態となり、保持突起 3 2 2 a の保持が解除される。

【0167】

この下皿球抜きユニット 3 2 0 は、摘み部 3 2 3（スライド蓋 3 2 2）が正面視右側へ移動している状態では、開口部 3 2 1 a と下皿本体 2 1 4 の球抜き孔 2 1 4 a との間にス

10

【0168】

この状態から、摘み部 3 2 3 を左側へ操作することでスライド蓋 3 2 2 が左方へスライドし、開口部 3 2 1 a と球抜き孔 2 1 4 a とが連通する。これにより、下皿 2 0 2 内の遊技球が球抜き孔 2 1 4 a 及び開口部 3 2 1 a を通って皿ユニット 2 0 0 の下方へ抜けるようになり、下皿 2 0 2 内の遊技球を抜くことができる。この際に、スライド蓋 3 2 2 の保持突起 3 2 2 a が、保持装置 3 2 5 の一対の保持爪 3 2 5 b によって保持されるため、摘み部 3 2 3 の操作をやめてもスライド蓋 3 2 2 が開いたままの状態となり、下皿 2 0 2 内の遊技球を抜き続けることができる。

20

【0169】

スライド蓋 3 2 2 を閉めるには、摘み部 3 2 3 を左側へ僅かに操作すると、一対の保持爪 3 2 5 b が開いて保持突起 3 2 2 a の保持が解除され、バネ部材 3 2 4 の付勢力によってスライド蓋 3 2 2 が右側へスライドして、球抜き孔 2 1 4 a を閉鎖する。このように、下皿球抜きユニット 3 2 0 の摘み部 3 2 3 を操作することで、下皿 2 0 2 に遊技球を貯留させたり、下皿 2 0 2 に貯留された遊技球を抜いたりすることができる。

【0170】

[2-1 j. 球貸操作ユニット]

皿ユニット 2 0 0 の球貸操作ユニット 3 3 0 は、図 1 9 及び図 2 0 等に示すように、演出操作ユニット 2 2 0 における正面視右端付近の上面に取付けられ透光性を有しているユ

30

【0171】

この球貸操作ユニット 3 3 0 は、パチンコ機 1 に隣接して設けられた球貸機に対して現金やプリペイドカードを投入した上で、球貸ボタン 3 3 2 を押すと、所定数の遊技球を皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 内へ貸出す（払出す）ことができると共に、返却ボタン 3 3 3 を押すと貸出された分の残りを引いた上で投入した現金の残金やプリペイドカードが返

40

【0172】

[2-1 k. 上皿トップ装飾部材]

皿ユニット 2 0 0 の上皿トップ装飾部材 3 4 0 は、図 1 9 及び図 2 0 等に示すように、皿ユニットベース 2 1 0 の上端における左右中央に取付けられ左右に帯状に延びた透光性を有する上皿トップレンズ 3 4 0 a と、上皿トップレンズ 3 4 0 a の下側に取付けられており上面に複数の L E D が取付けられた上皿トップ装飾基板 3 4 0 b と、を備えている。

【0173】

この上皿トップ装飾部材 3 4 0 は、上皿トップ装飾基板 3 4 0 b の L E D を発光させる

50

ことで、上皿トップレンズ340aを帯状に発光させることができる。この上皿トップ装飾部材340は、演出操作ユニット200の後側に配置されていることから、上皿後装飾部材236や線状発光レンズ部材237等の発光装飾と同様に、上皿トップ装飾部材340を発光装飾させることで、遊技者の関心をタッチユニット220B等の演出操作ユニット220へ引付けることができ、演出操作ユニット220によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0174】

[2-11. 皿ユニットの特徴的な作用効果]

本実施形態の皿ユニット200は、遊技領域5aの下側の遊技球を貯留する上皿201を有した皿ユニット200の上面における演出操作ユニット220のタッチユニット220Bに、遊技領域5a内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて上皿液晶表示装置244に画像を表示させる際に、上皿液晶表示装置244の遊技領域5aに近い側の後側の外周縁に沿って帯状の線状発光レンズ部材237、上皿後装飾部材236、及び上皿トップ装飾部材340等を発光させることができるため、遊技者の視線が遊技領域5a内に集中していても、視線（視界）の外側から入る線状発光レンズ部材237等の光に気付くことができ、遊技者の視線（関心）を線状発光レンズ部材237等つまり上皿液晶表示装置244側へ引き付けることができる。従って、上皿液晶表示装置244において、遊技状態に応じて画像等の演出を提示する際に、線状発光レンズ部材237等を発光させることで、遊技者に対して上皿液晶表示装置244による演出の提示に気付かせることができ、上皿液晶表示装置244による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0175】

また、皿ユニット200に遊技状態に応じて画像を表示可能な上皿液晶表示装置244を備えていることから、チャンスの到来を示唆する画像を表示させるようにした場合、遊技領域5a外に配置されている上皿液晶表示装置244によってチャンスの到来が示唆されることとなるため、遊技者に対して遊技領域5a内での遊技と、遊技領域5a外の上皿液晶表示装置244での演出との両方を気に掛けさせることができる。従って、遊技領域5a内と遊技領域5a外（上皿液晶表示装置244）とを気に掛けさせることで、スピード感のあるタイトな遊技を楽しませることができ、遊技者の興味が低下するのを抑制することができると共に、上皿液晶表示装置244においてチャンスの到来を示唆する画像を表示する時に、線状発光レンズ部材237等を発光させることで、遊技者を上皿液晶表示装置244に注目させることができ、チャンスの到来を確実に認識させて遊技者を楽しませることができる。この場合、遊技者によっては、遊技領域5a内と遊技領域5a外との両方が気になることで、どちらにも集中できなくなって興味が低下してしまう虞があるが、遊技状態（チャンスの到来）に応じて線状発光レンズ部材237等が発光するため、線状発光レンズ部材237等が発光するまでは遊技領域5a内へ集中することができ、遊技領域5a内での遊技を楽しませることができると共に、線状発光レンズ部材237等の発光時には上皿液晶表示装置244での演出を楽しませることができ、遊技にメリハリを付けて飽き難くすることができる。

【0176】

また、遊技領域5aの下側で遊技者側へ膨出した皿ユニット200に上皿液晶表示装置244を備えているため、上皿液晶表示装置244が遊技者から近い位置に配置されることとなる。これにより、本パチンコ機1の正面に位置している遊技者によって上皿液晶表示装置244が隠れ易くなり、上皿液晶表示装置244を隣や後ろの他の遊技者からは見え難くなるため、上皿液晶表示装置244により提示される演出を当該遊技者のみに楽しむことができる。従って、上皿液晶表示装置244による演出を楽しんでいる時に、他の遊技者によって覗かれることで、不快に感じて興味が低下してしまうのを低減させることができると共に、上皿液晶表示装置244による演出の提示の際に線状発光レンズ部材237等が発光することで、上皿液晶表示装置244による演出を見逃し難くすることができ、上皿液晶表示装置244による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制する

ことができる。

【0177】

更に、線状発光レンズ部材237等を帯状に発光させるようにしているため、点状に発光させる場合と比較して、線状発光レンズ部材237等の発光を目立ち易くすることができ、遊技者の意識が遊技領域5a内に集中していても、線状発光レンズ部材237等の発光に気付かせ易くすることができ、上皿液晶表示装置244やタッチパネル246等による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。また、線状発光レンズ部材237等を帯状に発光させるため、他の発光装飾体等の発光とは異なる発光態様となり、発光装飾体等の発光と誤認してしまうのを低減させることができ、確実に線状発光レンズ部材237等の発光に気付かせることができる。

10

【0178】

また、上皿液晶表示装置244の外周縁のうち遊技領域5aに近い後側の位置に線状発光レンズ部材237等を配置しているため、線状発光レンズ部材237等を発光させた時に、線状発光レンズ部材237等の光を遊技者の視界に入り易くすることができ、線状発光レンズ部材237等の発光に気付かせて上皿液晶表示装置244の演出を楽しませることができる。

【0179】

また、上皿201等を有している皿ユニット200の上面に上皿液晶表示装置244等を有した演出操作ユニット200を備えており、皿ユニット200の上皿201は遊技領域5a内に打込むための遊技球の量を確認するための遊技者がある程度の頻度で視線を向けることから、上皿201へ視線を向けた際に上皿液晶表示装置244や線状発光レンズ部材237等が視界に入り易く、線状発光レンズ部材237の発光に気付く易くなる。また、遊技者が上皿201へある程度の頻度で視線を向けることから、視線を遊技領域5a内から上皿201（上皿液晶表示装置244）へ向け易い。従って、線状発光レンズ部材237等の発光に気付いた時に、即座に視線を上皿液晶表示装置244へ移すことができ、上皿液晶表示装置244により提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0180】

更に、遊技領域5aの下側に演出操作ユニット200を配置しており、下側から遊技者へ線状発光レンズ部材237等からの光が照射されるため、遊技領域5aの上側に配置した場合と比較して、遊技者の目に入り易く線状発光レンズ部材237等の発光に気付かせ易くすることができ、遊技者を上皿液晶表示装置244に確実に注目させることが可能となり、演出操作ユニット200による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0181】

また、遊技領域5aの左右方向の中央と対応する位置に演出操作ユニット200（上皿液晶表示装置244）を配置しているため、遊技者の視線の中心が遊技領域5a内のどの位置にあっても、線状発光レンズ部材237等からの光に気付く易くすることができ、遊技者を確実に上皿液晶表示装置244へ注目させることが可能となり、演出操作ユニット200による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0182】

また、演出操作ユニット200にタッチパネル246を備えているため、画像による演出の他に、遊技者にタッチパネル246を操作させる演出も行うことができ、多彩な演出によって遊技者を楽しませることができると共に、遊技者にタッチパネル246を操作させることで、演出に参加させることができ、遊技者に対して能動的に演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0183】

更に、タッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って配置された線状発光レンズ部材237（線状発光部237b）が、上皿201における遊技球を球送りユニット540（球発射装置680）へ送る誘導通路部212aに沿って配置されていると共に、誘導通路

50

部 2 1 2 a との間に上皿球抜きユニット 3 1 0 を動作させる上皿球抜きボタン 2 3 9 を配置されている。つまり、遊技者が遊技に必要な遊技球を確認する場所の近傍に線状発光レンズ部材 2 3 7 が備えられており、遊技中でも遊技者が気にする位置に線状発光レンズ部材 2 3 7 を配置した構成としているため、線状発光レンズ部材 2 3 7 の発光に気付かせることができ、遊技者の関心をタッチユニット 2 2 0 B に引付けてタッチユニット 2 2 0 B による演出（上皿液晶表示装置 2 4 4 による演出画像、タッチパネル 2 4 6 のタッチ操作、等）のタイミングに気付き易くすることができる。

【0 1 8 4】

また、上皿液晶基板 2 4 1 や上皿液晶表示装置 2 4 4 を備えたタッチユニット 2 2 0 B を、取付ベースユニット 2 2 0 A の取付ベース 2 3 0 とユニットケース 2 3 1 とによって、皿ユニットカバー 2 6 0 の上皿下被覆部 2 6 2 の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット 2 2 0 B の後側の外周面に防水シール 2 4 8 を貼付けているため、上皿 2 0 1 において、外気に触れることで上皿本体 2 1 2 や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿 2 0 1 の下方（上皿下被覆部 2 6 2 上）へ流動しても、タッチユニット 2 2 0 B 内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット 2 2 0 B において不具合が発生するのを防止することができる。

10

【0 1 8 5】

また、図 3 3 に示すように、上皿後装飾部材 2 3 6 や線状発光レンズ部材 2 3 7 を発光装飾させる上皿後装飾基板 2 3 5 を、上皿 2 0 1 の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿 2 0 1 で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板 2 3 5 においてショートや腐蝕等の不具合が発生するのを防止することができる。

20

【0 1 8 6】

更に、皿ユニット 2 0 0 の演出操作ユニット 2 2 0 において、加振装置 2 4 2 によってタッチパネル 2 4 6 と上皿液晶表示装置 2 4 4 とを備えたタッチユニット 2 2 0 B を振動させた際に、タッチユニット 2 2 0 B が複数（二つ）のダンパ 2 2 2 を挟んで浮いた状態で取付ベースユニット 2 2 0 A のユニットケース 2 3 1 に取付けられているため、タッチユニット 2 2 0 B（加振装置 2 4 2）の振動がダンパ 2 2 2 によって吸収・減衰されて取付ベースユニット 2 2 0 A に伝わることとなり、取付ベースユニット 2 2 0 A の振動を低減させることができる。従って、タッチユニット 2 2 0 B のタッチパネル 2 4 6 をタッチ操作した際に、加振装置 2 4 2 によってタッチユニット 2 2 0 B を振動させると、タッチユニット 2 2 0 B のみが振動することとなるため、遊技者に対してタッチユニット 2 2 0 B のタッチパネル 2 4 6 の操作感を十分に付与することができ、遊技者にタッチパネル 2 4 6 のタッチ操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0 1 8 7】

また、加振装置 2 4 2 によってタッチユニット 2 2 0 B を振動させることができるため、遊技者に対してタッチパネル 2 4 6 の操作感の他に、タッチユニット 2 2 0 B の振動によって驚かせたり、タッチパネル 2 4 6 を操作するタイミングを示唆したりすることができ、タッチユニット 2 2 0 B のタッチパネル 2 4 6 による操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0 1 8 8】

更に、タッチユニット 2 2 0 B を複数のダンパ 2 2 2 によって下側から支持しているため、タッチユニット 2 2 0 B を上側から叩いたり強く押したりしてタッチユニット 2 2 0 B に衝撃や荷重等が加えられても、ダンパ 2 2 2 によってその衝撃等を吸収することが可能となるため、衝撃等によってタッチユニット 2 2 0 B や取付ベースユニット 2 2 0 A 等が破損してしまうのを低減させることができ、タッチユニット 2 2 0 B 等の破損により遊技が中断することで遊技者の興味が低下してしまうのを抑制することができる。

40

【0 1 8 9】

また、タッチユニット 2 2 0 B の操作する部位をタッチパネル 2 4 6 としていることから、遊技者が操作する際には、ボタンを押圧操作する場合と比較して、タッチパネル 2 4 6 に触れている時間が長くなるため、タッチパネル 2 4 6 に触れた時に加振装置 2 4 2 で

50

タッチユニット２２０Ｂを振動させると、その振動を遊技者の指（手）に確実に伝達させることができる。従って、遊技者の指が振動することでタッチパネル２４６を操作していることを遊技者に実感させることができるため、十分な操作感を付与することができ、遊技者にタッチパネル２４６の操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【０１９０】

また、タッチユニット２２０Ｂの上皿液晶表示装置２４４に表示される画像を変更することで、タッチ操作（ボタン）の種類を簡単に変更することができ、多様な演出に対応することが可能となり、多様な演出によって遊技者を飽き難くして興味が低下するのを抑制することができる。更に、タッチユニット２２０Ｂにタッチパネル２４６を備えているため、従来の押圧ボタンと比較して、タッチ、タップ（シングルタップ、ダブルタップ）、ドラッグ、フリック、ピンチ（ピンチアウト、ピンチイン）、スワイプ、タッチアンドホールド、等の様々な操作を行うことができる。これにより、より多彩な操作演出を行うことができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【０１９１】

更に、タッチユニット２２０Ｂを、取付ベースユニット２２０Ａ（ユニットケース２３１）に対して上方へ移動不能且つ下方へ移動可能に取付けるようにしており、複数のダンパ２２２の弾性力（付勢力）によってタッチユニット２２０Ｂが上側の移動端に押し付けられた状態となるため、タッチパネル２４６の操作中にタッチユニット２２０Ｂを動き難くすることができ、タッチパネル２４６の操作を的確に行い易くすることができる。また、タッチユニット２２０Ｂが動き難くなることから、遊技者に対してタッチユニット２２０Ｂが動かないものであると思わせることができ、動かないと思っていたタッチユニット２２０Ｂが遊技状態に応じて加振装置２４２により振動することで遊技者を驚かせることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【０１９２】

また、互いに離間した複数の加振装置２４２によってタッチユニット２２０Ｂを振動させるようにしているため、例えば、タッチパネル２４６において遊技者が操作する部位に近い位置の加振装置２４２を駆動させることで、強い振動を伝達させることができる。従って、タッチパネル２４６において、遊技者が操作すべき位置と異なる位置を操作した場合、遊技者に伝達される振動が異なることとなるため、遊技者に対して、操作を間違えていることを知らせることが可能となり、遊技者に対して正しい操作を行わせることができ、タッチパネル２４６を用いた操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【０１９３】

また、互いに離間した複数の加振装置２４２を備えているため、各加振装置２４２の振動の周波数や強さ等を適宜制御することで、タッチパネル２４６の任意の位置で共振現象を発生させることができる。従って、遊技者が操作した任意の位置で共振現象が発生するように各加振装置２４２を制御することで、より一層の操作感を付与したり、遊技者を大いに驚かせたりすることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【０１９４】

更に、タッチユニット２２０Ｂが上側から叩かれたり強く押されたりしてタッチユニット２２０Ｂに衝撃や荷重等が作用した場合、タッチユニット２２０Ｂの左右両端側がダンパ２２２を挟んでユニットケース２３１に取付けられているため、ダンパ２２２とタッチユニット２２０Ｂの撓りとによって上側からの衝撃等をある程度吸収して（減衰させて）ユニットケース２３１側へ伝達させることができる。また、ユニットケース２３１側では、ユニットケース２３１の外縁が下側の取付ベース２３０に取付けられているため、ユニットケース２３１を介したタッチユニット２２０Ｂ側からの衝撃や荷重等を、取付ベース２３０に対して広く分散させて伝達させることができる。この際に、ユニットケース２３１の下面から下方へ突出した受突部２３１eの外周壁と、取付ベース２３０の取付側受部

50

230aの底面において受突部231eが挿入されている筒状受部230cの内周壁との間に隙間が形成されているため、タッチユニット220Bからの衝撃や荷重等によって、ユニットケース231が下方へ撓んだ後に、受突部231eと筒状受部230cとが当接してユニットケース231から取付ベース230へ衝撃等が伝達されることとなり、ユニットケース231の撓みによって、衝撃等が更に減衰された状態で取付ベース230に伝達される。この受突部231eの外周壁と筒状受部230cの内周壁は、下方へ窄まっているため、受突部231eと筒状受部230cとが当接すると、受突部231e（ユニットケース231）側からの衝撃や荷重等が、取付ベース230の取付側受部230aの底面に対して斜め方向へ伝達され、取付ベース230の取付側受部230aの底面に垂直な方向と底面に沿った方向とに分解されることとなり、取付ベース230を撓ませようする底面に垂直な方向（下方向）の力が小さくなって取付ベース230側へ伝達される。従って、タッチユニット220Bが上側から叩かれたり強く押されたりしても、複数のダンパ222、ユニットケース231、取付ベース230によって、その衝撃等を効果的に減衰させることができ、タッチユニット220Bや取付ベースユニット220Aが破損するのを抑制することができる。

10

【0195】

[3. 遊技盤]

次に、パチンコ機1の遊技盤5について、図47乃至図60を参照して詳細に説明する。図47は、遊技盤の正面図である。図48は遊技盤を前から見た斜視図であり、図49は遊技盤を後ろから見た斜視図である。図50は、遊技領域内における遊技球の流通可能な領域を示す説明図である。図51(a)は図50において遊技盤の右端付近を拡大して示す説明図であり、(b)はセンター役物の右側面において遊技パネルの前面よりも前側のみを示す説明図である。図52(a)は遊技盤の裏ユニットにおける落下演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は落下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図53は落下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図54は落下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

20

【0196】

図55(a)は落下演出ユニットの構成を概略で示し落下装飾体が上昇している通常の状態を示す説明図であり、(b)は落下装飾体が上下に揺動している状態を示す説明図であり、図56(c)は落下装飾体が落下した状態を示す説明図であり、(d)は落下した落下装飾体を通常の状態へ上昇させている状態を示す説明図である。

30

【0197】

図57は落下演出ユニットの落下装飾体が落下した状態を示す遊技盤の正面図であり、図58は落下演出ユニットの落下装飾体が落下した後に上演出ユニットの上装飾体が下方へ回動した状態を示す遊技盤の正面図である。図59は、シャッター演出ユニットの上シャッターと下シャッターとが閉じた状態を示す遊技盤の正面図である。図60は、左演出ユニットの左装飾体が右方へ回動していると共に、右演出ユニットの右装飾体が左方へ移動している状態を示す遊技盤の正面図である。

【0198】

本実施形態の遊技盤5は、図示するように、遊技者がハンドルユニット500のハンドルレバー504を操作することで遊技球が打込まれる遊技領域5aの外周を区画し外形が正面で略矩形状とされた前構成部材1000と、前構成部材1000の後側に取付けられており遊技領域5aの後端を区画する板状の遊技パネル1100と、遊技パネル1100の後側下部に取付けられている基板ホルダ1200と、基板ホルダ1200の後面に取付けられており遊技球を遊技領域5a内へ打込むことで行われる遊技内容を制御する主制御基板を収容している主制御基板ボックス1300と、を備えている。遊技パネル1100の前面において遊技領域5a内となる部位には、遊技球と当接する複数の障害釘が所定のゲージ配列で植設されている（図示は省略）。

40

【0199】

また、遊技盤5は、主制御基板からの制御信号に基づいて所定の遊技状況を表示し前構

50

成部材１０００の左下隅に遊技者側へ視認可能に取付けられている機能表示ユニット１４００と、遊技パネル１１００の後側に前側から視認可能に取付けられている中央液晶表示装置１５００と、中央液晶表示装置１５００の後側に取付けられている周辺制御ユニット１６００と、遊技パネル１１００の前面に取付けられる表ユニット２０００と、遊技パネル１１００の後面に取付けられる裏ユニット３０００と、を更に備えている。

【０２００】

[３－１．前構成部材]

前構成部材１０００は、正面視の外形が略正方形とされ、内形が略円形状に前後方向へ貫通しており、内形の内周によって遊技領域５aの外周を区画することができる。この前構成部材１０００は、正面視で左右方向中央から左寄りの下端から時計回りの周方向へ沿って円弧状に延び正面視左右方向中央上端を通り過ぎて右斜め上部まで延びた外レール１００１と、外レール１００１に略沿って前構成部材１０００の枠内の内側に配置され正面視左右方向中央下部から正面視左斜め上部まで円弧状に延びた内レール１００２と、内レール１００２の下端の正面視右側で遊技領域５aの最も低くなった位置に形成されており後方へ向かって低くなるように傾斜しているアウト誘導部１００３と、アウト誘導部１００３の正面視右端から前構成部材１０００の右辺付近まで右端側が僅かに高くなるように直線状に傾斜している右下レール１００４と、右下レール１００４の右端から前構成部材１０００の右辺に沿って外レール１００１の上端の下側まで延びており上部が前構成部材１０００の枠内の内側へ湾曲している右レール１００５と、右レール１００５の上端と外レール１００１の上端とを繋いでおり外レール１００１に沿って転動して来た遊技球が当接する衝止部１００６と、を備えている。

【０２０１】

また、前構成部材１０００は、内レール１００２の上端に回動可能に軸支され、外レール１００１との間を閉鎖するように内レール１００２の上端から上方へ延出した閉鎖位置と正面視時計回りの方向へ回動して外レール１００１との間を開放した開放位置との間でのみ回動可能とされると共に閉鎖位置側へ復帰するように図示しないバネによって付勢された逆流防止部材１００７を、備えている。

【０２０２】

[３－２．遊技パネル]

遊技パネル１１００は、外周が枠状の前構成部材１０００の内周よりもやや大きく形成されていると共に透明な合成樹脂で形成されている平板状のパネル板１１１０と、パネル板１１１０の外周を保持しており前構成部材１０００の後側に取付けられると共に後面に裏ユニット３０００が取付けられる枠状のパネルホルダ１１２０と、を備えている。遊技パネル１１００のパネル板１１１０は、遊技領域５a内において最も低い位置となる部位に前後に貫通しているアウト口１１１１が形成されている。また、パネル板１１１０には、前後に貫通しており表ユニット２０００を取付けるための取付口（図示は省略）が複数形成されている。

【０２０３】

遊技パネル１１００を前構成部材１０００の後側に取付けた状態では、前構成部材１０００のアウト誘導部１００３の後側にパネル板１１１０のアウト口１１１１が開口した状態となる。これにより、遊技領域５aの下端へ流下した遊技球が、アウト誘導部１００３によって後側のアウト口１１１１へ誘導され、アウト口１１１１を通過して遊技パネル１１００の後側へ排出することができる。

【０２０４】

[３－３．基板ホルダ]

基板ホルダ１２００は、上方及び前方が開放された横長の箱状に形成されており、底面が左右方向中央へ向かって低くなるように傾斜している。この基板ホルダ１２００は、遊技盤５に組立てた状態では、遊技パネル１１００の後側に取付けられている裏ユニット３０００の下部を下側から覆うことができる。これにより、遊技パネル１１００の後側へ排出された遊技球を全て受けることができ、底面に形成された排出部（図示は省略）から下

方へ排出することができる。

【0205】

[3-4. 中央液晶表示装置]

中央液晶表示装置1500は、正面視において遊技領域5aの中央に配置されており、遊技パネル1100の後側に裏ユニット3000の裏箱3010を介して取付けられている。詳述すると、中央液晶表示装置1500は、裏箱3010の後壁の略中央の後面に対して、着脱可能に取付けられている。この中央液晶表示装置1500は、遊技盤5を組立てた状態で、枠状のセンター役物2500の枠内を通して、前側（遊技者側）から視認することができる。

【0206】

[3-5. 周辺制御ユニット]

周辺制御ユニット1600は、中央液晶表示装置1500の後面に取付けられている。周辺制御ユニット1600は、図示は省略するが、主制御基板からの制御信号に基いて遊技者に提示する演出を制御する周辺制御基板と、中央液晶表示装置1500に表示される演出画像の表示を制御する画像表示制御基板と、演出画像、演出サウンド、演出制御プログラム、等が記憶されたROMを備えているROM基板と、を備えている。

【0207】

[3-6. 表ユニット]

表ユニット2000は、遊技パネル1100（パネル板1110）の前面から前方（遊技領域5a内）へ突出するようにパネル板1110に取付けられており、遊技領域5a内において遊技球を受入可能とされている一般入賞口2001、第一始動口2002、第二始動口2003、及び大入賞口2004と、遊技球の通過を検知するゲートセンサ2005と、ゲートセンサ2005での遊技球の検知に応じて開閉し第二始動口2003を閉鎖している第二始動口扉2006と、第一始動口2002及び第二始動口2003への遊技球の受入れに応じて開閉し大入賞口2004を閉鎖している大入賞口扉2007と、を備えている。一般入賞口2001及び第一始動口2002は、閉鎖されることなく遊技領域5a内で常時開口している。

【0208】

また、表ユニット2000は、遊技パネル1100の前面においてアウト口1111の直上に取付けられ三つの一般入賞口2001と第一始動口2002とを備えている始動口ユニット2100と、遊技パネル1100の前面において始動口ユニット2100の左やや上側に取付けられており一つの一般入賞口2001を備えているサイドユニット2200と、遊技パネル1100の前面において始動口ユニット2100の右側に取付けられており第二始動口2003及び大入賞口2004を備えているアタッカユニット2300と、遊技パネル1100の前面において始動口ユニット2100、サイドユニット2200、及びアタッカユニット2300の上側に取付けられておりゲートセンサ2005を備えている枠状のセンター役物2500と、を備えている。

【0209】

[3-6a. 始動口ユニット]

始動口ユニット2100には、遊技領域5aの左右方向中央となりアウト口1111の直上となる位置に第一始動口2002が上方へ開口するように備えられている。また、始動口ユニット2100には、第一始動口2002の左側に一つの一般入賞口2001が、第一始動口2002の右側に二つの一般入賞口2001が、夫々上方へ開口するように備えられている。三つの一般入賞口2001は、第一始動口2002よりも低い位置に備えられている。これら一般入賞口2001及び第一始動口2002に受入れられた遊技球は、遊技パネル1100の後側へ誘導されて下方へ排出される。

【0210】

[3-6b. サイドユニット]

サイドユニット2200には、斜め左上へ開口するように一般入賞口2001が備えられている。また、サイドユニット2200は、一般入賞口2001の左上に遊技パネル1

10

20

30

40

50

100の前面から前方へ突出していると共に右端側が低くなるように傾斜しており遊技球が転動可能な転動棚2201を備えている。サイドユニット2200を遊技盤5に取付けた状態では、前構成部材1000の内レール1002の内周に沿うように位置しており、一般入賞口2001が第一始動口2002よりも高い位置となると共に、転動棚2201の左端が内レール1002に近接した状態となる。これにより、内レール1002の内周に沿うように流下してきた遊技球を、転動棚2201によって遊技領域5aの中央側へ寄せることができる。サイドユニット2200の一般入賞口2001に受入れられた遊技球は、遊技パネル1100の後側へ誘導されて下方へ排出される。

【0211】

[3-6c. アタッカユニット]

10

アタッカユニット2300は、遊技球の外径の4～6倍の長さで左右に延びており前方へ開口している大入賞口2004と、大入賞口2004の右端付近の上側で上方に開口している第二始動口2003と、大入賞口2004の下辺に沿って回動可能とされており大入賞口2004を閉鎖可能な左右に延びた平板状の大入賞口扉2007と、前後に進退し第二始動口2003を閉鎖可能な平板状の第二始動口扉2006と、を備えている。

【0212】

アタッカユニット2300は、遊技パネル1100の前面よりも前方（遊技領域5a内）へ突出しており、第二始動口2003に受入れられた（通過した）遊技球を、大入賞口2004の上方において、大入賞口2004の右端付近から大入賞口2004の左右中央よりも左側まで誘導する第二始動口通路2310と、第二始動口2003の上方で遊技パ
20
ネル1100の前面よりも前方へ突出しており遊技球が一つのみ追加可能とされた通路入口2311と、通路入口2311の右端側と第二始動口2003の右端側とを繋ぐ平板状の連結壁2312と、を備えている（図51を参照）。

【0213】

アタッカユニット2300は、第二始動口扉2006が第二始動口2003を閉鎖している状態では、通路入口2311を通過した遊技球が、第二始動口扉2006の上面に流下する。この第二始動口扉2006は、左側が低くなるように傾斜している。これにより、第二始動口扉2006上に流下した遊技球は、第二始動口扉2006上を左方へ転動することとなり、第二始動口扉2006の左端から第二始動口通路2310の外周上面に沿って更に左方へ転動し、第二始動口通路2310の外周上面左端から下方へ放出されるこ
30
ととなる。

【0214】

一方、第二始動口扉2006が後退して第二始動口2003が開放されている時には、通路入口2311を通過した遊技球が、第二始動口2003を通過して第二始動口通路2310内へ進入し、第二始動口2003に遊技球が受入れられた状態となる。そして、第二始動口通路2310に進入した遊技球は、第二始動口通路2310によって左側へ誘導させ、第二始動口通路2310の左端部付近から遊技パネル1100の後側へ誘導されて下方へ排出される。

【0215】

また、大入賞口扉2007が大入賞口2004を閉鎖している状態では、大入賞口扉2007が遊技パネル1100の前面に平行でその前面から僅かに突出しているだけの状態であるため、上方から大入賞口2004へ流下してきた遊技球は、大入賞口2004に受入れられることなく大入賞口扉2007の前側を通過して大入賞口2004よりも下方へ流下することとなる。
40

【0216】

一方、大入賞口扉2007の上端が前方へ移動するように大入賞口扉2007が回動して大入賞口2004が開放されている時には、大入賞口2004へ流下してきた遊技球が、大入賞口扉2007に当接し、大入賞口扉2007によって後方の大入賞口2004へ誘導されて大入賞口2004に受入れられることとなる。従って、第二始動口通路2310の外周上面左端から下方へ放出された遊技球は、大入賞口2004が開放されている時
50

には極めて高い確率で大入賞口2004に受入れられる。

【0217】

[3-6d. センター役物]

センター役物2500は、全体が枠状に形成されており、略全周に亘って遊技パネル1100の前面よりも前方（遊技領域5a内）へ突出している前方突出部2501と、前方突出部2501の外周面の正面視左側に開口しており遊技球が進入可能なワープ入口2502と、ワープ入口2502に進入した遊技球をワープ入口2502よりも下側で枠内へ誘導するワープ通路2503と、ワープ通路2503の下端に開口しており遊技球が通過可能なワープ出口2504と、ワープ出口2504から放出された遊技球が転動可能とされており左右に延びていると共に左右方向中央が低くなるように湾曲しているステージ2505と、センター役物2500は、ステージ2505の左右方向中央の後側で前方へ向かって開口しており遊技球が進入可能なチャンス入口2506と、チャンス入口2506に進入した遊技球が放出可能とされておりステージ2505よりも下側で前方へ向かって開口しているチャンス出口2507と、を備えている（図50を参照）。

10

【0218】

センター役物2500は、前方突出部2501の外周面における上部の左右方向中央より右側の部位が、遊技領域5aの外周（外レール1001）との間に遊技球が一つのみ流通可能な間隔を開けて遊技パネル1100に取付けられる。これにより、センター役物2500を遊技盤5に組立てた状態では、センター役物2500によって遊技領域5aが左右に分割された状態となる。

20

【0219】

センター役物2500のステージ2505は、チャンス入口2506の前側となる左右方向中央の部位の左右両側に、前方へ向かって低くなるように傾斜しており遊技球を前方へ放出可能な放出部2505aを備えている。

【0220】

センター役物2500を遊技盤5に組立てた状態では、ステージ2505が、遊技パネル1100の前面よりも後側に位置していると共に、チャンス出口2507が、遊技パネル1100の前面と前後方向が略同じ位置に開口している。また、センター役物2500を遊技盤5に組立てた状態では、チャンス出口2507が、始動口ユニット2100の第一始動口2002の直上に位置している。これにより、チャンス出口2507から遊技球が放出されると、極めて高い確率で第一始動口2002に受入れられる。

30

【0221】

また、センター役物2500は、前方突出部2501内において正面視右辺に沿って上下に延びており上端側から遊技球が流通可能な誘導通路2510と、誘導通路2510の下端と連通していると共に遊技球が流通可能な所定広さとされており下端が下方へ開放されている拡張空間2520と、誘導通路2510内の上端付近に配置されており誘導通路2510内を流通している遊技媒体を検知可能な進入検知センサ2530と、を備えている。センター役物2500は、拡張空間2520内にゲートセンサ2005が備えられている（図50及び図51を参照）。

【0222】

40

センター役物2500の誘導通路2510は、図51等に示すように、上端が前方突出部2501の外周上面に開口しており左右に蛇行している第一通路部2511と、第一通路部2511の下端と上端側が連通していると共に下端側が拡張空間2520の上端と連通しており上下に延びている第二通路部2512と、第一通路部2511及び第二通路部2512の前端及び後端を形成しており遊技球を一つのみ流通可能な間隔S1で前後に離間している平板状の一对の壁体2513と、一对の壁体2513同士を繋いでおり遊技球が流通可能な第一通路部2511及び第二通路部2512を形成している板状の通路壁2514と、一对の壁体2513の互いに対向している面から先端同士の前後の間隔S2が遊技球の外径よりも小さくなるように夫々突出しており遊技球の流通方向へ交互に列設されている複数の突部2515と、を備えている。

50

【0223】

また、誘導通路2510は、第一通路部2511の天井から下方へ突出している複数の突起部2516と、一对の壁体2513のうちの前側の壁体2513において第二通路部2512の途中で前後に貫通しており遊技球が通過可能な切欠部2517と、後側の壁体2513における切欠部と対向している部位において突部2515と同じ距離で前方へ突出している膨部2518と、を備えている。

【0224】

進入検知センサ2530は、第一通路部2511内の中央よりも上側に配置されている。センター役物2500を遊技盤5に組立てた状態では、第一通路部2511（誘導通路2510）の上端側が、遊技領域5aの外周の一部を形成している衝止部1006の直下に開口している。これにより、遊技領域5a内におけるセンター役物2500の左右方向中央よりも右側の上部に打込まれた遊技球は、全て誘導通路2510に進入する。

10

【0225】

第二通路部2512は、センター役物2500を遊技盤5に取付けた状態で、遊技領域5aの外周（前構成部材1000の右レール1005）に沿って上下に延びている。そして、第二通路部2512は、前構成部材1000の右レール1005と沿う部位（正面視右端側）が右方へ開放されている。また、第二通路部2512は、下部が左方へ屈曲した後下方へ開放されている。一对の壁体2513の間隔S1は、技球の外径に対して1.2～1.4倍とされている。また、一对の壁体2513の互いに対向している面から夫々突出している突部2515の先端同士の間隔S2は、遊技球の外径に対して0.7～0.9倍とされている。

20

【0226】

センター役物2500の拡張空間2520は、遊技球の外径の3.5～5倍の幅で左右に広がっており、誘導通路2510（第二通路部2512）の下端開口の直下で、遊技球の外径と同じ距離よりもやや離れた位置にゲートセンサ2005が備えられている。これにより、誘導通路2510を流通して遊技球が拡張空間2520に進入すると、極めて高い確率でゲートセンサ2005を通過する。

【0227】

また、拡張空間2520は、ゲートセンサ2005が備えられている部位よりも下側が左右に並んだ左通路2521、中通路2522、及び右通路2523の三つの通路に区画されている。これにより、誘導通路2510から拡張空間2520に進入した遊技球が、ゲートセンサ2005の左側を通過すると、左通路2521を通過して下方へ放出され、ゲートセンサ2005を通過すると、中通路2522を通過して下方へ放出され、ゲートセンサ2005の右側を通過すると、右通路2523を通過して下方へ放出される。センター役物2500を遊技盤5に組立てた状態では、拡張空間2520の中通路2522の下端が、アタッカユニット2300における通路入口2311の直上に位置している。これにより、拡張空間2520内に進入した遊技球がゲートセンサ2005を通過すると、極めて高い確率でアタッカユニット2300の通路入口2311に進入して第二始動口2003上へ送られる。

30

【0228】

センター役物2500の誘導通路2510は、一对の壁体2513の対向している面から夫々交互に突出している突部2515の先端同士の間隔を、遊技球の外径よりも小さくしているため、対向している突部2515の先端同士の間隔を遊技球が真直ぐに移動することができず、各突部2515を回り込むように遊技球が移動することとなり、一对の壁体2513が離間している前後方向へ遊技球をジグザグに流通させることができる。また、誘導通路2510の第一通路2511を左右に蛇行させているため、第一通路2511では、遊技球が前後にジグザグに移動しつつ左右に蛇行する流れとなる。

40

【0229】

また、第二通路部2512には、複数の突部2515に加えて、後側の壁体2513から前方へ突出している膨部2518と、前側の壁体2513における膨部2518の前側

50

に遊技球が通過可能な切欠部 2 5 1 7 と、を備えて、パチンコ機 1 に組立てた状態では、切欠部 2 5 1 7 のすぐ前にガラス板 5 6 4 が位置しているため、第二通路部 2 5 1 2 を流下してきた遊技球が、膨部 2 5 1 8 によって切欠部 2 5 1 7 内へ一部が進入してから再び第二通路部 2 5 1 2 内を流下する流れとなる。つまり、遊技球が切欠部 2 5 1 7 内に入ることで、遊技球の流れが一旦停止するような流れとなる。

【0 2 3 0】

上記のような理由により、本実施形態では、誘導通路 2 5 1 0 を流通する遊技球の流通距離が、誘導通路 2 5 1 0 の高に対して、1. 5 ～ 3 倍となるため、遊技球の流通時間を長くすることができると共に、流通速度を落下させた場合と比較して遅くすることができる。従って、誘導通路 2 5 1 0 を流通する遊技球を見易くすることができ、誘導通路 2 5 1 0 を流通する遊技球の動きを楽しませることができる。

10

【0 2 3 1】

センター役物 2 5 0 0 は、枠状の左辺側で前方突出部 2 5 0 1 の後側に備えられており、遊技状態に応じて可動する左演出ユニット 2 6 0 0 を備えている。この左演出ユニット 2 6 0 0 は、図 4 8 等に示すように、半円柱状に上下に延びており表面に装飾が形成されている左装飾体 2 6 1 0 と、左装飾体 2 6 1 0 の下端を前後に延びた軸周りに回動可能に取付けており前方突出部 2 5 0 1 の後側に取付けられている左ユニットベース 2 6 2 0 と、左ユニットベース 2 6 2 0 に取付けられており左装飾体を回動させる左演出駆動モータ（図示は省略）と、を備えている。

20

【0 2 3 2】

この左演出ユニット 2 6 0 0 は、図 4 7 に示すように、通常の状態では左装飾体 2 6 1 0 が垂直に直立した状態となっており、遊技状態に応じて左演出駆動モータを駆動させることで、左装飾体 2 6 1 0 が下端を中心に時計回りの方向へ回動し、上端側が枠内の中央側へ寄るように斜めに傾斜した状態となる（図 6 0 を参照）。

【0 2 3 3】

[3 - 7 . 裏ユニット]

裏ユニット 3 0 0 0 は、遊技パネル 1 1 0 0 の後側に取付けられ前方が開放された箱状の裏箱 3 0 1 0 と、裏箱 3 0 1 0 内の前端付近に取付けられている発光装飾ユニット（図示は省略）と、発光演出ユニットの後側で裏箱 3 0 1 0 内の左部に取付けられている落下演出ユニット 3 1 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内の上部に取付けられている上演出ユニット 3 2 0 0 と、落下演出ユニット 3 1 0 0 及び上演出ユニット 3 2 0 0 の後側で裏箱 3 0 1 0 内の上部及び下部に取付けられているシャッターユニット 3 3 0 0 と、裏箱 3 0 1 0 内の右部に取付けられている右演出ユニット 3 4 0 0 と、シャッターユニット 3 3 0 0 の前側で裏箱 3 0 1 0 内の下部に取付けられている下演出ユニット 3 5 0 0 と、を備えている。

30

【0 2 3 4】

裏箱 3 0 1 0 は、後壁に貫通した開口部を有しており、その開口部を閉鎖するように中央液晶表示装置 1 5 0 0 が後面に着脱可能に取付けられる。また、発光装飾ユニットは、遊技盤 5 に組立てた状態で、遊技領域 5 a 内におけるセンター役物 2 5 0 0 の外周の左右中央よりも左側の部位に位置するように全体が C 字状に形成されている。この発光装飾ユニットは、前方へ光を照射可能な複数の LED を備えており、遊技状態に応じて LED を適宜発光させることで、遊技領域 5 a 内を発光装飾させることができる。

40

【0 2 3 5】

[3 - 7 a . 落下演出ユニット]

落下演出ユニット 3 1 0 0 は、図 5 2 乃至図 5 4 に示すように、裏箱 3 0 1 0 内の左部に取付けられ上下に延びているユニットベース 3 1 0 1 と、ユニットベース 3 1 0 1 の前側に取付けられているベースカバー 3 1 0 2 と、ユニットベース 3 1 0 1 とベースカバー 3 1 0 2 との間に取付けられておりユニットベース 3 1 0 1 の上端から下端まで上下に延びた円柱状の第一シャフト 3 1 0 3 と、第一シャフト 3 1 0 3 の左側で第一シャフト 3 1 0 3 と平行にユニットベース 3 1 0 1 とベースカバー 3 1 0 2 との間に取付けられておりユニットベース 3 1 0 1 の上端から上下方向の中央付近まで上下に延びた円柱状の第二シ

50

シャフト 3104 と、第一シャフト 3103 及び第二シャフト 3104 によって上下にスライド可能に取付けられており右端がユニットベース 3101 及びベースカバーの 3102 右側外方へ延びだしているスライダ 3105 と、スライダ 3105 の右端側の前面に取付けられており爪を模し立体的に形成されている透光性を有した落下装飾体 3106 と、落下装飾体 3106 とスライダ 3105 との間に取付けられており前面に複数の LED が実装されている落下装飾基板 3107 と、を備えている。

【0236】

また、落下演出ユニット 3100 は、角柱状に上下に延びており左側面に上下に延びたラックギア 3108a を有しスライダ 3105 よりも下側で第一シャフト 3103 によって上下に昇降可能に取付けられているラック部材 3108 と、ラック部材 3108 のラックギア 3108a と歯合しており第二シャフト 3104 の下側でユニットベース 3101 とベースカバー 3102 とによって回転可能に取付けられている中間ギア 3109 と、斜め左下側から中間ギア 3109 と歯合している駆動ギア 3110 と、ベースカバー 3102 を貫通している回転軸に駆動ギア 3110 が固定されておりベースカバー 3102 の前面に取付けられている落下復帰モータ 3111 と、を備えている。

10

【0237】

更に、落下演出ユニット 3100 は、ベースカバー 3102 の前面の上端付近に取付けられており回転軸がベースカバー 3102 を貫通してユニットベース 3101 とベースカバー 3102 との間に延びだしている落下演出モータ 3112 と、落下演出モータ 3112 の回転軸に固定されており外周の一部がスライダ 3105 と接触可能な落下カム 3113 と、落下カム 3113 が後方へ移動するのを規制しておりベースカバー 3102 の後側に取付けられている抜止め部材 3114 と、を備えている。

20

【0238】

また、落下演出ユニット 3100 は、ベースカバー 3102 に取付けられておりスライダ 3105 のスライド位置を検知するスライダ検知センサ 3115 と、ベースカバー 3102 に取付けられておりラック部材 3108 の昇降位置を検知するラック検知センサ 3116 と、ベースカバー 3102 に取付けられており落下カム 3113 の回転位置を検知するカムセンサ 3117 と、ユニットベース 3101 の後面の上部に取付けられており落下装飾基板 3107、落下復帰モータ 3111、落下演出モータ 3112、スライダ検知センサ 3115、ラック検知センサ 3116、及びカムセンサ 3117 と周辺制御基板との接続を中継する落下演出ユニット中継基板 3118 と、落下演出ユニット中継基板 3118 の後側を覆いユニットベース 3101 の後面に取付けられる基板カバー 3119 と、を備えている。

30

【0239】

ユニットベース 3101 及びベースカバー 3102 は、第一シャフト 3103 と第二シャフト 3104 の上下両端を挟持している。ユニットベース 3101 とベースカバー 3102 は、その間に、スライダ 3105 とラック部材 3108 が移動可能な空間を形成している。ベースカバー 3102 は、後面側における第二シャフト 3104 の下端を取付けている部位の正面視左側に、上面が平坦で下側が複数のリブで補強されておりスライダ 3105 が上側から当接可能なストッパ部 3102a を備えている。また、ベースカバー 3102 は、落下演出モータ 3112 の回転軸を中心する円弧状に延びていると共に前方へ窪み後方が開放されており、落下カム 3113 の回動範囲を規制する回動規制溝 3102b を備えている。

40

【0240】

第一シャフト 3103 及び第二シャフト 3104 は、夫々金属によって形成されている。第二シャフト 3104 は第一シャフト 3103 の約半分の長さである。

【0241】

スライダ 3105 は、左右に延びているスライダ本体 3105a と、スライダ本体 3105a の左部で上下に貫通しており第一シャフト 3103 及び第二シャフト 3104 が摺動可能に挿入される一対の挿入孔 3105b と、スライダ本体 3105a の前面において

50

第一シャフト 3103 が挿入される挿入孔 3105b が形成されている部位から前方へ膨出している膨出部 3105c と、膨出部 3105c の左端から右側へ向かうに従って低くなるように傾斜しており下側から落下カム 3113 の外周と当接可能とされたカム当接面 3105d と、を備えている。スライダ 3105 のスライダ本体 3105a は、右端側が、遊技盤 5 を組立てた状態で、遊技領域 5a の左右の中央まで延出している。

【0242】

また、スライダ 3105 は、スライダ本体 3105a の前面における膨出部 3105c の上側から前方へ平板状に突出しておりスライダ検知センサ 3115 に検知される検知片 3105e と、スライダ本体 3105a の前面左下隅から前方へ突出しておりベースカバー 3102 のストッパ部 3102a と当接可能なストッパブロック 3105f と、を備えている。スライダ 3105 は、ストッパブロック 3105f がストッパ部 3102a と当接することにより、これ以上の下方へのスライド（落下）が規制される。

10

【0243】

落下装飾体 3106 は、スライダ本体 3105a の右端側前面に取付けられスライダ本体 3105a よりも上下へ延出している基部 3106a と、基部 3106a の下端から前方へ延出している前方延出部 3106b と、前方延出部 3106b の前端から前方延出部 3106b よりも上下に延びていると共に左右に列設されており爪を模した三つの爪部 3106c と、を備えている。

【0244】

ラック部材 3108 は、全体が上下に延びた角柱状に形成されており、左側面に備えられており上下に延びたラックギア 3108a と、上下に貫通しており第一シャフト 3103 が摺動可能に挿入される挿入孔 3108b と、前面の上端付近から前方へ平板状に突出しておりラック検知センサ 3116 に検知される検知片 3108c と、を備えている。

20

【0245】

中間ギア 3109 は、ラック部材 3108 のラックギア 3108a と噛合する第一ギア 3109a と、第一ギア 3109a の前側で第一ギア 3109a と一体回転し第一ギア 3109a よりも大径で駆動ギア 3110 と噛合する第二ギア 3109b と、を備えている。

【0246】

落下カム 3113 は、全体が平板状で、外周形状が曲率の異なる複数の円弧で略半円形状に形成されており、弦として延びている部位の一方の端部付近に落下演出モータ 3112 の回転軸が固定される軸部 3113a が形成されている。また、落下カム 3113 は、前面から前方へ平板状に突出しておりカム検知センサ 3117 に検知される検知片 3113b を備えている。

30

【0247】

落下カム 3113 は、落下演出ユニット 3100 を組立てた状態で、軸部 3113a の中心が、正面視でスライダ 3105 の膨出部 3105c よりも左側に位置している。そして、落下カム 3113 は、外周面において、軸部 3113a から最も接近した部位の軸部 3113a の中心からの距離が、軸部 3113a の中心から膨出部 3105c（カム当接面 3105d）の左端までの左右（左右の水平方向）の距離よりも短く、軸部 3113a から最も離れた部位の軸部 3113a の中心から距離が、軸部 3113a の中心からカム当接面 3105d の右端の左寄りまでの左右の距離とされている。これにより、落下カム 3113 は、外周面における略半円形状の部位がスライダ 3105 のカム当接面 3105d と当接可能とされている。

40

【0248】

また、落下カム 3113 は、落下演出ユニット 3100 を組立てた状態で、検知片 3113b が、ベースカバー 3102 の回動規制溝 3102b 内に挿入された状態となる。これにより、落下カム 3113 の回動により検知片 3113b が、円弧状に延びた回動規制溝 3102b の周方向端部に当接することで、落下カム 3113 の回動範囲が規制される。

【0249】

50

本実施形態の落下演出ユニット３１００は、通常の状態では、スライダ３１０５（スライダ本体３１０５ａ）の右端側に取付けられている落下装飾体３１０６が、正面視で中央液晶表示装置１５００の略上側に位置し、落下装飾体３１０６の基部３１０６ａと爪部３１０６ｃとの間に上演出ユニット３２００の上装飾体が挿入された状態となっている。従って、前側（遊技者側）からは、落下装飾体３１０６の三つの爪部３１０６ｃのみが視認できる状態となっている（図４７等を参照）。

【０２５０】

この通常の状態では、図５５（ａ）に示すように、スライダ３１０５が第一シャフト３１０３及び第二シャフト３１０４の上端付近に位置していると共に、カム当接面３１０５ｄに落下カム３１１３の外周面が当接している。また、ラック部材３１０８が最も下降した状態となっている。また、通常の状態では、スライダ３１０５の検知片３１０５ｅ、ラック部材３１０８の検知片３１０８ｃ、及び落下カム３１１３の検知片３１１３ｂが、スライダ検知センサ３１１５、ラック検知センサ３１１６、及びカム検知センサ３１１７に、夫々検知された状態となっている。

10

【０２５１】

更に詳述すると、通常の状態では、落下カム３１１３は、検知片３１１３ｂが、軸部３１１３ａの直上に位置していると共に、外周面における弦として延びている部位が斜め右上に延びるような状態となっており、外周面のうち、軸部３１１３ａの中心から最も離れた部位が、スライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと当接している。このスライダ３１０５は、自重によって、カム当接面３１０５ｄが落下カム３１１３の外周面に対して上側から当接している。スライダ３１０５は、この落下カム３１１３の外周面との当接によって、下方への移動が規制されている。

20

【０２５２】

この通常の状態から、落下演出モータ３１１２を駆動して落下カム３１１３を正面視時計回りに回動させると、落下カム３１１３の外周面においてスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと当接している部位が移動することとなる。そして、落下カム３１１３が時計回りに回動するのに従って、落下カム３１１３の回動中心（軸部３１１３ａの中心）からカム当接面３１０５ｄと当接している部位までの距離が短くなり、その部位の高さが低くなることから、落下カム３１１３の外周面に当接しているカム当接面３１０５ｄを介してスライダ３１０５が下方へスライドすることとなる（図５５（ｂ）を参照）。

30

【０２５３】

そして、落下カム３１１３を更に時計回りに回動させると、落下カム３１１３の検知片３１１３ｂが、ベースカバー３１０２の回動規制溝３１０２ｂの右側の端部に当接し、これ以上時計回りの方向へ落下カム３１１３が回動するのが規制される。なお、この状態でも、落下カム３１１３の外周面にスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄが当接しているため、スライダ３１０５がこれ以上下方へスライド（落下）することはない。

【０２５４】

この落下演出ユニット３１００では、遊技状態に応じて、落下カム３１１３を、通常の状態の位置（図５５（ａ）の位置）と、正面視時計回りに回動させた位置（図５５（ｂ）の位置）との間で、往復回動させることで、スライダ３１０５を介して落下装飾体３１０

40

【０２５５】

一方、通常の状態から、落下演出モータ３１１２を駆動して落下カム３１１３を正面視反時計回りに回動させると、落下カム３１１３の外周面において、スライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと当接している部位が、カム当接面３１０５ｄの左端側へ移動することとなる。そして、落下カム３１１３の外周面がカム当接面３１０５ｄの左端よりも左側へ移動すると、スライダ３１０５の下方へのスライドの規制が解除され、スライダ３１０５が落下装飾体３１０６と共にそれらの自重によって落下することとなる（図５６（ｃ）を参照）。

【０２５６】

50

通常の状態から、第一シャフト3103及び第二シャフト3104に沿って落下したスライダ3105及び落下装飾体3106は、スライダ3105のストッパブロック3105fがベースカバー3102のストッパ部3102aに当接することで、これ以上の落下が阻止され、落下が停止する(図56(c)を参照)。

【0257】

この落下装飾体3106を、落下させた状態では、落下装飾体3106が中央液晶表示装置1500の前面上部の位置から、中央液晶表示装置1500の前面中央に位置した状態となり、落下装飾体3106の全体が遊技者側から視認可能となる(図57を参照)。

【0258】

落下装飾体3106(スライダ3105)を落下させた状態から、通常の状態に復帰させる場合は、落下復帰モータ3111を駆動させてラック部材3108を上昇させる。このラック部材3108は、スライダ3105の下側で第一シャフト3103に対して昇降可能に取付けられていることから、ラック部材3108が上昇すると、その上面がスライダ3105の下面と当接することとなる。そして、上面がスライダ3105の下面に当接した状態で、更に落下復帰モータ3111の駆動によりラック部材3108を上昇させると、ラック部材3108と共にスライダ3105(落下装飾体3106)が上昇する(図56(d)を参照)。

【0259】

その後、ラック部材3108と共に上昇するスライダ3105の検知片3105eが、スライダ検知センサ3115に検知されると、落下復帰モータ3111の駆動が停止してラック部材3108(スライダ3105)の上昇が停止すると共に、落下演出モータ3112の駆動により落下カム3113が正面視時計回りに回転し、落下カム3113の検知片3113bがカム検知センサ3117に検知されると、落下演出モータ3112の駆動が停止して落下カム3113が通常の状態の位置で停止する。

【0260】

そして、落下復帰モータ3111を逆方向に駆動させてラック部材3108を下降させる。このラック部材3108が下降することで、ラック部材3108と共にスライダ3105(落下装飾体3106)が下降し、スライダ3105のカム当接面3105dが落下カム3113の外周面に当接してスライダ3105の下降が停止する。その後は、ラック部材3108のみが下降し、通常の状態の位置までラック部材3108が下降すると落下演出モータ3111の駆動が停止する。これにより、通常の状態に復帰する。

【0261】

なお、スライダ3105のストッパブロック3105fの下面、及び、ベースカバー3102のストッパ部3102aの上面、の少なくとも一方に、高分子弾性体からなる衝撃吸収部材を、備えるようにすることが望ましい。これにより、スライダ3105(落下装飾体3106)を落下させた時の衝撃を緩和させることができ、落下演出ユニット3100を破損し難くすることができる。

【0262】

本実施形態の落下演出ユニット3100は、遊技状態に応じて、通常の状態から、落下カム3113を正面視時計回りの方向へ往復回転させることで、落下装飾体3106を上下に揺動させることができる。これにより、落下装飾体3106が落下する前振りとして落下装飾体3106が揺れることで、遊技者に対して落下装飾体3106の落下への期待感を高めさせることができる。そして、落下カム3113を正面視反時計回りに回転させて、落下装飾体3106を自由落下させることで、従来の昇降する装飾体の下降演出よりも強いインパクトを遊技者に与えることができ、遊技者を驚かせて興味が低下するのを抑制することができる。

【0263】

また、落下装飾体3106を落下させる前に、落下カム3113の往復回転によって落下装飾体3106を上下に揺動させることができるため、落下装飾体3106をいきなり落下させた場合と比較して、落下装飾体3106が落下する前に遊技者の関心を落下装飾

10

20

30

40

50

体 3 1 0 6 に引付けて注目させることが可能となり、落下装飾体 3 1 0 6 が落下を開始する様子を確実に見せることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0264】

[3-7b. 上演出ユニット]

上演出ユニット 3 2 0 0 は、正面視センター役物 2 5 0 0 の枠内で中央液晶表示装置 1 5 0 0 の上側に配置されており立体的な装飾が施されている左右に延びた上装飾体 3 2 1 0 と、上装飾体 3 2 1 0 の右端側を前後に延びた軸周りに回動可能に取付けていると共に上装飾体 3 2 1 0 を回動させる上演出駆動ユニット（図示は省略）と、を備えている。上装飾体 3 2 1 0 は、内部に複数の LED を備えており、各 LED を適宜発光させることで発光装飾させることができる。

10

【0265】

上演出ユニット 3 2 0 0 の上装飾体 3 2 1 0 は、左右の長さが、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の左右の長さと同様である。また、上装飾体 3 2 1 0 は、通常の状態では、上昇している落下装飾体 3 1 0 6 の基部 3 1 0 6 a と爪部 3 1 0 6 c との間に位置している。従って、落下装飾体 3 1 0 6 が通常の状態（落下していない状態）では、落下装飾体 3 1 0 6 によって下方への回動が阻止されている（図 4 7 等を参照）。

【0266】

この上演出ユニット 3 2 0 0 は、落下装飾体 3 1 0 6 を落下させた状態で、上演出駆動ユニットにより右端側を中心に反時計回りに回動させることで、左端側が中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面側へ移動し、全体が、左側が低く斜めになった状態となる（図 5 8 を参照）。上演出ユニット 3 2 0 0 は、落下装飾体 3 1 0 6 の落下と合せて回動させることで、落下装飾体 3 1 0 6 の爪によって引き裂かれて落ちてきたような可動演出を遊技者に見せることができる。

20

【0267】

[3-7c. シャッター演出ユニット]

シャッター演出ユニット 3 3 0 0 は、正面視で中央液晶表示装置 1 5 0 0 の上側に配置され下方へ移動可能な平板状の上シャッター 3 3 1 0 と、正面視で中央液晶表示装置 1 5 0 0 の下側に配置され上方へ移動可能な平板状の下シャッター 3 3 2 0 と、を備えている。上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 は、左右の長さが、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の左右の長さよりも、若干短く形成されている。上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 は、前面に一部が透光性を有する装飾が施されている。また、上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 は、複数の LED を備えており、各 LED を適宜発光させることで発光装飾させることができる。

30

【0268】

このシャッター演出ユニット 3 3 0 0 は、通常の状態では、上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 が、正面（遊技者側）から視認することができない状態となっている（図 4 7 等を参照）。このシャッター演出ユニット 3 3 0 0 は、遊技状態に応じて、上シャッター 3 3 1 0 を下方へ移動させると共に、下シャッター 3 3 2 0 を上方へ移動させると、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の略中央で、上シャッター 3 3 1 0 の下端と下シャッター 3 3 2 0 の上端とが当接し、上シャッター 3 3 1 0 と下シャッター 3 3 2 0 とで、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面が閉じられた状態となる（図 5 9 を参照）。

40

【0269】

上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 は、互いに当接させた（閉じた）状態では、夫々の装飾が、連続した一つの装飾となるように形成されている。また、閉じた状態では、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面を覆って、表示されている演出画像を遊技者側から見えなくすることができる。これにより、上シャッター 3 3 1 0 及び下シャッター 3 3 2 0 によって、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面を閉じることで、センター役物 2 5 0 0 の枠内（遊技領域 5 a 内）の装飾（雰囲気）を大きく変化させることができ、遊技者を驚かせることができる。

50

【0270】

[3-7d. 右演出ユニット]

右演出ユニット3400は、正面視センター役物2500の枠内で中央液晶表示装置1500の右側に配置されておりパチンコ機1のコンセプトに沿った所定のキャラクタの頭部を立体的に模した右装飾体3410と、遊技状態に応じて右装飾体3410を左右へ移動させると共に左右に延びている軸周りに揺動させ、裏箱3010の正面視右部に取付けられる右演出駆動ユニット（図示は省略）と、を備えている。右装飾体3410は、複数のLEDを備えており、各LEDを適宜発光させることで、発光装飾することができる。

【0271】

右演出ユニット3400は、通常の状態では、右装飾体3410が、中央液晶表示装置1500の正面視右側に位置している（図47等を参照）。この右演出ユニット3400は、遊技状態に応じて、右装飾体3410が通常の状態から左方へ移動して中央液晶表示装置1500の前面側へ移動すると共に、上下に揺動することができる（図60を参照）。これにより、右装飾体3410が中央液晶表示装置1500の前側へ移動することで、右装飾体3410に遊技者の関心を引き付けることができる上に、右装飾体3410が首を振るように上下に揺動することで右装飾体3410の動きを楽しませることができる。

【0272】

[3-7e. 下演出ユニット]

下演出ユニット3500は、図47等に示すように、正面視で中央液晶表示装置1500の下辺に沿って左右に延びている円柱状の下装飾体3510と、下装飾体3510の両端を回転可能に取付けていると共に遊技状態に応じて下装飾体3510を回転駆動させ、裏箱3010内の下部に取付けられる下演出駆動ユニット（図示は省略）と、を備えている。

【0273】

下演出ユニット3500は、通常の状態では、回転が停止しており、遊技状態に応じて下装飾体3510が左右に延びた軸周りに回転すると共に、周方向の特定の部位を前方（遊技者側）へ向けて停止する。これにより、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。

【0274】

[4. 遊技内容]

次に、本実施形態のパチンコ機1による遊技内容について説明する。本実施形態のパチンコ機1は、扉枠3の前面右下隅に配置されたハンドルユニット500のハンドルレバー504を遊技者が回転操作することで、皿ユニット200の上皿201に貯留された遊技球が、遊技盤5における外レール1001と内レール1002との間を通過して遊技領域5a内の上部へと打ち込まれて、遊技球による遊技が開始される。遊技領域5a内の上部へ打ち込まれた遊技球は、その打込強さによって遊技領域5a内を左右に分割しているセンター役物2500の上側の左側、或いは、右側の何れかを流下する。なお、遊技球の打込み強さは、ハンドルレバー504の回転量によって調整することができ、時計回りの方向へ回転させるほど強く打込むことができる。

【0275】

また、遊技領域5a内には、適宜位置に所定のゲージ配列で複数の障害釘（図示は省略）が遊技パネル1100の前面に植設されており、遊技球が障害釘に当接することで、遊技球の流下速度が抑制されると共に、遊技球に様々な動きが付与されて、その動きを楽しませられるようになっている。また、遊技領域5a内には、障害釘の他に、遊技球の当接により回転する風車（図示は省略）が適宜位置に備えられている。

【0276】

センター役物2500の上部へ打込まれた遊技球が、センター役物2500の前方突出部2501の外周面のうち、最も高くなった部位よりも正面視左側へ進入すると、図示しない複数の障害釘に遊技球が当接しながら、センター役物2500の左側を流下することとなる。そして、センター役物2500の左側を流下する遊技球が、センター役物250

0の前方突出部2501の外周面に開口しているワープ入口2502に進入すると、ワープ通路2503を通過してセンター役物2500の枠内に開口しているワープ出口2504からステージ2505の左端に供給される。

【0277】

センター役物2500のステージ2505に供給された遊技球は、ステージ2505上を左右へ転動して行ったり来たりして、左右方向中央の両側に形成されている放出部2505aから前方へ放出され、遊技領域5a内におけるステージ2505の下側で始動口ユニット2100の上側の領域を流下することとなる。これにより、始動口ユニット2100の一般入賞口2001や第一始動口2002等に遊技球が受入れられる可能性がある。

【0278】

ステージ2505を転動している遊技球が、ステージ2505における左右方向中央の後側に開口しているチャンス入口2506に進入すると、第一始動口2002の直上に開口しているチャンス出口2507から遊技領域5a内に放出され、高い確率で第一始動口2002に受入れられる。この第一始動口2002に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置830から所定数（例えば、3個）の遊技球が、上皿201に払出される。

【0279】

なお、ステージ2506から遊技領域5a内に放出された遊技球が、第一始動口2002に受入れられずに、第一始動口2002の左右何れかへ流下した場合、左右の下流に配置されている一般入賞口2001に受入れられる可能性がある。そして、一般入賞口2001に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置830から所定数（例えば、10個）の遊技球が、上皿201に払出される。

【0280】

ところで、センター役物2500の左側へ流下した遊技球が、ワープ入口2502に進入しなかった場合、複数の障害釘やサイドユニット2200の転動棚2201等によって、センター役物2500の下側で遊技領域5a内の左右方向中央へ向かうように誘導され、下流側に配置されている一般入賞口2001や第一始動口2002等に受入れられる可能性がある。

【0281】

一方、遊技領域5a内においてセンター役物2500の上部に打込まれた遊技球が、センター役物2500の前方突出部2501の外周面の最も高くなった部位よりも右側に進入する（打込まれる）と、誘導通路2510へ進入し、誘導通路2510の第一通路部2511及び第二通路部2512を通過して拡張空間2520に放出される。この拡張空間2520では、誘導通路2510の下端の直下にゲートセンサ2005が配置されているため、拡張空間2520に放出された遊技球は、極めて高い確率でゲートセンサ2005を通過することとなる。ゲートセンサ2005を通過した遊技球は、中通路2522を通過して拡張空間2520から下方の遊技領域5a内に放出される。

【0282】

誘導通路2510から拡張空間2520に進入した遊技球が、ゲートセンサ2005を通過しなかった場合、ゲートセンサ2005の左右の左通路2521又は右通路2523の何れかを通過して拡張空間2520から下方の遊技領域5a内に放出される。

【0283】

ゲートセンサ2005を通過し中通路2522を通過して拡張空間2520から下方に放出された遊技球は、中通路2522の下端の直下に配置されているアタッカユニット2300の通路入口2311に、極めて高い確率で進入する。そして、通路入口2311に進入した遊技球は、第二始動口扉2006上に流下し、第二始動口扉2006の上面に沿って左方へ転動することとなり、第二始動口扉2006の左端から、更に第二始動口通路2310の外周上面を左方へ転動し、第二始動口通路2310の外周上面左端から下方へ放出される。この第二始動口通路2310の外周上面左端から放出された遊技球は、大入賞口2004を閉鎖している大入賞口扉2007の前側を通る。従って、大入賞口扉200

10

20

30

40

50

7が開状態の時には、大入賞口2004に受入れられることとなる。

【0284】

本実施形態では、遊技球がゲートセンサ2005を通過すると、主制御基板において普通抽選が行われ、抽選された普通抽選結果が「普通当り」の場合、第二始動口扉2006が所定時間（例えば、0.3～3秒）の間、後退して第二始動口2003を開状態とする。従って、第二始動口扉2006が後退して開状態となっているタイミングで、遊技球が通路入口2311を通過して第二始動口扉2006（第二始動口2003）の位置に到達すると、遊技球が第二始動口2003に受入れられる（第二始動口通路2310内に進入する）。

【0285】

本例では、普通抽選において、「普通当り」が抽選される確率が高く設定されている。従って、遊技球がゲートセンサ2005を通過すると、比較的高い確率で、第二始動口2003に受入れられる。第二始動口2003に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置830から所定数（例えば、1個）の遊技球が、上皿201に払出される。

【0286】

これにより、本実施形態では、センター役物2500の右側を通るように遊技球の打込操作（所謂、右打ち）を行うと、極めて高い確率でゲートセンサ2005を通過すると共に、ゲートセンサ2005を遊技球が通過することで抽選される普通抽選結果が「普通当り」であれば、極めて高い確率で第二始動口2003に受入れられるので、初心者や遊技に不慣れな遊技者でも簡単に第二始動口2003に遊技球を受入れさせることができ、遊技者を楽しませることができる。

【0287】

ところで、本実施形態では、上述したように、遊技者が右打ちをすることで、第二始動口2003に遊技球を簡単に受入れさせることができるため、第二始動口2003への受入れ（入賞）により払出される遊技球が多くなると、本パチンコ機1を設置する遊技ホール側の負担が大きくなり、本パチンコ機1の設置に躊躇してしまう虞がある。しかしながら、本パチンコ機1では、第二始動口2003への遊技球の受入れにより払出される遊技球の数を1個としているので、第二始動口2003への受入れによる後述する特別抽選結果の抽選により遊技者の興味を高めつつ遊技ホール側の負担を軽減させることができ、問題なく本パチンコ機1を設置させることができる。

【0288】

また、本実施形態では、ゲートセンサ2005を遊技球が通過することで行われる普通抽選において、普通抽選を開始してから普通抽選結果を示唆するまでにある程度の時間を設定している（例えば、0.1～3秒、普通変動時間とも称す）。この普通抽選結果の示唆は、遊技盤5の機能表示ユニット1400で表示される。

【0289】

遊技球がゲートセンサ2005を通過してから普通抽選結果が示唆されるまでの間に、遊技球がゲートセンサ2005を通過すると、普通抽選結果の示唆を開始することができないため、普通抽選結果の示唆の開始を、先の普通抽選結果の示唆が終了するまで保留するようにしている。また、普通抽選結果の保留数は、4つまでを上限とし、それ以上については、ゲートセンサ2005を遊技球が通過しても、保留せずに破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

【0290】

本実施形態のパチンコ機1は、第一始動口2002及び第二始動口2003に遊技球が受入れられると、主制御基板において、遊技者に有利な有利遊技状態（例えば、「大当り」、「中当り」、「小当り」、「確率変動当り」、「時間短縮当り」、等）を発生させる特別抽選結果の抽選が行われる。そして、抽選された特別抽選結果を、所定時間（例えば、5～360秒）かけて遊技者に示唆する。なお、第一始動口2002及び第二始動口2003に遊技球が受入れられることで抽選される特別抽選結果には、「ハズレ」、「小当

10

20

30

40

50

り」、「2 R大当り」、「15 R大当り」、「確変（確率変更）当り」、「時短（時間短縮）当り」、「確変時短当り」、「確変時短無し当り」、等がある。

【0291】

第一始動口2002及び第二始動口2003への遊技球の受入れにより抽選された特別抽選結果が、有利遊技状態を発生させる特別抽選結果の場合、アタッカユニット2300において大入賞口扉2007が、抽選された特別抽選結果に応じた開閉パターンで開閉動作し、大入賞口2004へ遊技球を受入れさせることができるようになる。この大入賞口2004が開状態の時に、大入賞口2004に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出基板によって払出装置830から所定数（例えば、10個、又は、13個）の遊技球が、上皿201に払出される。従って、大入賞口扉2007が所定パターンで開閉動作している時に、大入賞口2004に遊技球を受入れさせることで、多くの遊技球を払出させることができ、遊技者を楽しませることができる。

10

【0292】

本実施形態では、第一始動口2002及び第二始動口2003への遊技球の受入れにより特別抽選の開始から抽選された特別抽選結果が示唆されるまでの間に、第一始動口2002及び第二始動口2003に遊技球が受入れられると、特別抽選結果の示唆を開始することができないため、先に抽選された特別抽選結果の示唆が完了するまで、特別抽選結果の示唆の開始が保留される。この保留される特別抽選結果の保留数は、第一始動口2002及び第二始動口2003に対して、夫々4つまでを上限とし、それ以上については、第一始動口2002及び第二始動口2003に遊技球が受入れられても特別抽選結果を保留せずに、破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

20

【0293】

この特別抽選結果の示唆は、機能表示ユニット1400と中央液晶表示装置1500とで行われる。機能表示ユニット1400では、主制御基板によって直接制御されて特別抽選結果の示唆が行われる。機能表示ユニット1400での特別抽選結果の示唆は、複数のLEDを、点灯・消灯を繰返して所定時間点滅させ、その後、点灯しているLEDの組み合わせによって特別抽選結果を示唆する。

【0294】

一方、中央液晶表示装置1500では、主制御基板からの制御信号に基いて、周辺制御基板によって間接的に制御され演出画像として特別抽選結果の示唆が行われる。中央液晶表示装置1500での特別抽選結果を示唆する演出画像は、複数の図柄からなる図柄列を、左右方向へ三つ並べて表示した状態で、各図柄列を変動させ、変動表示されている図柄列を順次停止表示させ、停止表示される三つの図柄列の図柄が、特別抽選結果と対応した組み合わせとなるように夫々の図柄列が停止表示される。特別抽選結果が「ハズレ」以外の場合は、三つの図柄列が停止して各図柄が停止表示された後に、特別抽選結果を示唆する確定画像が中央液晶表示装置1500に表示されて、抽選された特別抽選結果に応じた有利遊技状態（例えば、小当り遊技、大当り遊技、等）が発生する。

30

【0295】

なお、機能表示ユニット1400での特別抽選結果を示唆する時間（LEDの点滅時間（変動時間））と、中央液晶表示装置1500での特別抽選結果を示唆する時間（図柄列が変動して確定画像が表示されるまでの時間）とは、異なっており、機能表示ユニット1400の方が短い時間に設定されている。

40

【0296】

また、周辺制御基板では、中央液晶表示装置1500による特別抽選結果を示唆するための演出画像の表示の他に、抽選された特別抽選結果に応じて、左演出ユニット2600の左装飾体2610、落下演出ユニット3100の落下装飾体3106、上演出ユニット3200の上装飾体3210、シャッター演出ユニット3300の上シャッター3310及び下シャッター3320、右演出ユニット3400の右装飾体3410、下演出ユニット3500の下装飾体3510、等を適宜用いて可動演出を行うようにしており、可動演

50

出によっても遊技者を楽しませることができ、遊技者の遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

【0297】

特別抽選結果が「小当たり」の場合、アタッカユニット2300の大入賞口扉2007が、所定短時間（例えば、0.2秒～0.6秒の間）の間、開状態となって閉鎖する開閉パターンを複数回（例えば、2回）繰り返す。一方、特別抽選結果が「大当たり」の場合、アタッカユニット2300の大入賞口扉2007が、開状態となった後に、所定時間（例えば、約30秒）経過、或いは、大入賞口2004への所定個数（例えば、10個）の遊技球の受入れ、の何れかの条件が充足すると、大入賞口扉2007を閉状態とする開閉パターン（一回の開閉パターンを1ラウンドと称す）を、所定回数（所定ラウンド数）繰り返す。例えば、「2R大当たり」であれば2ラウンド、「15R大当たり」であれば15ラウンド、夫々繰り返して、遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる。

10

【0298】

なお、「大当たり」では、大当たり遊技の終了後に、「大当たり」等の特別抽選結果が抽選される確率を変更（「確変当たり」）したり、特別抽選結果を示唆する演出画像の表示時間を変更（「時短当たり」）したりする「当たり」がある。

【0299】

このように、遊技者の操作によって遊技領域5a内の上部に打込まれた遊技球が、遊技領域5a内を流通（流下）して第一始動口2002又は第二始動口2003に受入れられると、特別抽選結果が抽選され、抽選された特別抽選結果に応じて、特別抽選結果を示唆する演出画像が中央液晶表示装置1500に表示される。この演出画像が表示されることで、演出画像によってアタッカユニット2300の大入賞口2004が受入可能となる特別抽選結果が示唆される可能性があるため、大入賞口2004が受入可能となるか否かで遊技者をハラハラ・ドキドキさせながら演出画像を楽しませることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。そして、演出画像によって大入賞口2004が受入可能となる特別抽選結果（大当たり）が示唆されると、特典が付与される大入賞口2004の大入賞口扉2007が所定パターンで開閉して遊技球の受入れが可能となるため、遊技者に大入賞口2004を狙った遊技球の打込みを行わせることができると共に、大入賞口2004への遊技球の受入れによる特典の付与によって、遊技者の興味が高めさせることができる。

20

30

【0300】

ところで、本実施形態のパチンコ機1では、第一始動口2002や第二始動口2003への遊技球の受入れにより抽選された特別抽選結果として、機能表示ユニット1400や中央液晶表示装置1500での特別抽選結果の示唆が終了しても、ゲートセンサ2005での遊技球の検知がなされない限り、有利遊技状態を発生させない「特別大当たり」がある。この「特別大当たり」が抽選されると、中央液晶表示装置1500に、その特別抽選結果を示唆するための特別の演出画像の表示が開始される。そして、センター役物2500において三つの図柄列が特別抽選結果として「大当たり（特別大当たり）」と対応する図柄の組合わせで停止表示されると、センター役物2500の進入検知センサ2530による遊技球の検知が有効となると共に、中央液晶表示装置1500に誘導通路2510への遊技球の打込を促す演出画像（例えば、誘導通路2510を指示するような矢印の画像）が表示される。

40

【0301】

この遊技者に対する誘導通路2510への遊技球の打込みの促しは、中央液晶表示装置1500による演出画像の表示の他に、誘導通路2510を後側から発光装飾させたり、音声や音楽等のサウンドを出力したりしても良い。

【0302】

中央液晶表示装置1500において、誘導通路2510への遊技球の打込み（右打ち）を促す演出画像が表示されることで、遊技者が右打ちを行って誘導通路2510に遊技球を進入させると、誘導通路2510の上部に配置されている進入検知センサ2530を通

50

過して、遊技球が検知される。この進入検知センサ 2530 において遊技球が検知されると、中央液晶表示装置 1500 に、遊技球がゲートセンサ 2005 を通過すると有利遊技状態が発生する旨を想起させる演出画像の表示が開始される。これにより、遊技者をゲートセンサ 2005 に注目させることができ、遊技球がゲートセンサ 2005 を通過するかどうかでハラハラ・ドキドキさせて有利遊技状態の発生に対する期待感を高めることができる。

【0303】

この際に、本実施形態では、ゲートセンサ 2005 の上流側に配置されている誘導通路 2510 は、左右に蛇行している第一通路部 2511 と、上下に延びている第二通路部 2512 と、第一通路部 2511 と第二通路部 2512 の前後の壁を形成している一对の壁体 2513 の互いに対向する面から突出し流通方向へ交互に列設されている複数の突部 2515 と、を備えている。これにより、誘導通路 2510 内では、初めの第一通路部 2511 で遊技球が左右に蛇行し、続く第二通路部 2512 で上下に流下することとなるため、遊技球が流通する位置に応じて、遊技球の動きに変化を付与することが可能となり、動きが変わる遊技球によって遊技者を飽き難くすることができ、遊技球の動きを楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。この誘導通路 2510 を遊技球が流通する際に、一对の壁体 2513 の対向している面から夫々交互に突出している突部 2515 の先端同士の間隔 S2 が、遊技球の外径よりも小さいため、遊技球が各突部 2515 を回り込むように移動することとなり、遊技球が誘導通路 2510 内で一对の壁体 2513 が離間している前後方向へジグザグに流通することとなる。そして、これら構成によって、誘導通路 2510 により遊技球を誘導する距離を、高さの 1.5 ～ 3 倍としていることにより、遊技球を誘導通路 2510 へ打込んでからゲートセンサ 2005 へ到達するまでの時間が高さと比較して長くなるため、誘導通路 2510 を流通している遊技球の動きを遊技者に確実に見せることができると共に、誘導通路 2510 内を流通している遊技球の動きを追えることで、遊技球が下流側のゲートセンサ 2005 を通過することに対する期待感を高めさせることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0304】

また、誘導通路 2510 において、ゲートセンサ 2005 に近い側を、上下に延びている第二通路部 2512 としており、ゲートセンサ 2005 側へ近づくに従って、遊技球の流通速度を徐々に速くすることができるため、遊技球の速度が速くなることでタイトな感じにさせて期待感を盛り上げることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0305】

更に、誘導通路 2510 において蛇行している第一通路部 2511 の天井に複数の突起部 2516 を備えており、折返し部分で落下した遊技球が、底面で天井側へ跳ねると、天井に備えられている突起部 2516 に当接することとなるため、天井を平坦な面とした場合と比較して、遊技球がスムーズに反射するのを阻止して遊技球を直下や上流側へ反射させることができ、遊技球の流通を遅らせることができる。従って、第一通路部 2511 を流通する遊技球の速度を低下させることができるため、遊技球の動きを見易くすることができ、上述した作用効果を確実に奏することができる。

【0306】

一方、中央液晶表示装置 1500 では、遊技球が誘導通路 2510 から、ゲートセンサ 2005 が配置されている拡張空間 2520 に進入（又は、ゲートセンサ 2005 を通過）するタイミングで、「大当たり」が確定したような特別画像が表示される。これにより、遊技者の興味が更に高めさせることができる。

【0307】

なお、誘導通路 2510 の第二通路部 2512 の途中に、遊技球の通過を検知する第二進入検知センサを備え、第二進入検知センサでの遊技球の通過の検知に基いて、上述した特別画像の表示タイミングを補正することが望ましい。これにより、誘導通路 2510 を

流通する遊技球が、誘導通路２５１０内を所定よりも速く流通してしまったり遅く流通してしまったりすることで、遊技球がゲートセンサ２００５を通過するタイミングと、特別画像が表示されるタイミングとがずれてしまつて遊技者に違和感（残念な気分）を与えてしまうのを抑制することができ、特別画像の表示タイミングと遊技球の通過タイミングとを一致させて遊技者を楽しませることができる。

【０３０８】

そして、誘導通路２５１０を流通した遊技球は、ゲートセンサ２００５が配置されている左右に大きく広がった拡張空間２５２０内へ進入するため、誘導通路２５１０から拡張空間２５２０へ進入した遊技球が、ゲートセンサ２００５を通過したり通過しなかったりすることとなる。これにより、誘導通路２５１０を流通した遊技球が、必ずしもゲートセンサ２００５を通過するとは限らないため、誘導通路２５１０を流通した遊技球がゲートセンサ２００５を通過するか否かによって遊技者をハラハラ・ドキドキさせることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。

10

【０３０９】

また、遊技球が誘導通路２５１０を流通しても下流側のゲートセンサ２００５を通過するとは限らないことから、遊技球を誘導通路２５１０へ進入させても安心することができないため、誘導通路２５１０に進入した遊技球が拡張空間２５２０に到達するまでの間、遊技球の動きに遊技者を注目させることができ、誘導通路２５１０を流通する遊技球の動きを確実に見せて遊技球の動きを楽しませることができる。

20

【０３１０】

そして、遊技球がゲートセンサ２００５を通過すると、演出画像による特別抽選結果の示唆の完了に関わらず、大入賞口扉２００７が所定パターンで開閉し、多くの特典が付与される機会が得られるため、ゲートセンサ２００５を狙った遊技球の打込みに続いて、大入賞口２００４を狙った遊技球の打込みを行わせることができ、遊技者を連続して楽しませることが可能となり、飽き難くして興味が低下するのを抑制することができる。

【０３１１】

[５．本実施形態と本発明の関係]

本実施形態の裏ユニット３０００の落下演出ユニット３１００におけるスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄは本発明の当接面に、本実施形態の落下装飾体３１０６は本発明の装飾体に、本実施形態のラック部材３１０８、中間ギア３１０９、駆動ギア３１１０、及び落下復帰モータ３１１１は本発明の復帰機構に、本実施形態の駆動ギア３１１０は本発明のピニオンギアに、本実施形態の落下復帰モータ３１１１は本発明の復帰モータに、本実施形態の落下演出モータ３１１２は本発明の落下モータに、本実施形態の落下カム３１１３は本発明の回転部材に、夫々相当している。

30

【０３１２】

[６．本実施形態の特徴的な作用効果]

このように、本実施形態のパチンコ機１によると、裏ユニット３０００の落下演出ユニット３１００における落下カム３１１３の外周面において、回転中心（軸部３１１３ａの中心）からスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄまでの水平方向の距離よりも長い部位を、カム当接面３１０５ｄの直下となるように落下カム３１１３を回転させた状態では、落下カム３１１３の外周面に対してスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄが上側から当接することができるため、落下カム３１１３の外周面によってスライダ３１０５の下方への移動が規制され、スライダ３１０５が落下することはない。この落下カム３１１３の外周面は、回転中心から長い部位と短い部位とを有していることから、落下カム３１１３の外周面は、回転中心に対して真円ではない。このことから、落下カム３１１３の外周面がスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと当接する範囲内で落下カム３１１３を落下演出モータ３１１２によって回転（回動）させると、落下カム３１１３の外周面においてスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと当接する部位の高さが相対的に変化することとなり、カム当接面３１０５ｄを介してスライダ３１０５が上下にスライドすることとなる。従って、落下カム３１１３の外周面がスライダ３１０５のカム当接面３１０５ｄと

40

50

当接する範囲内で、落下カム 3 1 1 3 を往復回動させると、カム当接面 3 1 0 5 d を介してスライダ 3 1 0 5（落下装飾体 3 1 0 6）を、所定高さ範囲内で上下に揺動させることができる。

【0 3 1 3】

一方、落下カム 3 1 1 3 の外周面において、回転中心（軸部 3 1 1 3 a の中心）からカム当接面 3 1 0 5 d までの水平方向の距離よりも短い部位を、カム当接面 3 1 0 5 d よりも水平方向外側となるように落下カム 3 1 1 3 を回転させた状態では、落下カム 3 1 1 3 の外周面に対してスライダ 3 1 0 5 のカム当接面 3 1 0 5 d が上側から当接することができないため、スライダ 3 1 0 5 が落下カム 3 1 1 3 よりも下方へ移動することができ、スライダ 3 1 0 5 が揺動する所定高さ範囲内よりも下方へスライダ 3 1 0 5（落下装飾体 3 1 0 6）を落下させることができる。

10

【0 3 1 4】

スライダ 3 1 0 5 を落下させた後には、落下復帰モータ 3 1 1 1 により駆動ギア 3 1 1 0 及び中間ギア 3 1 0 9 を回転させることで、中間ギア 3 1 0 9 と噛合するラックギア 3 1 0 8 a を有したラック部材 3 1 0 8 を昇降させることができるため、スライダ 3 1 0 5 が落下した状態でラック部材 3 1 0 8 を上昇させると、ラック部材 3 1 0 8 の上端がスライダ 3 1 0 5 の下端に当接し、ラック部材 3 1 0 8 と共にスライダ 3 1 0 5 を上昇させることができ、スライダ 3 1 0 5 のカム当接面 3 1 0 5 d が落下カム 3 1 1 3 の外周面よりも上側へ位置するまでスライダ 3 1 0 5 を上昇させる。そして、ラック部材 3 1 0 8 によりスライダ 3 1 0 5 を上昇させた状態のままで、落下カム 3 1 1 3 の外周面がカム当接面 3 1 0 5 d の直下へ位置するように、落下カム 3 1 1 3 を回動させる。その後、落下復帰モータ 3 1 1 1 を逆回転させてラック部材 3 1 0 8 によりスライダ 3 1 0 5 を下降させることで、落下カム 3 1 1 3 の外周面にカム当接面 3 1 0 5 a を当接させ、スライダ 3 1 0 5 が落下不能に支持されて復帰した状態となる。

20

【0 3 1 5】

このように、スライダ 3 1 0 5（落下装飾体 3 1 0 6）を落下させる機構と、落下したスライダ 3 1 0 5 を上昇させる機構とを、別々の機構としているため、スライダ 3 1 0 5 が自由落下する距離（高さ）をより高くすることが可能となり、大きく落下する落下装飾体 3 1 0 6 によって遊技者を大いに驚かせることができ、落下装飾体 3 1 0 6 の動きによって遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0 3 1 6】

また、落下カム 3 1 1 3 によりスライダ 3 1 0 5 を介して落下装飾体 3 1 0 6 を所定高さ範囲内で上下に揺動させることができるため、落下装飾体 3 1 0 6 を落下させる前に、落下装飾体 3 1 0 6 を揺動させることで、落下装飾体 3 1 0 6 へ遊技者を注目させることができ、落下装飾体 3 1 0 6 が落下する瞬間を遊技者に見せることができる。つまり、落下装飾体 3 1 0 6 が落下する前に、落下装飾体 3 1 0 6 がグラグラと揺動することで、遊技者に対して落下装飾体 3 1 0 6 が落下するような予感を与えることが可能となり、グラグラしている落下装飾体 3 1 0 6 がいつ落下するか否かで遊技者をワクワク・ドキドキさせることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。そして、落下装飾体 3 1 0 6 が落下すると、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、ここでも遊技者の遊技に対する期待感を高めさせることができる。従って、遊技者に落下装飾体 3 1 0 6 の落下演出を十分に楽しませることができ、遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0 3 1 7】

更に、外周面の部位によって回転中心（軸部 3 1 1 3 a の中心）からの距離が異なる落下カム 3 1 1 3 の外周面に、スライダ 3 1 0 5 のカム当接面 3 1 0 5 d を当接させて、上下に揺動させるようにしているため、落下カム 3 1 1 3 の外周面の形状を適宜選択することで、スライダ 3 1 0 5（落下装飾体 3 1 0 6）の上下の揺動を正弦波とは異なる波形で揺動させることができる。これにより、落下装飾体 3 1 0 6 の揺動にリアルさを付与することができるため、遊技者に落下装飾体 3 1 0 6 の揺動（動き）を楽しませることができ

50

ると共に飽き難くすることができ、遊技者の遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

【0318】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、以下に示すように、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々の改良及び設計の変更が可能である。

【0319】

すなわち、上記実施形態では、遊技機としてパチンコ機1に適用したものを示したが、これに限定するものではなく、パチスロ機や、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機に、適用しても良く、この場合でも、上記と同様の作用効果を奏することができる。

10

【符号の説明】

【0320】

- 1 パチンコ機
- 2 外枠
- 3 扉枠
- 4 本体枠
- 5 遊技盤
- 5 a 遊技領域
- 1 0 0 0 前構成部材
- 1 1 0 0 遊技パネル
- 1 1 1 0 パネル板
- 1 1 1 1 アウト口
- 1 1 2 0 パネルホルダ
- 1 3 0 0 主制御基板ボックス
- 1 4 0 0 機能表示ユニット
- 1 5 0 0 中央液晶表示装置
- 1 6 0 0 周辺制御ユニット
- 2 0 0 0 表ユニット
- 3 0 0 0 裏ユニット
- 3 0 1 0 裏箱
- 3 1 0 0 落下演出ユニット
- 3 1 0 1 ユニットベース
- 3 1 0 2 ベースカバー
- 3 1 0 2 a ストッパ部
- 3 1 0 2 b 回動規制溝
- 3 1 0 3 第一シャフト
- 3 1 0 4 第二シャフト
- 3 1 0 5 スライダ
- 3 1 0 5 a スライダ本体
- 3 1 0 5 b 挿入孔
- 3 1 0 5 c 膨出部
- 3 1 0 5 d カム当接面（当接面）
- 3 1 0 5 f ストッパブロック
- 3 1 0 6 落下装飾体（装飾体）
- 3 1 0 8 ラック部材（復帰機構）
- 3 1 0 8 a ラックギア
- 3 1 0 8 b 挿入孔
- 3 1 0 9 中間ギア（復帰機構）
- 3 1 0 9 a 第一ギア

20

30

40

50

3109b 第二ギア

3110 駆動ギア（ピニオンギア、復帰機構）

3111 落下復帰モータ（復帰モータ、復帰機構）

3112 落下演出モータ（落下モータ、揺動落下機構）

3113 落下カム（回転部材、揺動落下機構）

3113a 軸部

【先行技術文献】

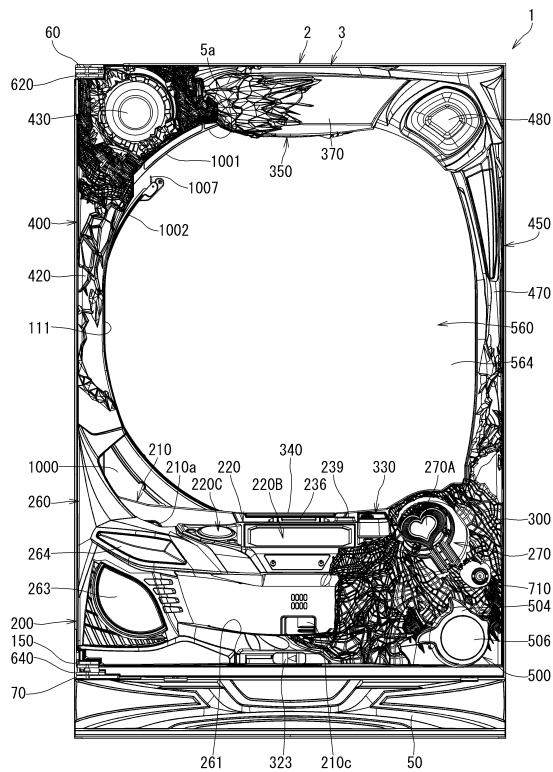
【特許文献】

【0321】

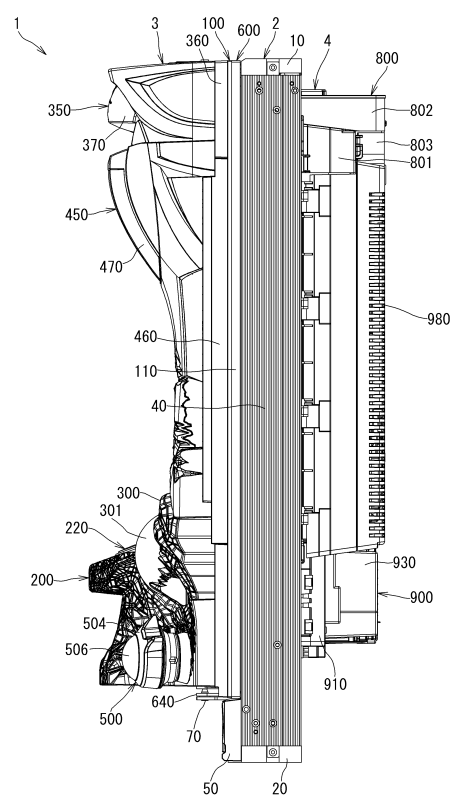
【特許文献1】特開2013-85747号公報

10

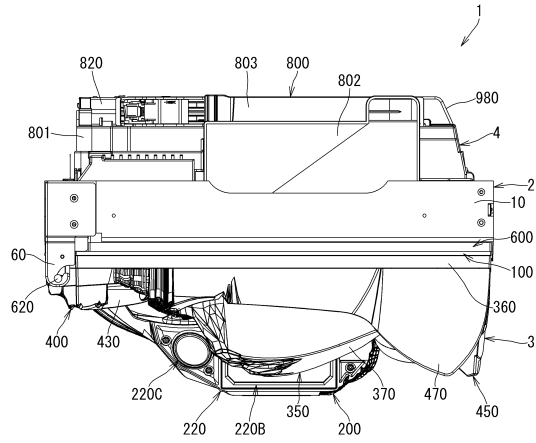
【図1】



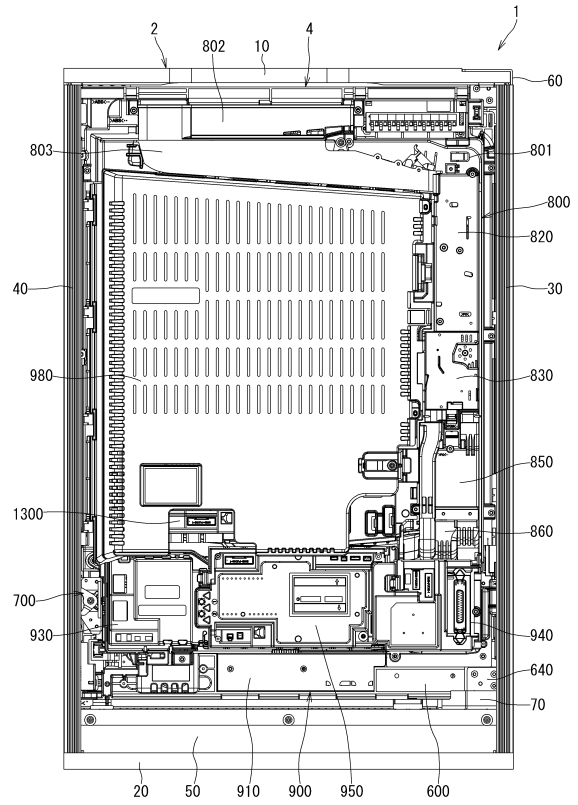
【図2】



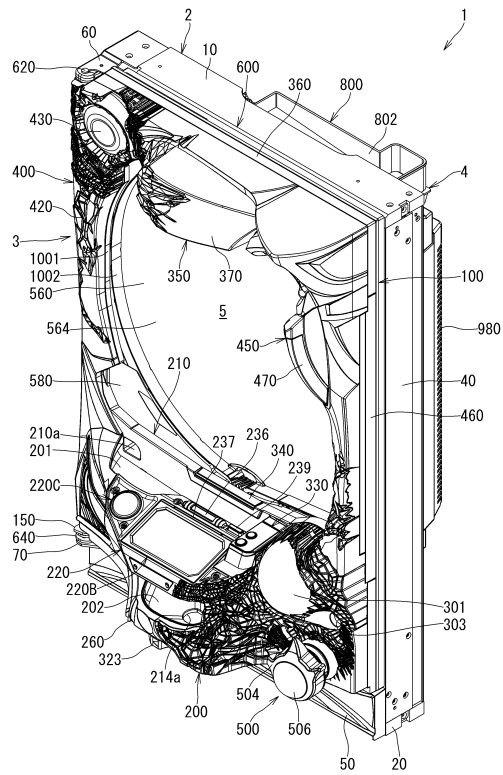
【図 3】



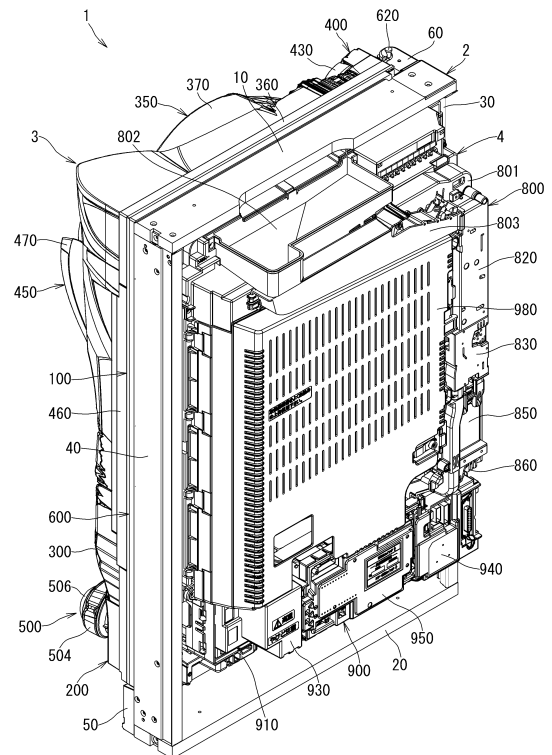
【図 4】



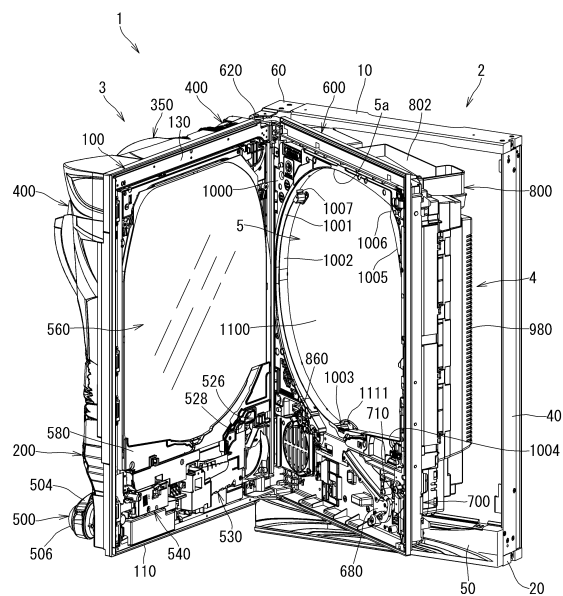
【図 5】



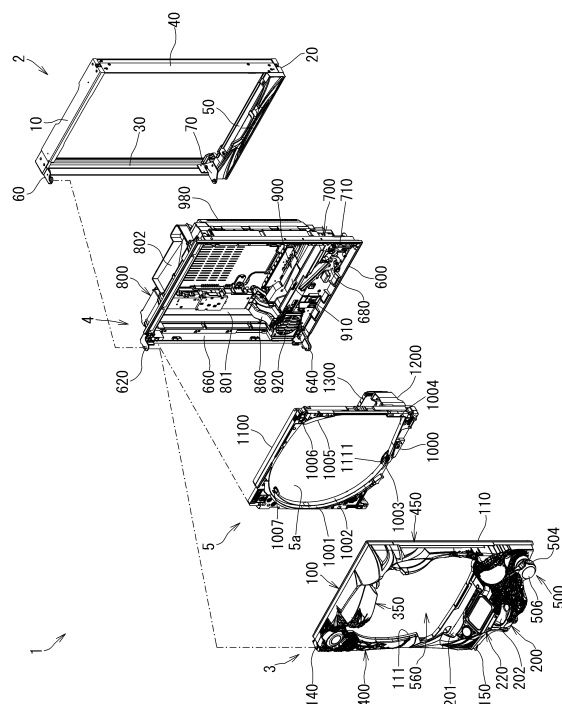
【図 6】



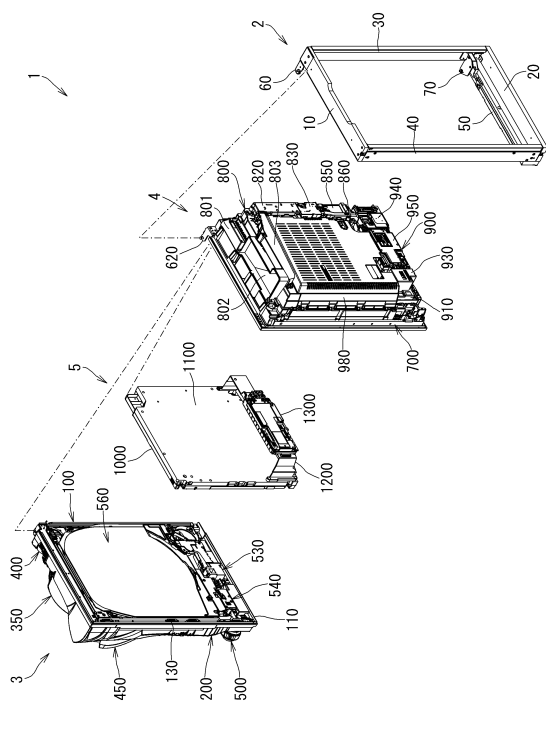
【図 7】



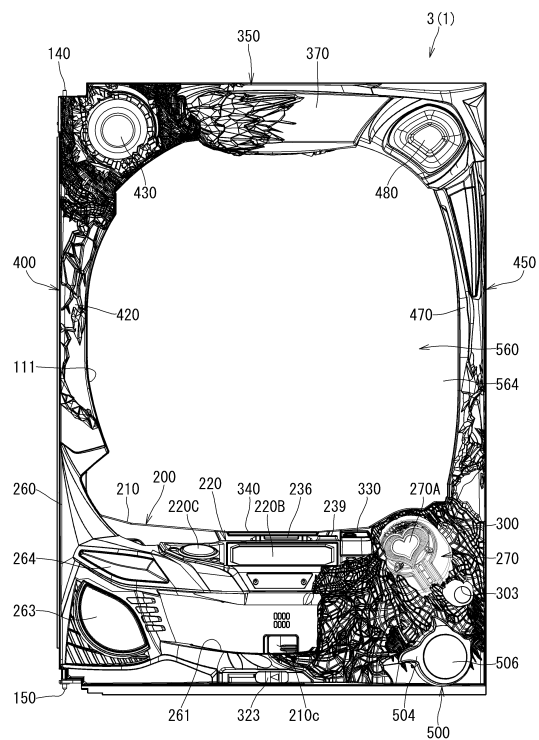
【図 8】



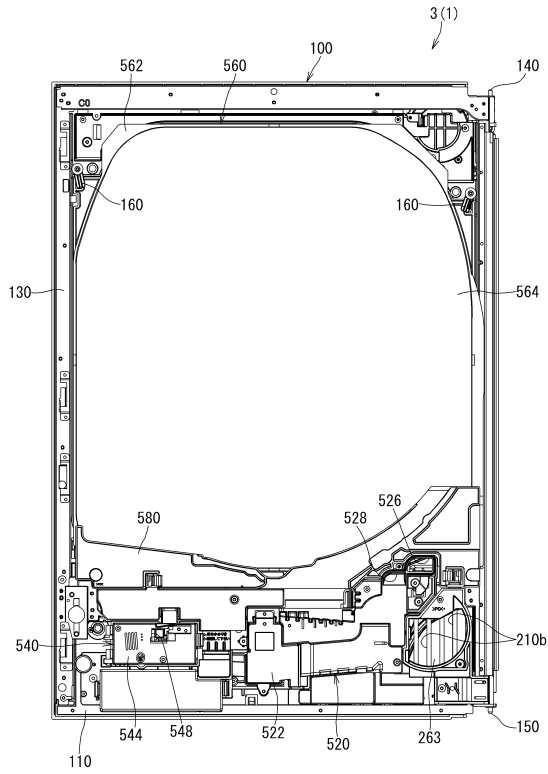
【図 9】



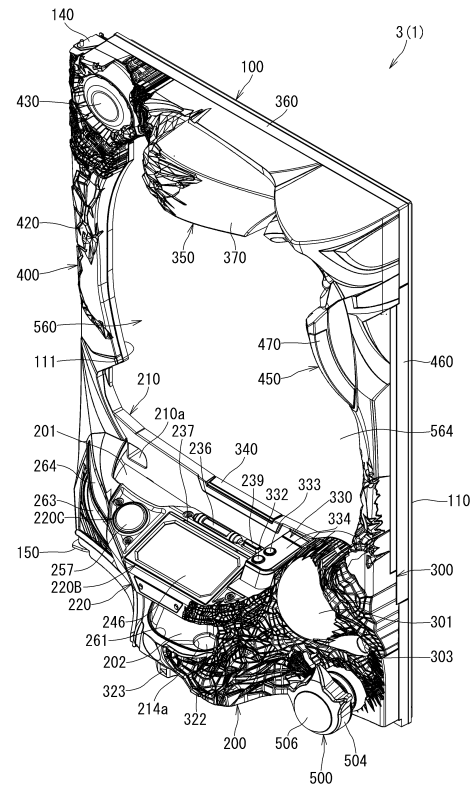
【図 10】



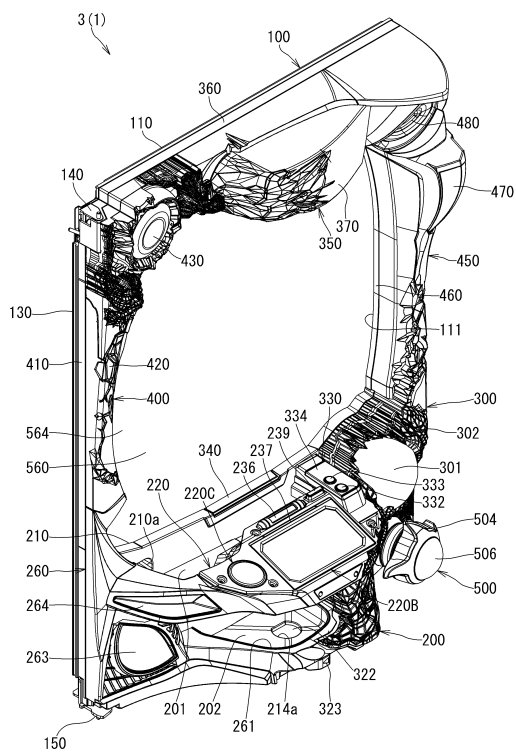
【図 1 1】



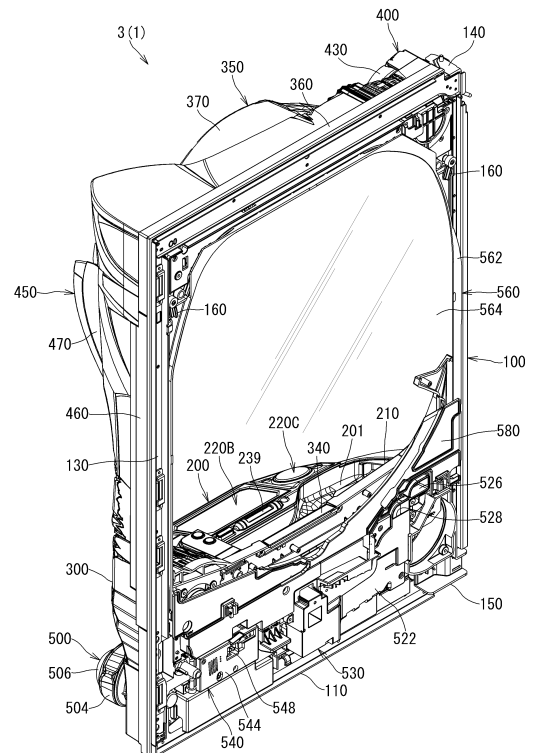
【図 1 2】



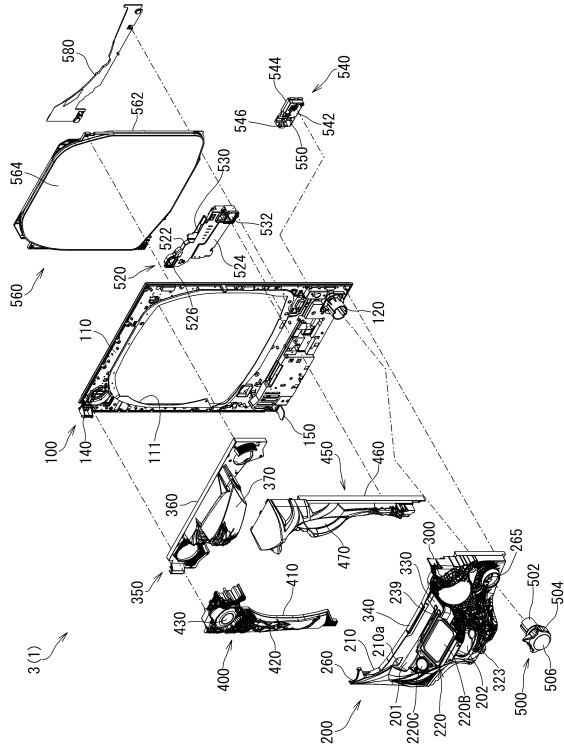
【図 1 3】



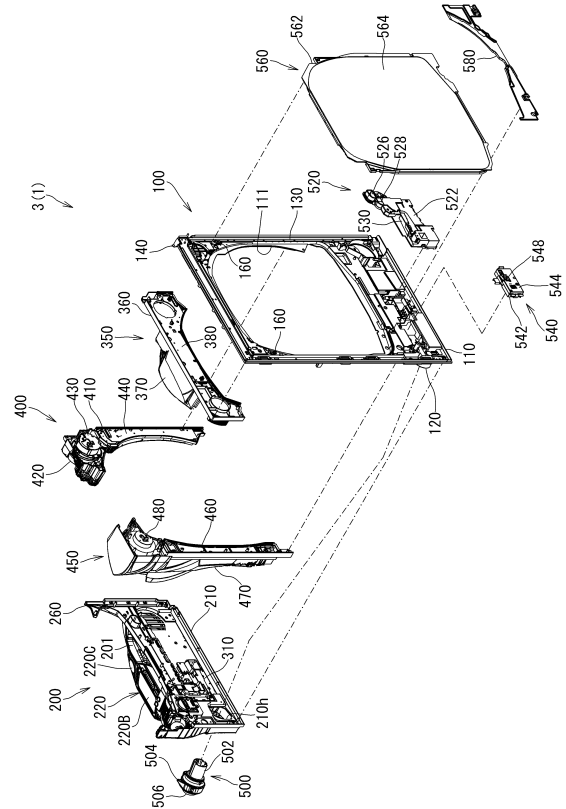
【図 1 4】



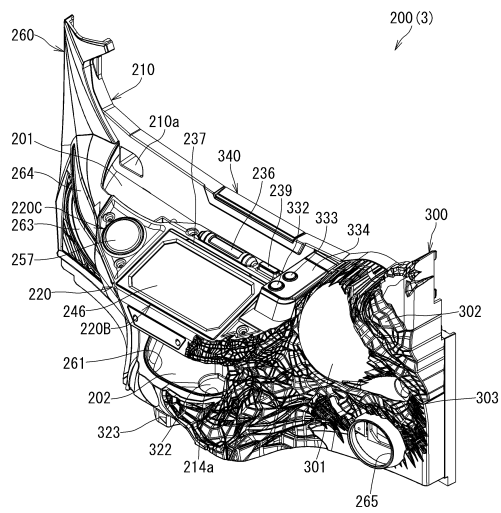
【図 15】



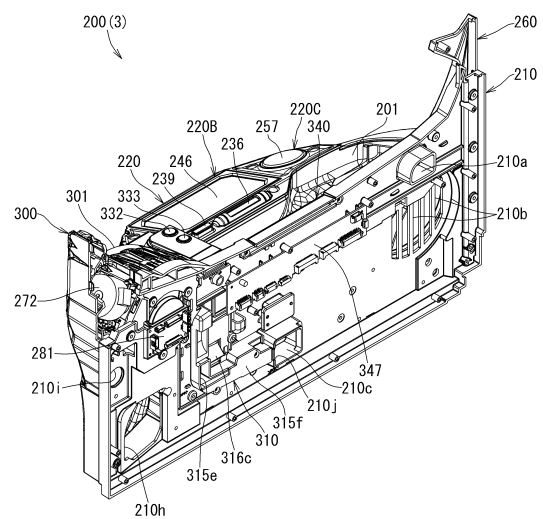
【図 16】



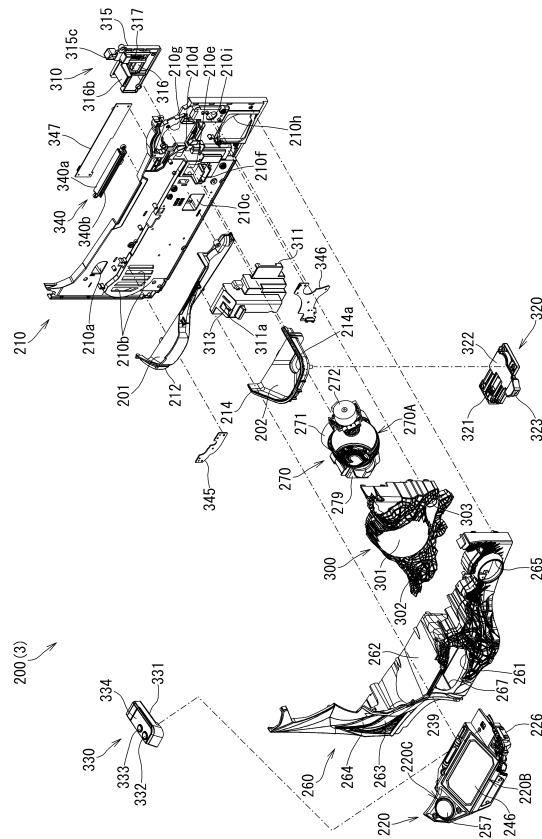
【図 17】



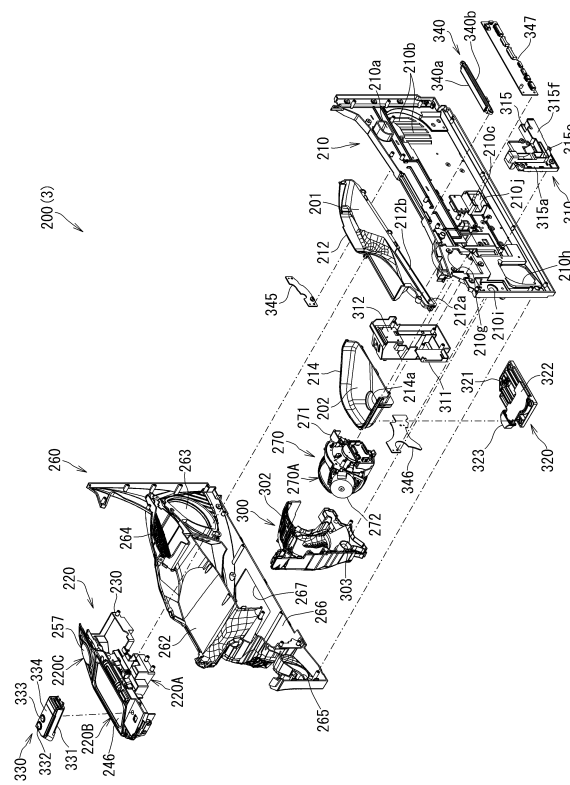
【図 18】



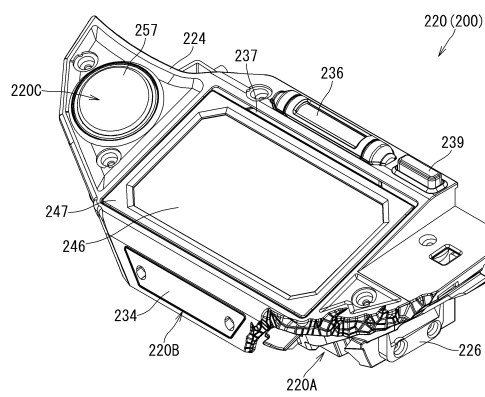
【図 19】



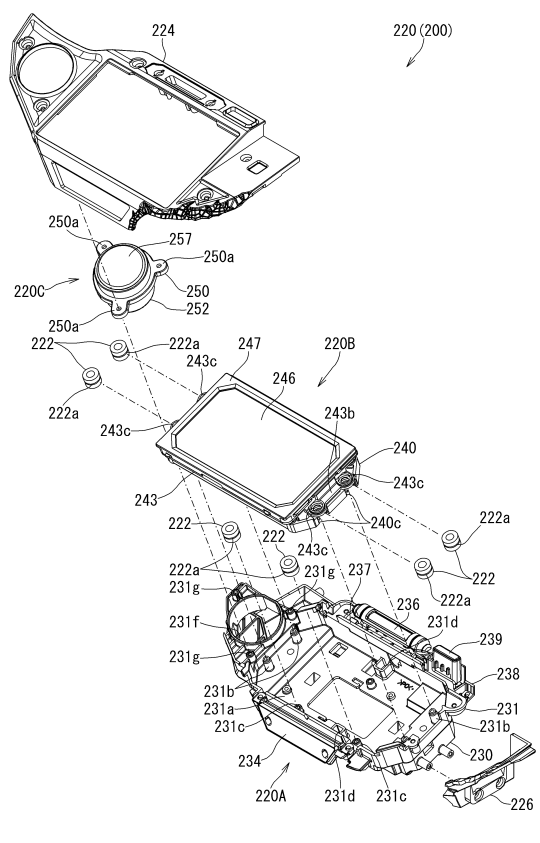
【図 20】



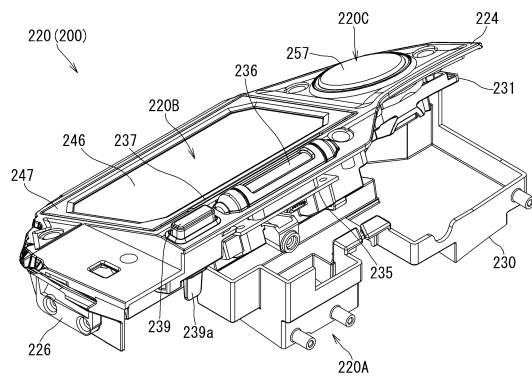
【図 21】



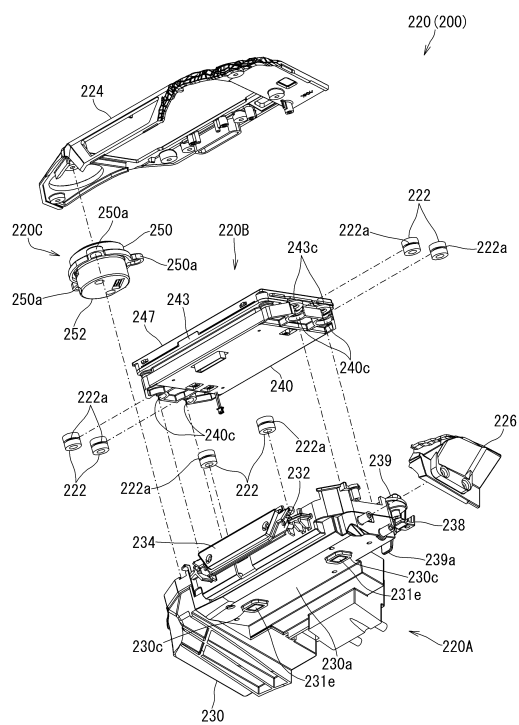
【図 23】



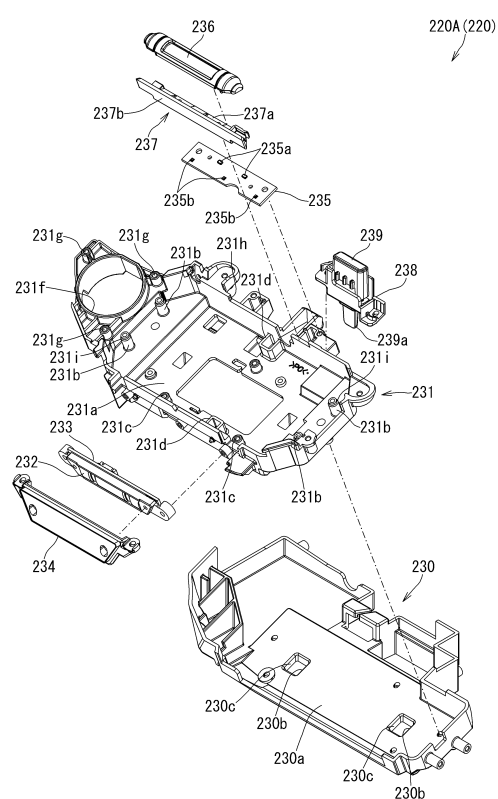
【図 22】



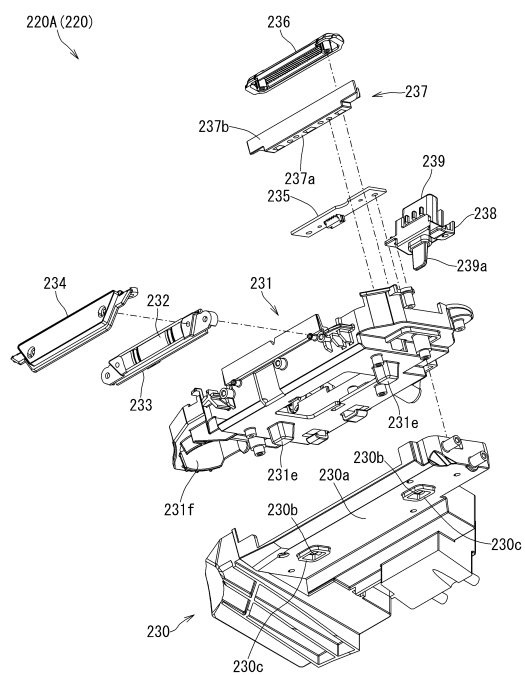
【图 2 4】



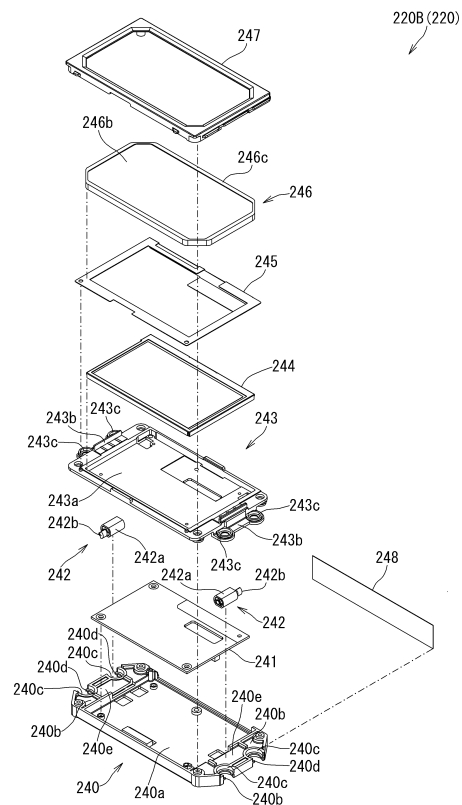
【図 25】



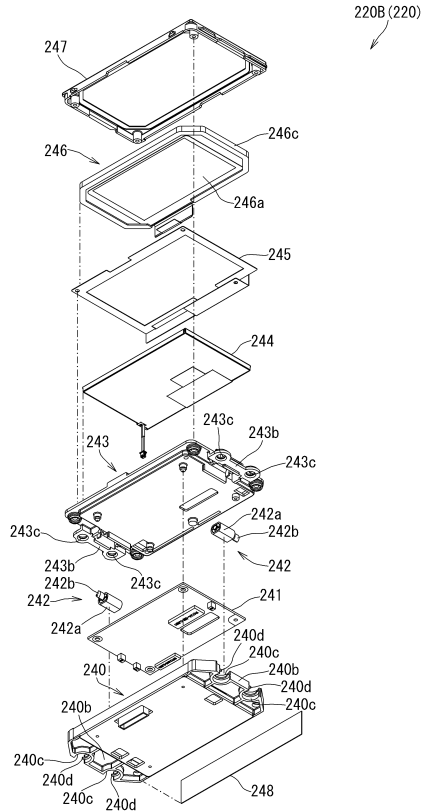
【図 2 6】



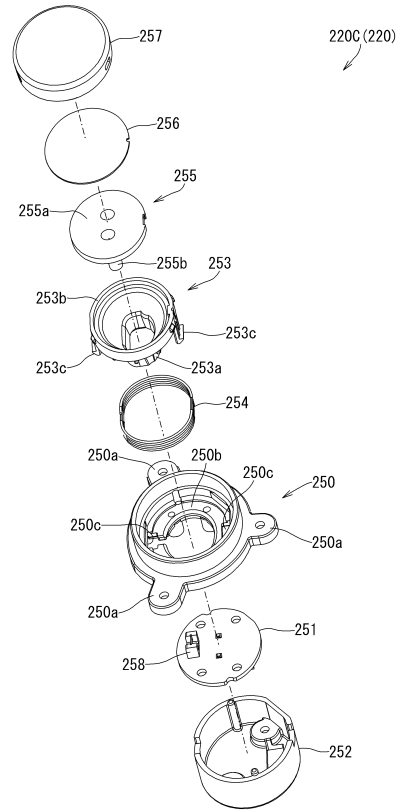
【図 27】



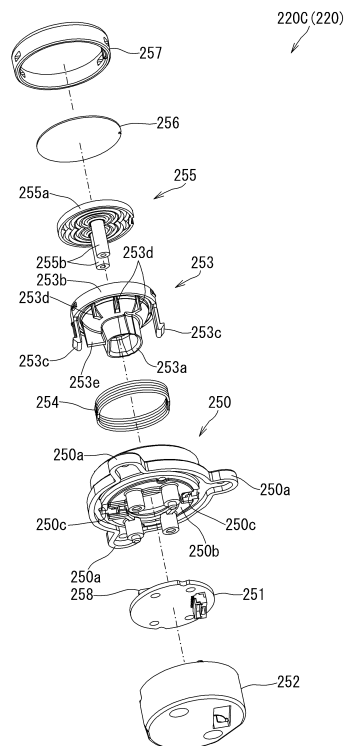
【図 28】



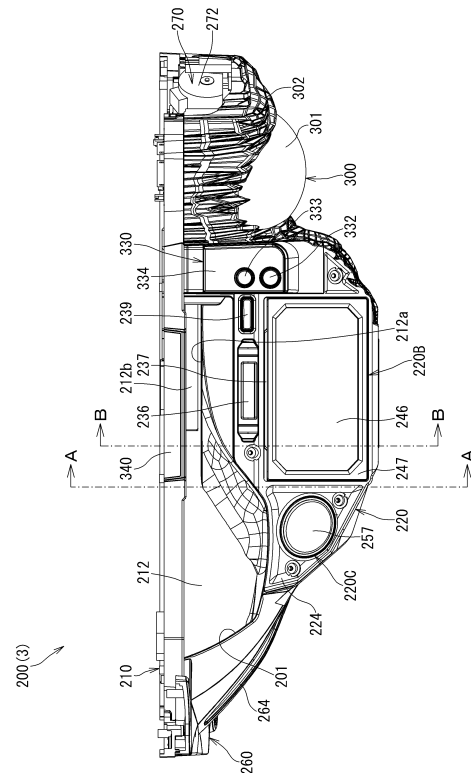
【図 29】



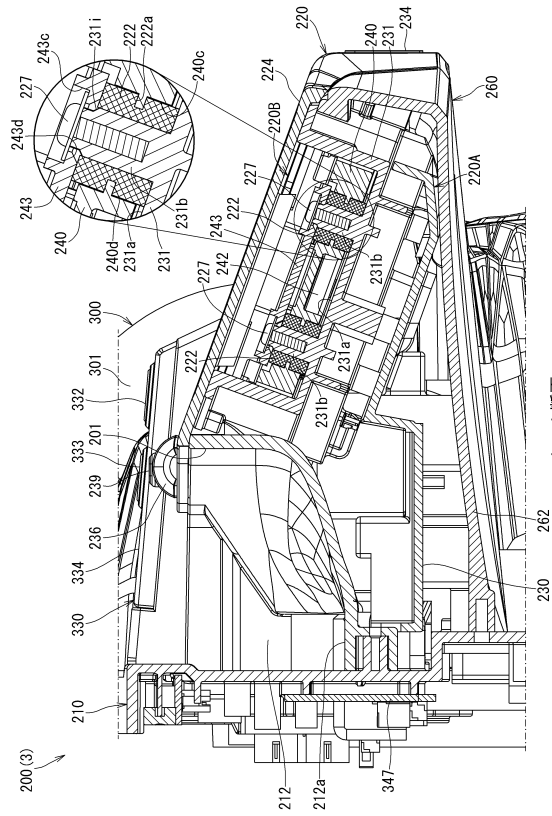
【図 30】



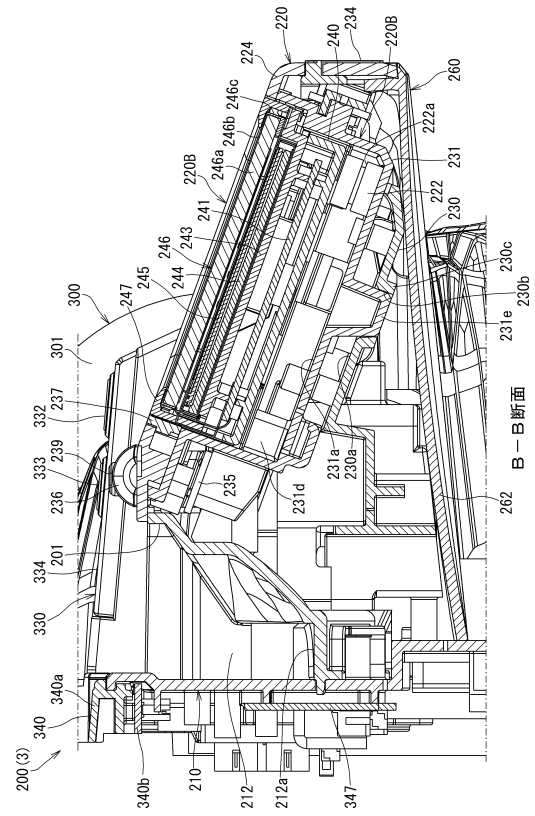
【図 31】



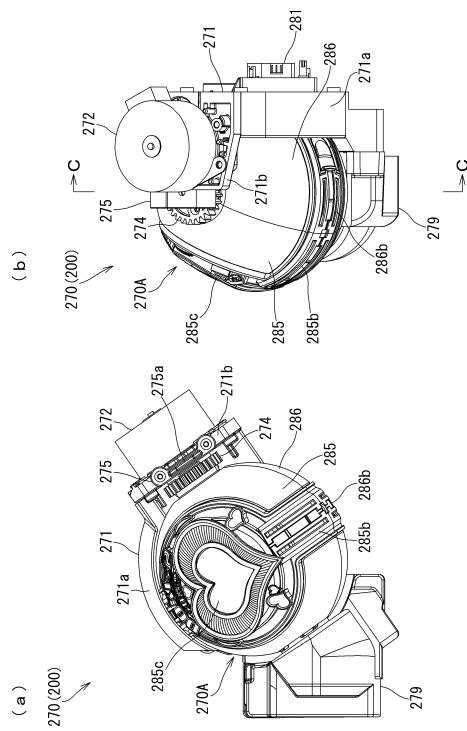
【図 3 2】



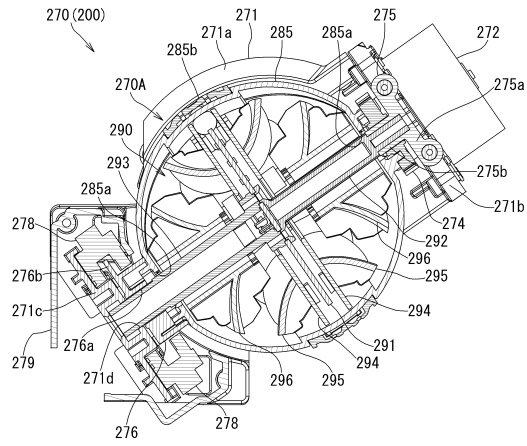
【図 3 3】



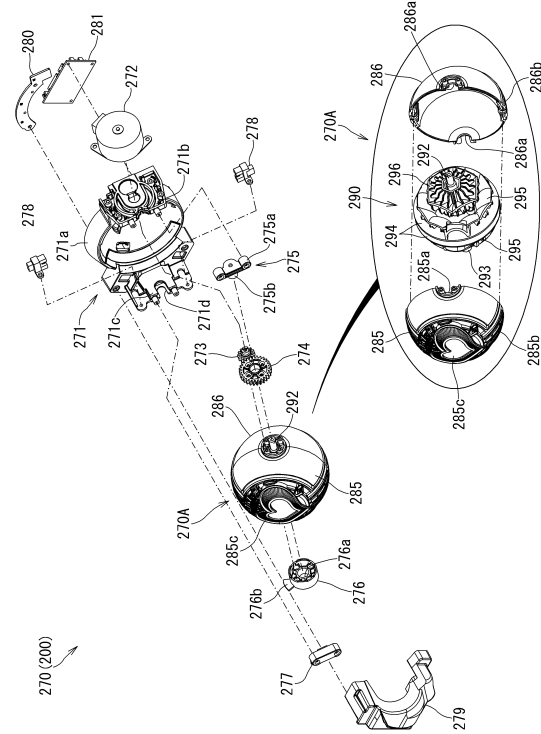
【図 3 4】



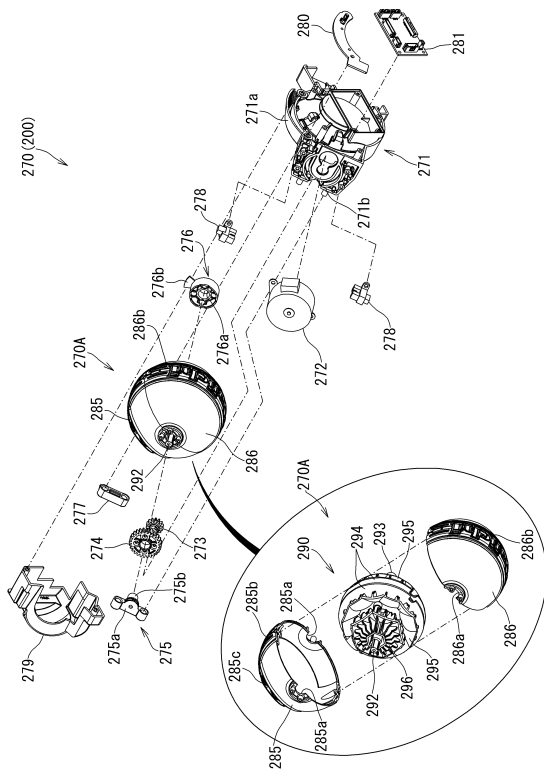
【図 37】



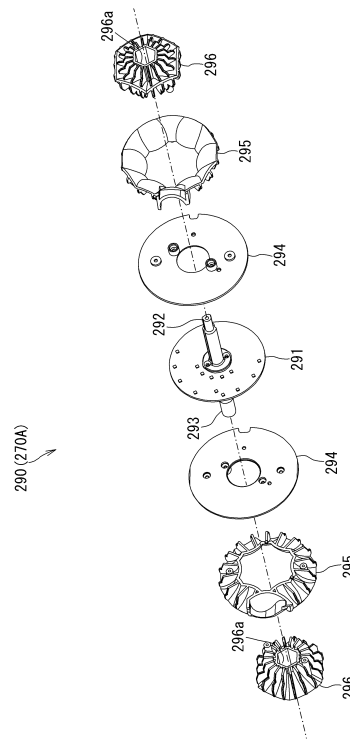
【図 38】



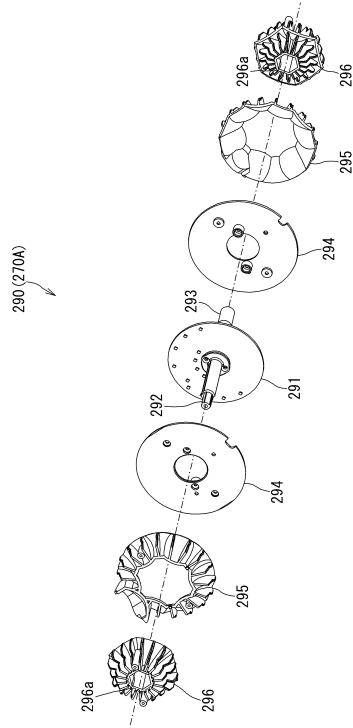
【図 39】



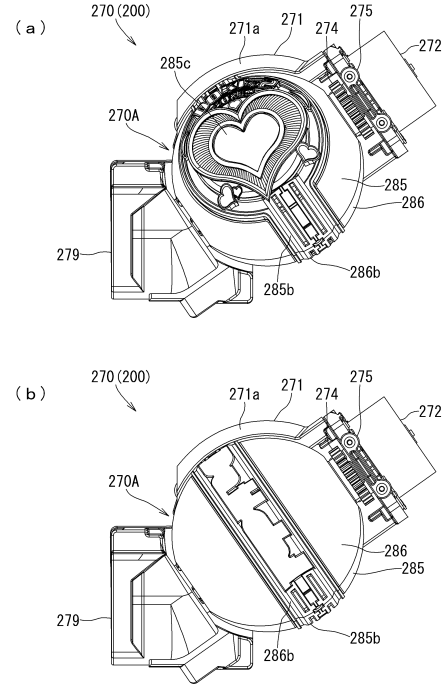
【図 40】



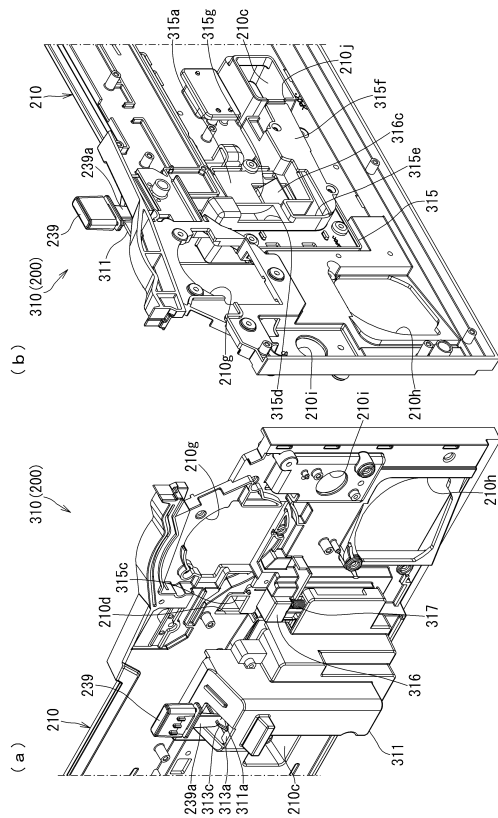
【図 4 1】



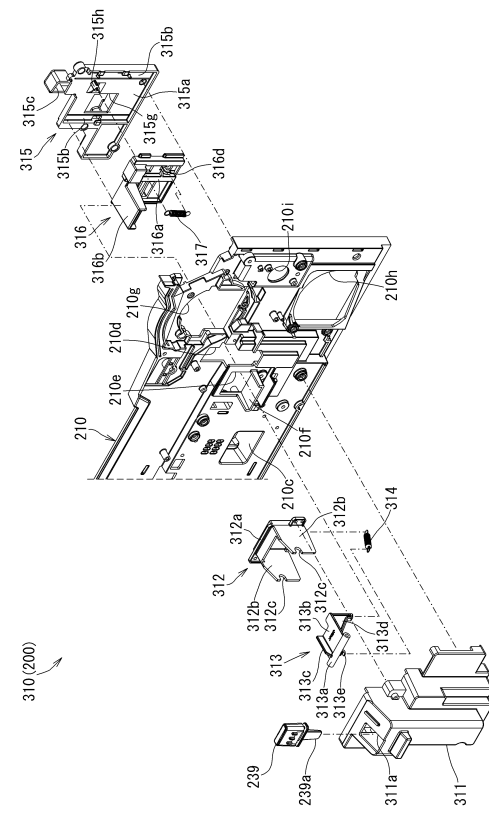
【図 4 2】



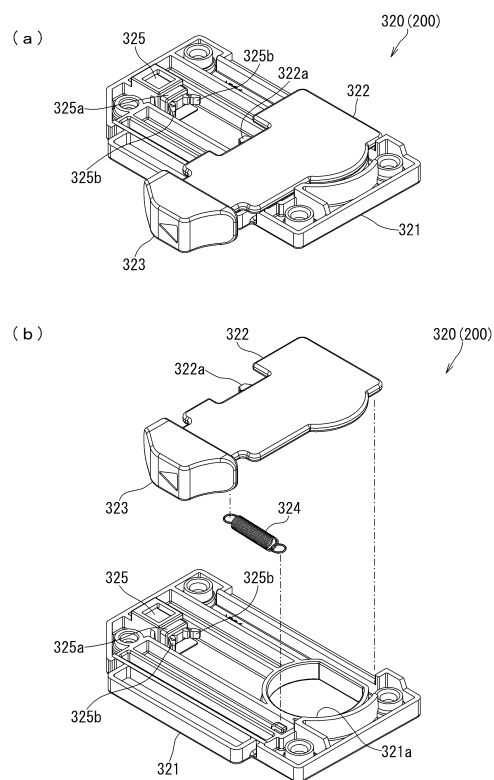
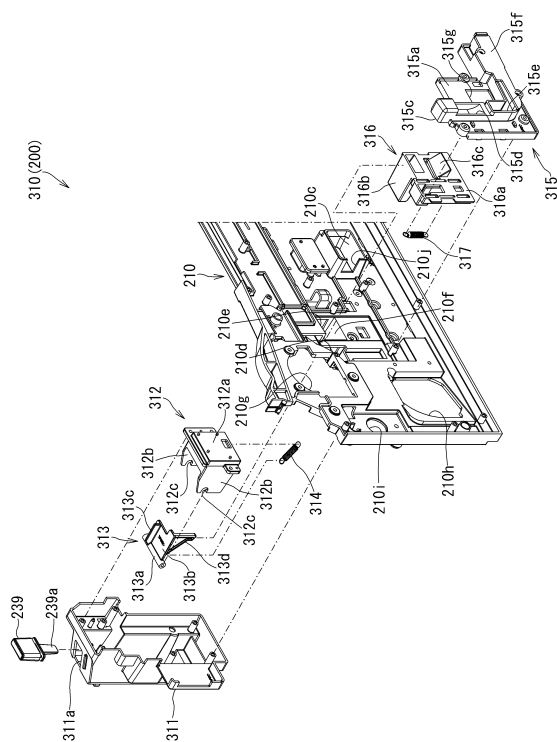
【図 4 3】



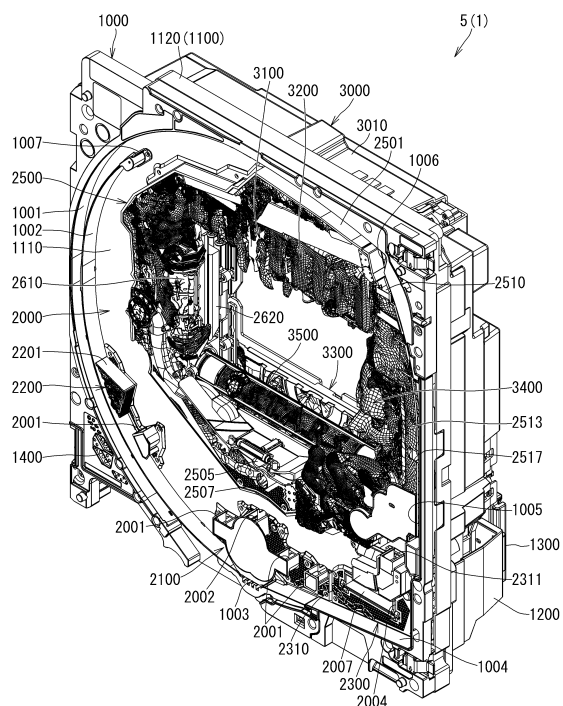
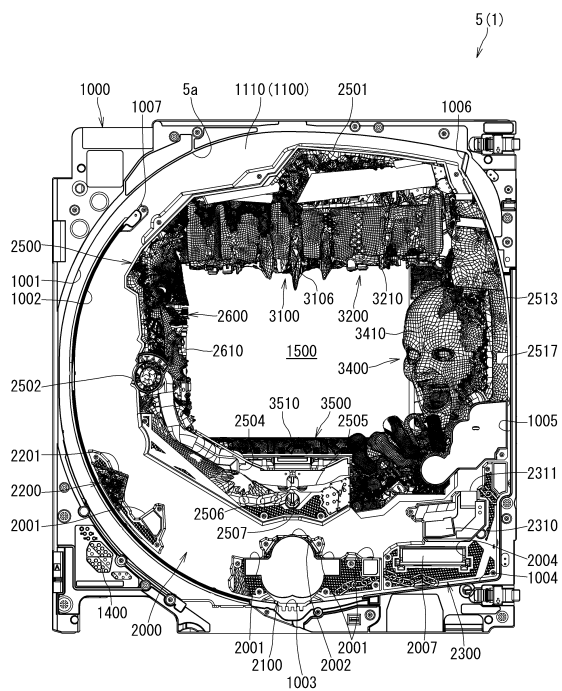
【図 4 4】



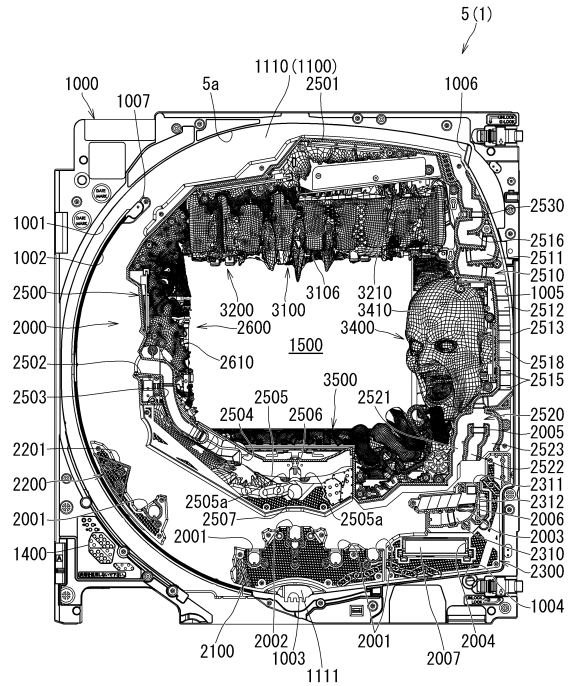
【図 4 6】



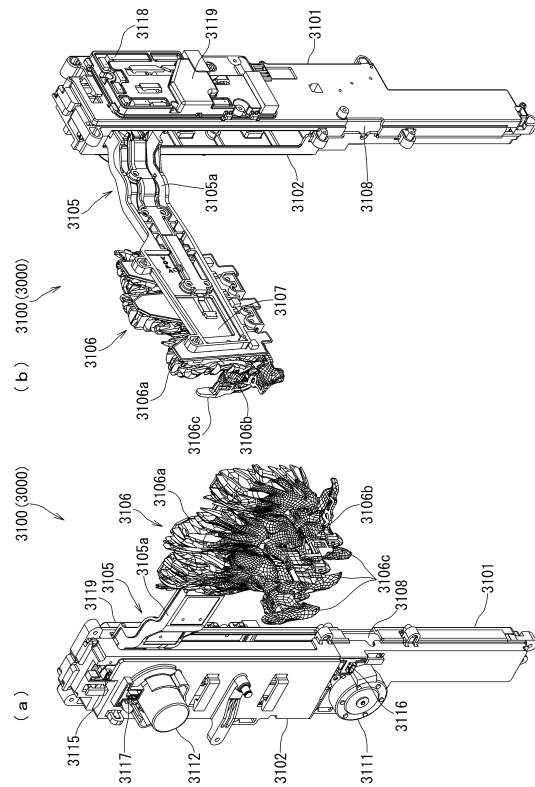
【図 48】



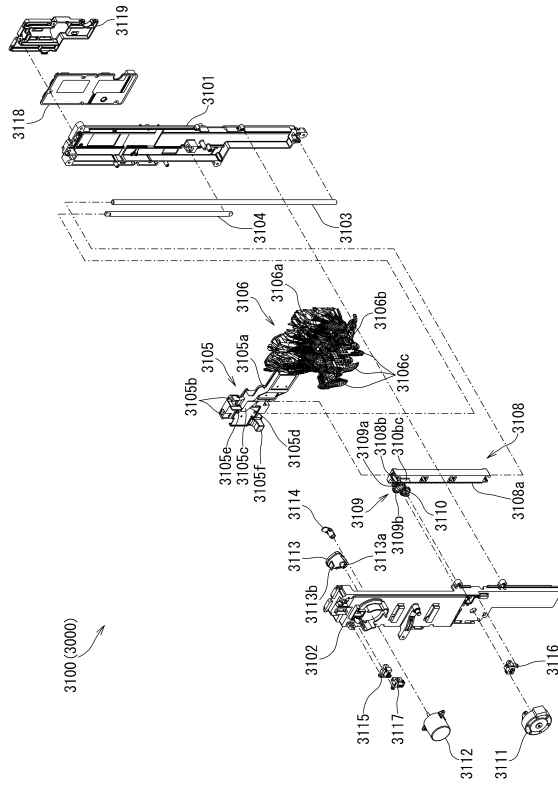
【図 50】



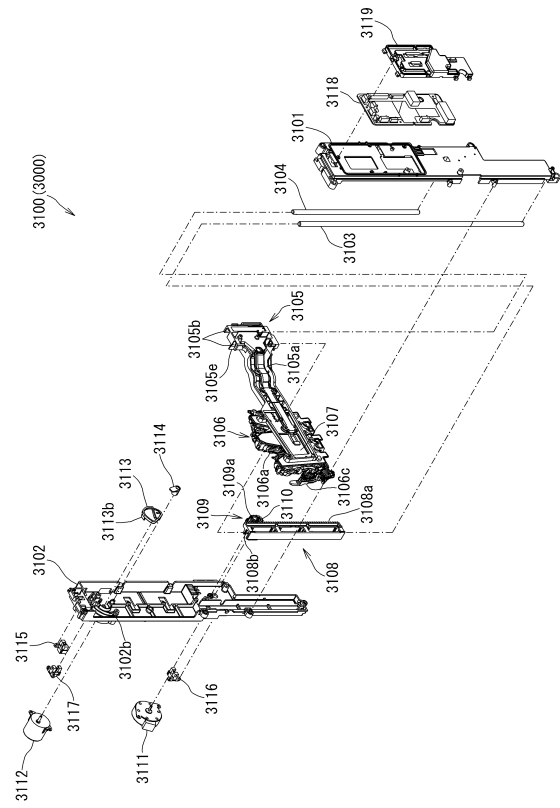
【図 5 2】



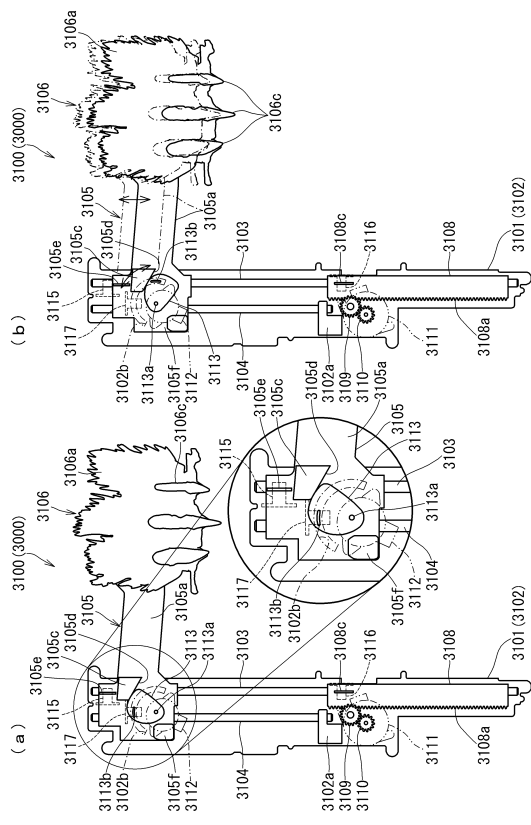
【図 53】



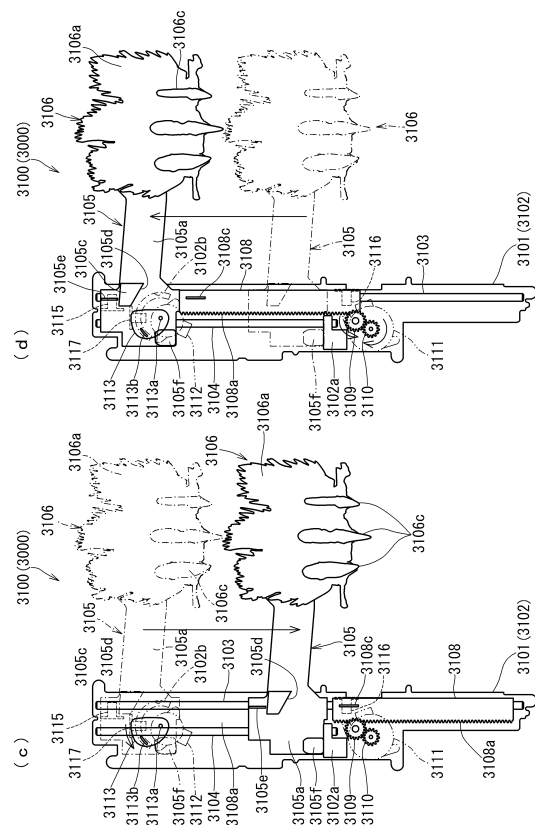
【図 54】



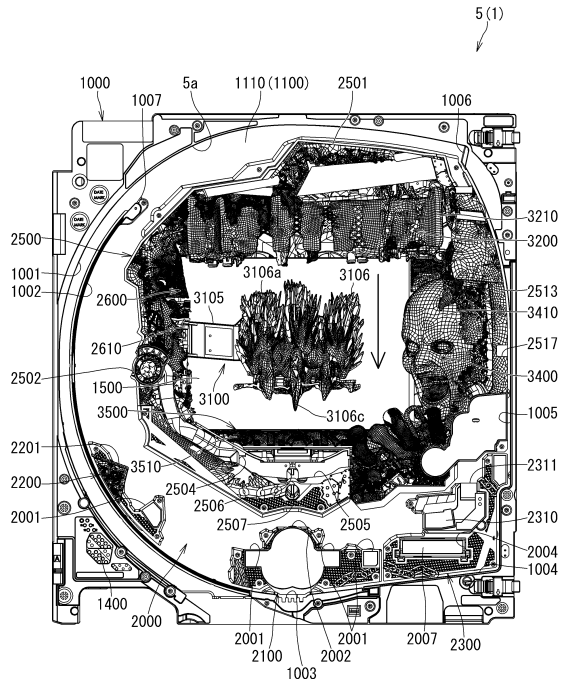
【図 55】



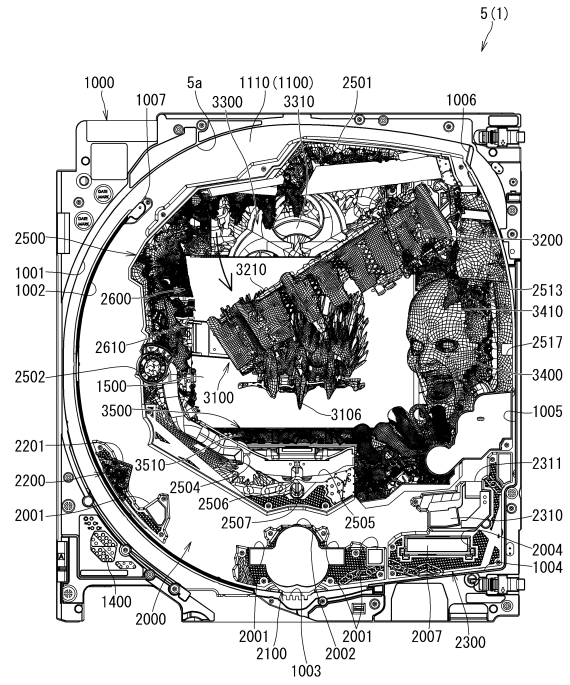
【図 56】



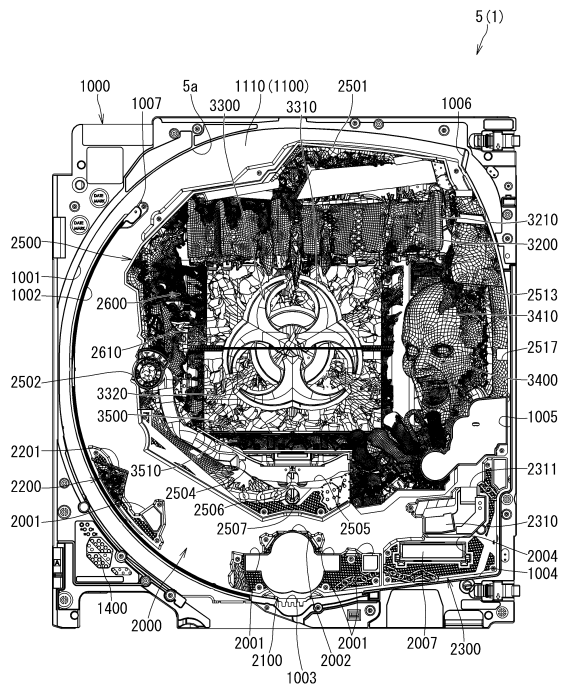
【図 57】



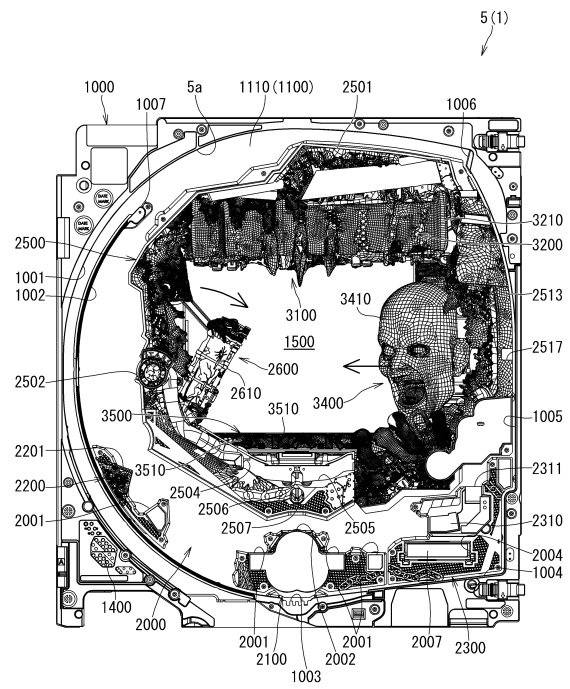
【図 58】



【図 59】



【図 60】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2013-022283 (JP, A)
特開2004-016722 (JP, A)
特開2015-051077 (JP, A)
特開2011-239856 (JP, A)
特開2007-202590 (JP, A)
特開2004-160053 (JP, A)
特開2010-246711 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F 7/02